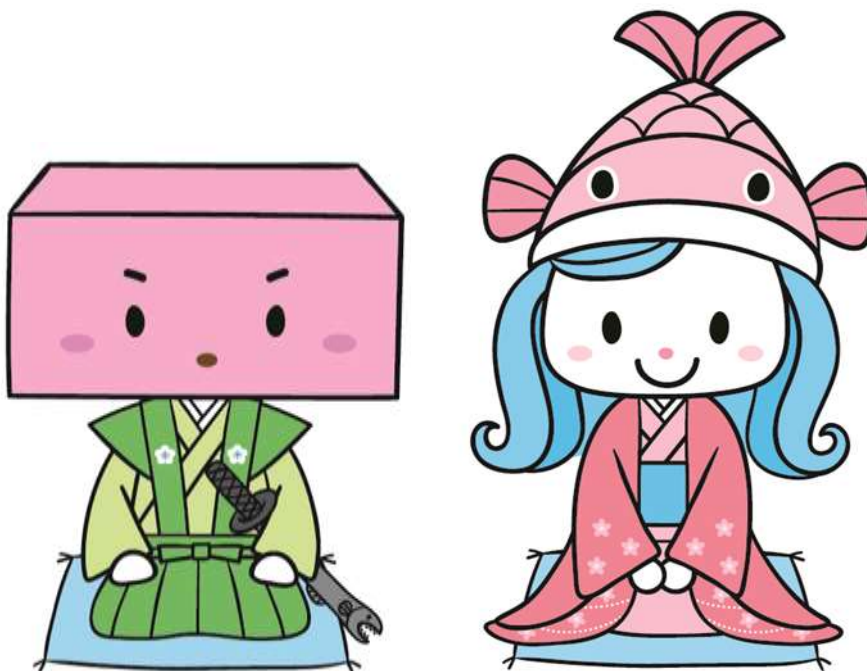


小城市公共施設等総合管理計画



平成29年3月



佐賀県小城市

目 次

I. 公共施設再配置に向けて	1
1. 公共施設等総合管理計画の位置付け	1
(1) 公共施設等総合管理計画の目的・理念	1
(2) 本計画の位置付け	1
2. 計画書で対象とする施設	2
(1) 対象範囲	2
(2) 基準日	2
(3) 建築物	3
(4) インフラ	3
II. 市勢概要	4
1. 市の概況	4
2. 人口と世帯	5
(1) 総人口・世帯数	5
(2) 年代別人口の推移	6
(3) 5歳階級別男女別人口	7
(4) 人口動態（自然動態・社会動態）	10
(5) 将来人口の見込み	11
3. 財政・行政運営	12
III. 公共施設の現状と分析	14
1. 建築物	14
(1) 過去の整備量（延床面積）	14
(2) 施設用途別延床面積	15
(3) 老朽化の現状	16
(4) 施設のコスト状況	17
2. インフラ	18
(1) 道路	18
(2) 橋梁	20
(3) 河川	20
(4) 公園（屋外施設含む）	21
(5) 農業施設	22

(6) 排水施設.....	22
(7) 簡易水道施設	23
(8) 上水道施設.....	23
(9) 下水処理施設	24
(10) 防災施設（建築物以外）	24
(11) その他公共施設	25
IV. 建築物の地域別現状と分析	26
1. 小城町	26
(1) 地域の概要・特性	26
(2) 人口	26
(3) 施設の状況.....	29
2. 三日月町	32
(1) 地域の概要・特性	32
(2) 人口	32
(3) 施設の状況.....	35
3. 牛津町	38
(1) 地域の概要・特性	38
(2) 人口	38
(3) 施設の状況.....	41
4. 芦刈町	44
(1) 地域の概要・特性	44
(2) 人口	44
(3) 施設の状況.....	47
V. 建築物の施設用途別現状と分析.....	50
1. 文化施設	50
1-1. 文化施設.....	50
2. 社会教育施設.....	53
2-1. 公民館等.....	53
2-2. 図書館.....	58
2-3. その他社会教育施設.....	60
3. スポーツ・レクリエーション施設	63
3-1. スポーツ施設	63

3-2. レクリエーション施設	67
4. 産業施設	70
4-1. 産業施設	70
5. 学校教育施設	72
5-1. 小学校	72
5-2. 中学校	77
5-3. その他教育施設	81
6. 子育て支援施設	83
6-1. 保育所	83
6-2. 幼稚園	87
6-3. 学童保育・児童センター	90
7. 保健福祉施設	93
7-1. 保健福祉施設	93
8. 行政施設	96
8-1. 庁舎等	96
8-2. 防災施設	100
9. 公営住宅等	105
9-1. 公営住宅等	105
10. 市民病院	108
10-1. 市民病院	108
11. その他	110
11-1. その他施設	110
VI. 将来の施設更新投資等の試算（財政シミュレーション）	114
1. 更新投資試算の方法	114
2. 公共施設（建築物）に係る更新投資の試算	114
3. 公共施設（インフラ）に係る更新投資の試算	115
4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算	116
5. 今後の新規投資予定	117
VII. 課題の整理と基本的な方向性	118
1. 市勢概要等からみた課題	118
(1) 市の特徴を踏まえた公共施設のあり方	118

(2) 少子高齢化と将来的な人口減少を踏まえた公共施設のあり方	118
(3) 財政状況を踏まえた公共施設のあり方	119
2. 公共施設全体の状況からみた課題	120
(1) 建築物	120
(2) インフラ.....	120
3. 建築物の施設用途別にみた課題	124
(1) 文化施設.....	124
(2) 社会教育施設（公民館等・図書館・その他社会教育施設）	124
(3) スポーツ・レクリエーション施設.....	125
(4) 産業施設.....	125
(5) 学校教育施設	125
(6) 子育て支援施設	126
(7) 保健福祉施設	126
(8) 行政施設.....	127
(9) 公営住宅等	127
(10) 市民病院.....	127
(11) その他.....	128
4. 将来の施設更新投資等の試算（財政シミュレーション）からみた課題	129
(1) 更新投資.....	129
(2) 財政シミュレーション.....	129
VIII. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方.....	130
1. 計画期間	130
2. 数値目標	130
3. 診断等の実施方針	131
4. 安全確保の実施方針	131
5. 長寿命化の実施方針	131
6. 民間活用（PFI/PPP 等）の考え方	131
7. 維持管理・修繕・更新等の実施方針	131
8. 耐震化の実施方針	132
9. 統合や廃止の推進方針	132
10. 建築物の施設用途別・インフラの管理方針	132

IX. 計画の推進にあたって	135
1. 全庁的な取組体制の構築方針	135
(1) 庁内推進体制	135
(2) 市職員の啓発・意識付け	135
2. フォローアップの実施方針	136
(1) 個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定	136
(2) 計画の進行管理	136
3. 情報管理及び共有方策	137
(1) 公共施設等に関する情報の一元管理	137
(2) 市民等との情報共有・相互理解の醸成	137



I. 公共施設再配置に向けて

1. 公共施設等総合管理計画の位置付け

(1) 公共施設等総合管理計画の目的・理念

平成 20 年（2008 年）から全国的に始まった人口減少が今後、加速度的に進むと予測されていく中で、小城市は、若者の流出や少子高齢化による人口減少が進展していきます。その中で、小城市が所有する公共施設等は、これから大量に更新時期を迎えます。これは、全国の自治体でも同様であり、平成 25 年 11 月にはインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において「インフラ長寿命化基本計画」が示されました。また、平成 26 年 4 月には各地方公共団体が所有する公共施設等の全体状況を把握し、地方公共団体を取り巻く現況及び将来の見通しを分析し、これらを踏まえた公共施設等の管理の基本的な方針を定めることを内容とする「公共施設等総合管理計画」の策定を行うよう総務省が各地方公共団体に要請をしています。

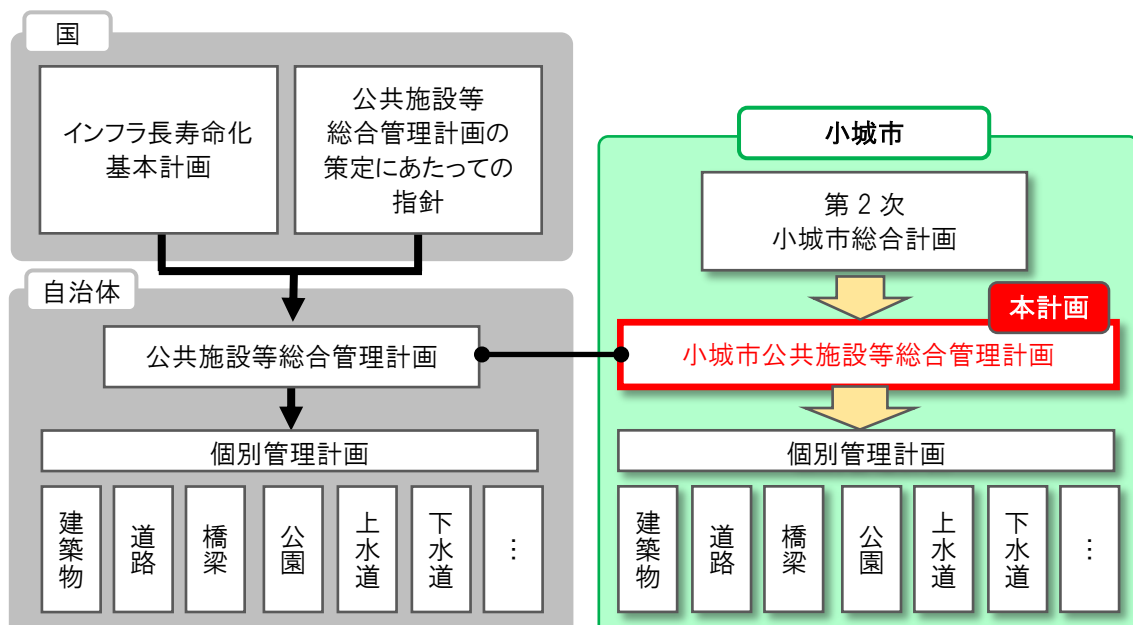
小城市においても、公共施設等の全体を把握し、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

本計画書は、公共施設等の最適な配置を実現するための各種方針を策定するため、インフラを含めた公共施設等の全体状況を把握し、小城市公共施設等総合管理計画（以下「本計画」といいます。）としてとりまとめるものです。

(2) 本計画の位置付け

本計画は、小城市における公共施設等に関する計画の中で最高位の計画と位置付けます。

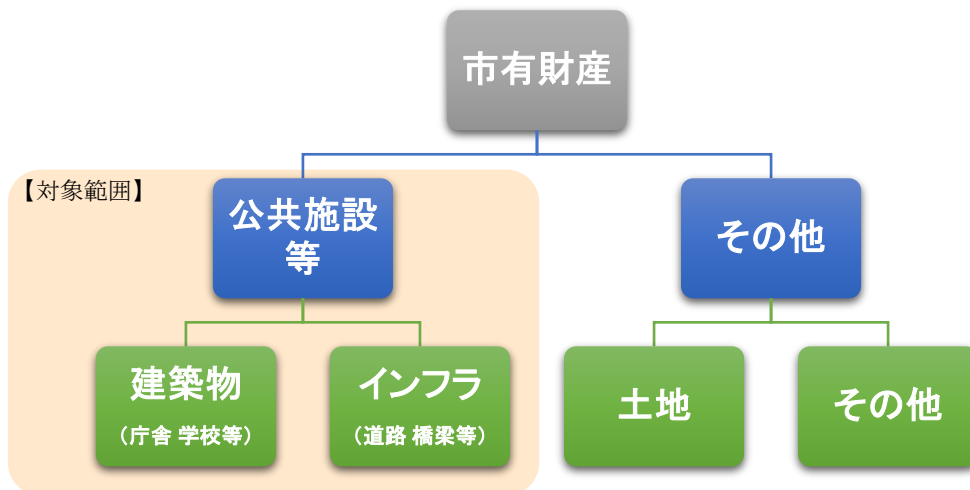
図表 本計画の位置付けのイメージ図



2. 計画書で対象とする施設

(1) 対象範囲

小城市が所有し管理する財産は、地方自治法に基づき、公有財産、物品、債権、基金に分類されます。本計画の対象は、公有財産にあたる、市役所庁舎、小・中学校、市営住宅などの「建築物」と、道路、橋梁、上・下水道などの「インフラ」を含めた全ての公共施設とします。



(2) 基準日

本計画の策定基準日は、平成 29 年 3 月 31 日（平成 28 年度末）です。ただし、公共施設等のデータについては、地方公会計における固定資産台帳に計上されている、平成 27 年 3 月 31 日時点（平成 26 年度末）のものです。

(3) 建築物

小城市にある公共施設は、平成 27 年 3 月 31 日（平成 26 年度末）時点で 141 施設です。

下記の表は、141 施設を分類毎に分けたものです。

図表 対象施設

大分類	中分類	施設数	建物数
文化施設	文化施設	2	2
社会教育施設	公民館等	9	16
	図書館	4	—※ ¹
	その他社会教育施設	2	2
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	5	6
	レクリエーション施設	3	9
産業施設	産業施設	1	1
学校教育施設	小学校	8	95
	中学校	4	27※ ²
	その他教育施設	2	7
子育て支援施設	保育所	4	9
	幼稚園	3	21
	学童保育・児童センター	5	5
保健福祉施設	保健福祉施設	6	14
行政施設	庁舎等	2	9
	防災施設	51	50※ ³
公営住宅等	公営住宅等	6	48
市民病院	市民病院	1	5
その他	その他施設	23※ ⁴	28※ ⁴
合 計		141	354

※¹ 図書館は公民館等に含まれる複合施設のため、建物数は算出していません。

※² 小城市立芦刈観瀾校は小中一貫校のため、中学校の建物数は小学校に合算しています。

※³ 消防格納庫芦刈第 2 分団第 1 部は地区施設と共用部分があるため、建物数は算出していません。

※⁴ 平成 27 年度中に解体済の施設も数に含まれます。（施設データ基準日が、平成 27 年 3 月 31 日のため）

(4) インフラ

インフラとしては、道路（市道、農道、林道）、橋梁、河川、公園（野外施設含む）、農業施設、排水施設、簡易水道施設、上水道施設、下水処理施設、防災施設（建築物以外）、その他公共施設を対象としています。



Ⅱ. 市勢概要

1. 市の概況

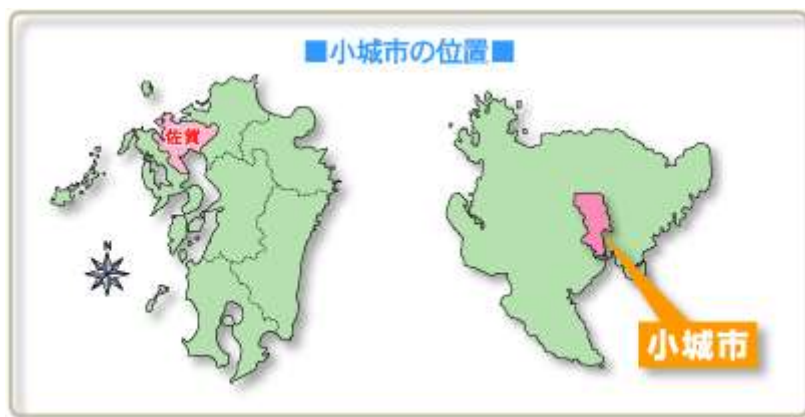
小城市は、佐賀県のほぼ中央にあり、佐賀平野の西端に位置しています。佐賀市、多久市、江北町、白石町と接しており、佐賀市の中心部まで約 10 k m、福岡市へ約 70 k m、長崎市へ約 100 k m の距離にあります。

小城市の地形は、北部に標高 1,046m の秀峰「天山」を中心とする天山山系がそびえ、南に日本一の干拓「有明海」、中部には肥沃な大地「佐賀平野」と豊かな自然環境の中にあります。主な河川には天山山系を源にした祇園川、晴気川、牛津川があり、これらの河川は扇状地を形成し、小城の平野部を潤して嘉瀬川及び六角川に合流して有明海へと注いでいます。

夏は高温多湿でやや蒸し暑く、冬は乾燥した北西の季節風が強いのが特徴です。総面積は 95.85 k m² で、佐賀県 20 市町のうち第 10 位となっています。

【出典】：「小城市市勢要覧」「小城市の教育」

図表 位置図



小城市キャラクター「こい姫」



小城市キャラクター「ようかん右衛門」

2. 人口と世帯

(1) 総人口・世帯数

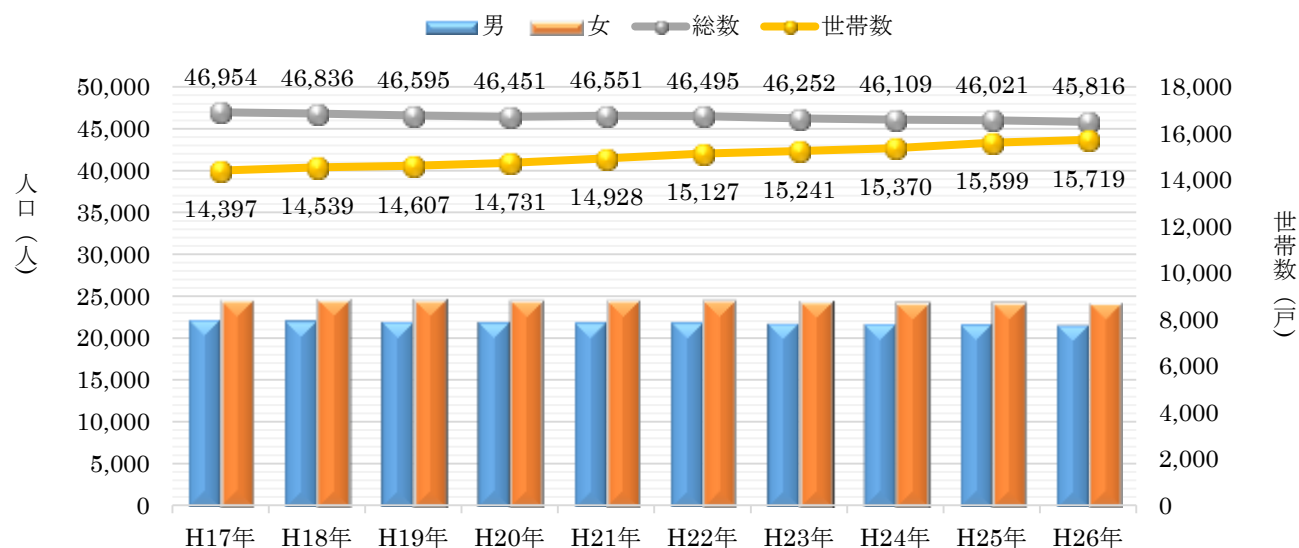
平成17年度（2005年度）から平成26年度（2014年度）の過去10年間の人口及び世帯数を振り返ってみると、人口は、10年間で46,954人から45,816人と約1,100人減少し、毎年徐々に人口が減ってきている状況ですが、世帯数は、10年間で14,397世帯から15,719世帯と約1,300世帯増加しています。

このことから1世帯あたりの人員は減少傾向にあることが分かり、一人暮らしや核家族が増加傾向にあると考えられます。

図表 人口・世帯の推移（単位：人・戸）

年度	男	女	総数	世帯数
平成17年度（平成18年3月末）	22,286	24,668	46,954	14,397
平成18年度（平成19年3月末）	22,184	24,652	46,836	14,539
平成19年度（平成20年3月末）	22,036	24,559	46,595	14,607
平成20年度（平成21年3月末）	21,958	24,493	46,451	14,731
平成21年度（平成22年3月末）	21,992	24,559	46,551	14,928
平成22年度（平成23年3月末）	21,965	24,530	46,495	15,127
平成23年度（平成24年3月末）	21,854	24,398	46,252	15,241
平成24年度（平成25年3月末）	21,823	24,286	46,109	15,370
平成25年度（平成26年3月末）	21,742	24,279	46,021	15,599
平成26年度（平成27年3月末）	21,640	24,176	45,816	15,719

【出典】：「指定区別年齢別男女別人口調」（小城市）



(2) 年代別人口の推移

年代別人口の推移は、年少人口（0～14歳）は平成17年度（2005年度）で7,646人、人口に占める割合は16.3%でした。10年後の平成26年度（2014年度）では6,676人、割合は14.6%と1.7%減少しています。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年度（2005年度）で29,506人、人口に占める割合は62.8%でした。10年後の平成26年度（2014年度）では27,592人、割合は60.2%と2.6%減少しています。

老年人口（65歳以上）は、平成17年度（2005年度）で9,802人、人口に占める割合は20.9%でした。10年後の平成26年度（2014年度）では11,548人、割合は25.2%と4.3%と大幅に増加しています。

本市においても、少子高齢化が進んでいる状況です。

図表 年代別人口の推移（単位：人・%）

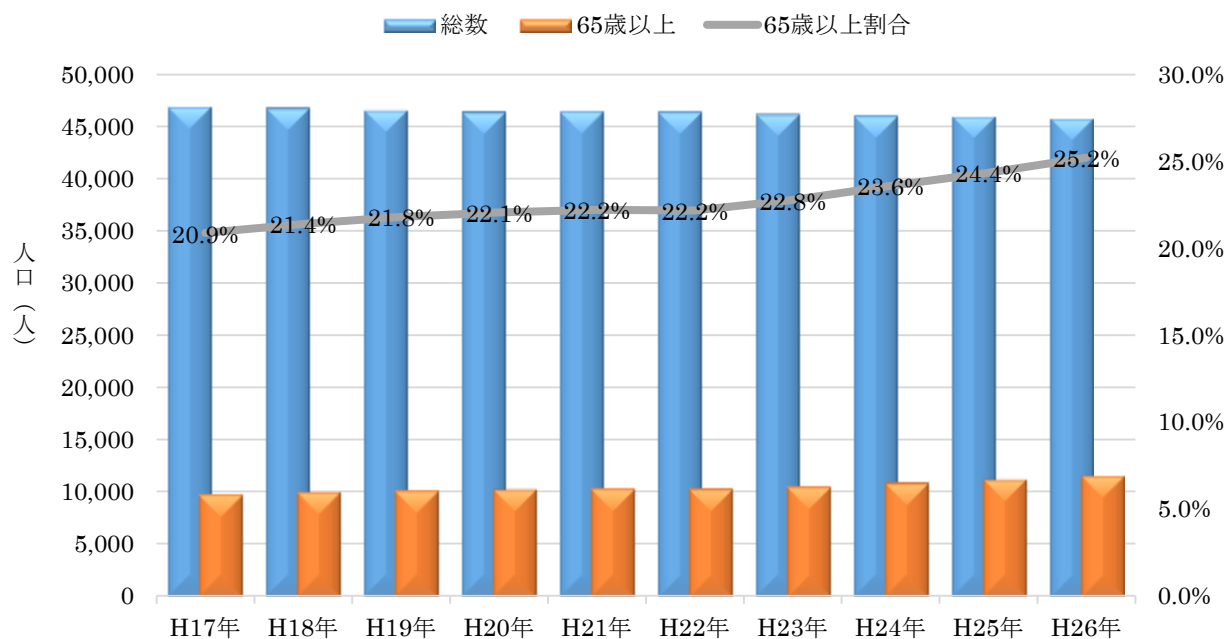
年度	総数	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		人口	割合	人口	割合	人口	割合
平成17年度（平成18年3月末）	46,954	7,646	16.3	29,506	62.8	9,802	20.9
平成18年度（平成19年3月末）	46,836	7,499	16.0	29,312	62.6	10,025	21.4
平成19年度（平成20年3月末）	46,595	7,390	15.9	29,046	62.3	10,159	21.8
平成20年度（平成21年3月末）	46,451	7,292	15.7	28,911	62.2	10,248	22.1
平成21年度（平成22年3月末）	46,551	7,229	15.5	28,986	62.3	10,336	22.2
平成22年度（平成23年3月末）	46,495	7,137	15.4	29,047	62.5	10,311	22.2
平成23年度（平成24年3月末）	46,252	6,980	15.1	28,739	62.1	10,533	22.8
平成24年度（平成25年3月末）	46,109	6,856	14.9	28,374	61.5	10,879	23.6
平成25年度（平成26年3月末）	46,021	6,782	14.7	28,031	60.9	11,208	24.4
平成26年度（平成27年3月末）	45,816	6,676	14.6	27,592	60.2	11,548	25.2

※平成21年度（平成22年3月末）以降は外国人を含めた集計である（平成20年度（平成21年3月末）以前は日本人のみ）

※割合は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入した数値であり合計が100%にはならない部分もある。

【出典】：「指定区別年齢別男女別人口調」（小城市）

図表 65歳以上の人口の推移及び割合



(3) 5歳階級別男女別人口

5歳階級別では、平成21年度(2009年度)で男女共に55～59歳の人口が最も多く、5年後の平成26年度(2014年度)では男女共に60～64歳の人口が最も多く、そのままスライドした状況です。

平成21年度(2009年度)から平成26年度(2014年度)の5年間で年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口が増加しています。

コーホート分析※では、5～14歳、30～44歳の年齢層で人口が流入しており、他の年齢層は流出しています。また、15歳～29歳の流出が大きいのが特徴です。このことから、学校卒業後の人は市外に転出し、代わりに子育て層が市内に転入していることが分かります。

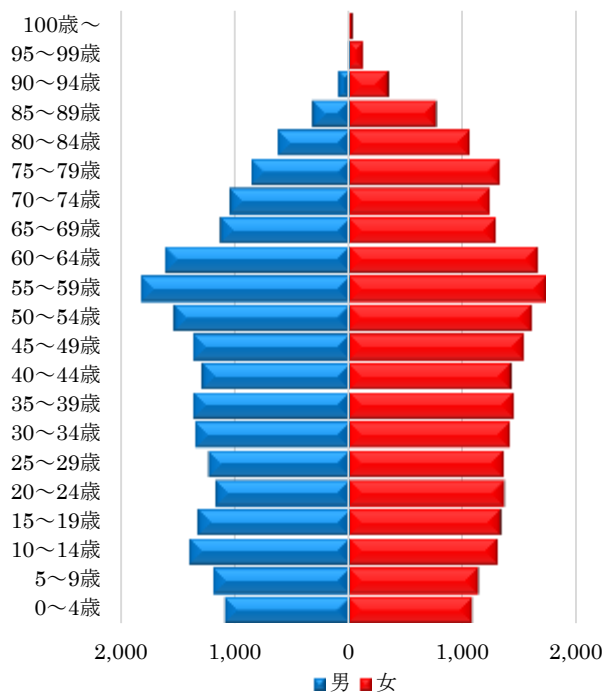
図表 5歳階級別男女別人口(単位:人)

年齢層	平成21年度(平成22年3月末)			平成26年度(平成27年3月末)		
	男	女	総数	男	女	総数
0～4歳	1,098	1,084	2,182	1,011	1,068	2,079
5～9歳	1,203	1,138	2,341	1,114	1,113	2,227
10～14歳	1,404	1,302	2,706	1,214	1,156	2,370
15～19歳	1,331	1,331	2,662	1,305	1,237	2,542
20～24歳	1,175	1,365	2,540	1,069	1,177	2,246
25～29歳	1,239	1,357	2,596	1,134	1,209	2,343
30～34歳	1,357	1,410	2,767	1,283	1,356	2,639
35～39歳	1,374	1,447	2,821	1,379	1,413	2,792
40～44歳	1,295	1,420	2,715	1,398	1,457	2,855
45～49歳	1,376	1,535	2,911	1,300	1,403	2,703
50～54歳	1,540	1,600	3,140	1,340	1,508	2,848
55～59歳	1,830	1,727	3,557	1,519	1,583	3,102
60～64歳	1,621	1,656	3,277	1,804	1,718	3,522
65～69歳	1,136	1,287	2,423	1,538	1,615	3,153
70～74歳	1,051	1,239	2,290	1,062	1,270	2,332
75～79歳	865	1,323	2,188	929	1,161	2,090
80～84歳	637	1,059	1,696	670	1,208	1,878
85～89歳	330	768	1,098	384	865	1,249
90～94歳	108	349	457	158	485	643
95～99歳	18	129	147	28	138	166
100歳～	4	33	37	1	36	37
総数	21,992	24,559	46,551	21,640	24,176	45,816

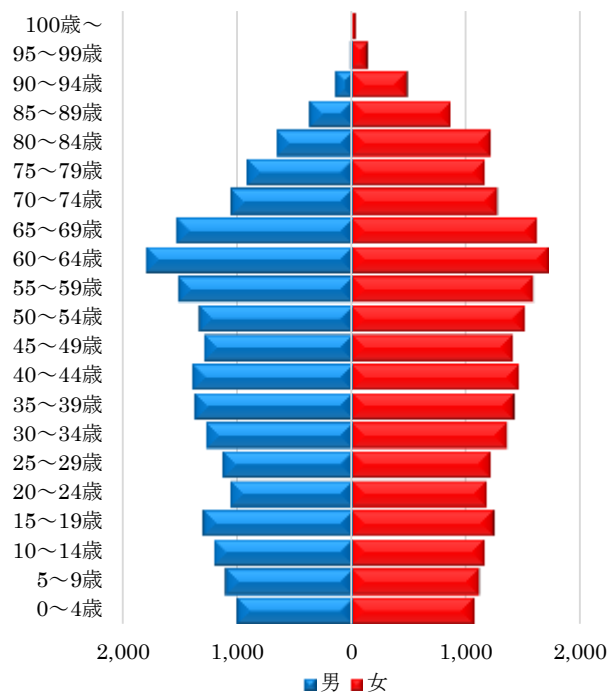
【出典】:「指定区別年齢別男女別人口調」(小城市)

※コーホート分析:ある特定期間内に生まれた人の集団を指す統計上の概念をコーホートといい、それら特定の年齢階層の人口グループが次の時点でどのように変動したかを分析すること。

図表 平成22年3月末5歳階級別男女別人口（単位：人）



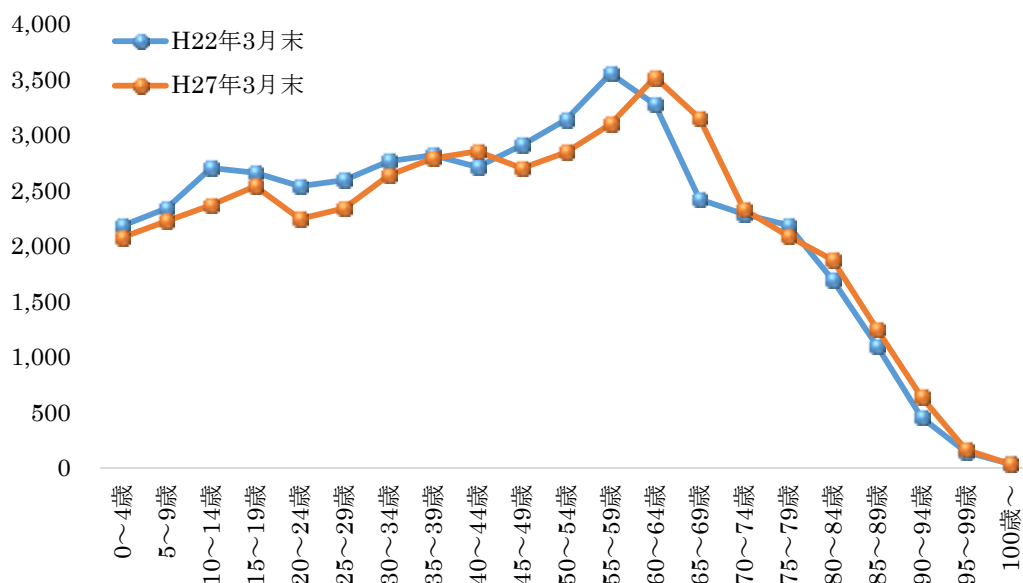
図表 平成27年3月末5歳階級別男女別人口（単位：人）



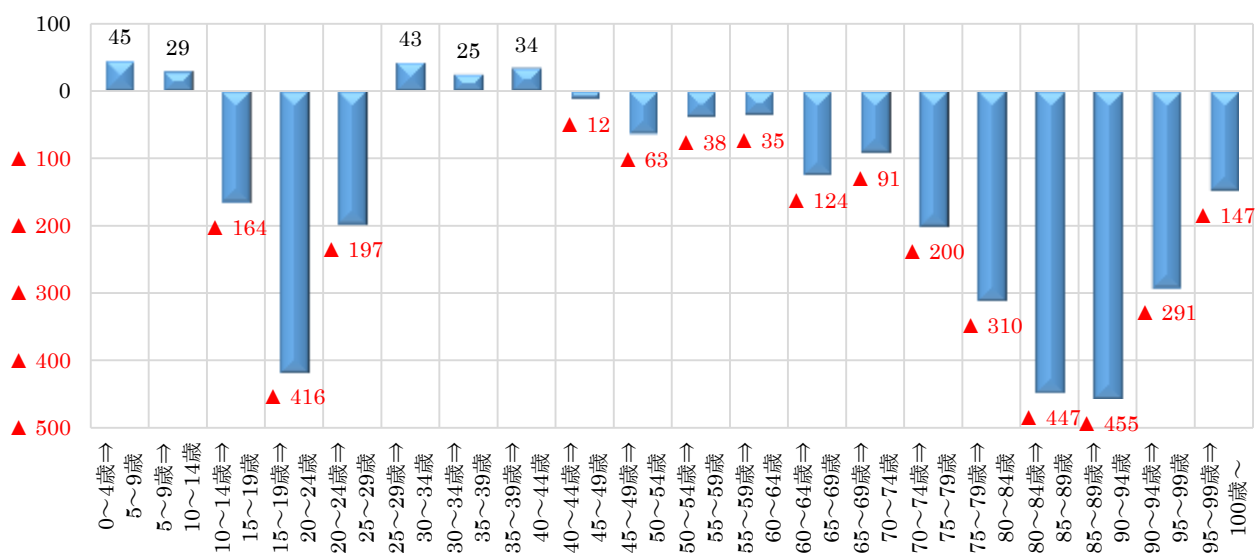
図表 5歳階級別人口推移（単位：人）

	平成22年 3月末	平成27年 3月末	コホート 増減	3階級 増減
0～4歳	2,182	2,079	—	
5～9歳	2,341	2,227	45	▲ 553
10～14歳	2,706	2,370	29	
15～19歳	2,662	2,542	▲ 164	
20～24歳	2,540	2,246	▲ 416	
25～29歳	2,596	2,343	▲ 197	
30～34歳	2,767	2,639	43	
35～39歳	2,821	2,792	25	▲ 1,394
40～44歳	2,715	2,855	34	
45～49歳	2,911	2,703	▲ 12	
50～54歳	3,140	2,848	▲ 63	
55～59歳	3,557	3,102	▲ 38	
60～64歳	3,277	3,522	▲ 35	
65～69歳	2,423	3,153	▲ 124	
70～74歳	2,290	2,332	▲ 91	
75～79歳	2,188	2,090	▲ 200	
80～84歳	1,696	1,878	▲ 310	
85～89歳	1,098	1,249	▲ 447	1,212
90～94歳	457	643	▲ 455	
95～99歳	147	166	▲ 291	
100歳～	37	37	▲ 147	
総数	46,551	45,816	—	▲ 735

図表 5 歳階級別人口推移 (単位：人)



図表 5 歳階級別人口動態 (単位：人)



(4) 人口動態（自然動態・社会動態）

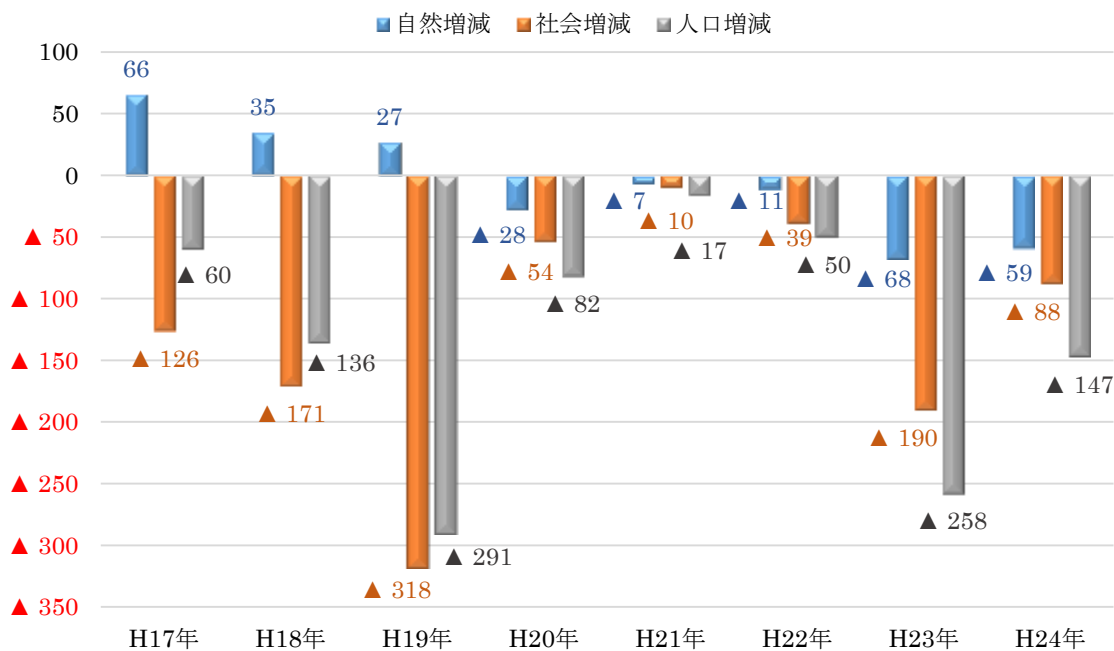
平成17年度（2005年度）から平成24年度（2012年度）の人口動態（自然動態※¹・社会動態※²）は、減少している状況です。特に、社会動態（転入等・転出等）において、減少（市外への流出）が大きい状況です。

図表 人口動態（自然動態・社会動態）（単位：人）

年度	総数	自然動態			社会動態			人口増減
		出生	死亡	自然増減	転入等	転出等	社会増減	
平成17年度（平成18年3月末）	46,954	459	393	66	1,710	1,836	▲126	▲60
平成18年度（平成19年3月末）	46,836	418	383	35	1,579	1,750	▲171	▲136
平成19年度（平成20年3月末）	46,595	461	434	27	1,510	1,828	▲318	▲291
平成20年度（平成21年3月末）	46,451	441	469	▲28	1,611	1,665	▲54	▲82
平成21年度（平成22年3月末）	46,551	434	441	▲7	1,619	1,629	▲10	▲17
平成22年度（平成23年3月末）	46,495	432	443	▲11	1,675	1,714	▲39	▲50
平成23年度（平成24年3月末）	46,252	386	454	▲68	1,410	1,600	▲190	▲258
平成24年度（平成25年3月末）	46,109	414	473	▲59	1,531	1,619	▲88	▲147

【出典】：「出生数死亡数のデータ」（小城市）

図表 人口動態（自然動態・社会動態）（単位：人）



※¹ 自然動態：年間の出生と死亡に伴う人口の動き

※² 社会動態：転入と転出に伴う人口の動き

(5) 将来人口の見込み

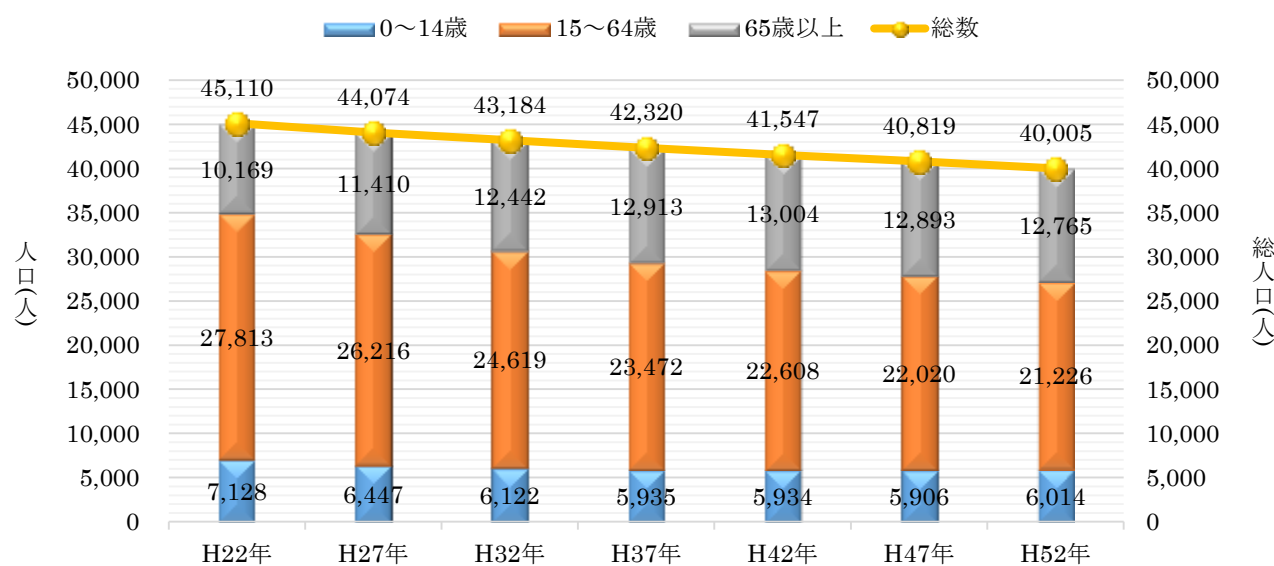
小城市試算の推計では、平成 22 年度（2010 年度）の総人口 45,110 人から、平成 32 年度（2020 年度）には総人口 43,184 人となり、平成 42 年度（2030 年度）に 41,547 人、平成 52 年度（2040 年度）には 40,005 人となり、30 年間で約 5,000 人減少する見込みです。

年齢別では、30 年間で年少人口（0～14 歳）は約 1,100 人、生産年齢人口（15～64 歳）では約 6,500 人の減少、逆に老年人口（65 歳以上）では約 2,600 人増加する見込みです。

図表 将来人口の見込み（単位：人）

年度	0～14 歳	15～64 歳	65 歳以上	総数
平成 22 年度（2010 年度）	7,128	27,813	10,169	45,110
平成 27 年度（2015 年度）	6,447	26,216	11,410	44,074
平成 32 年度（2020 年度）	6,122	24,619	12,442	43,184
平成 37 年度（2025 年度）	5,935	23,472	12,913	42,320
平成 42 年度（2030 年度）	5,934	22,608	13,004	41,547
平成 47 年度（2035 年度）	5,906	22,020	12,893	40,819
平成 52 年度（2040 年度）	6,014	21,226	12,765	40,005

【出典】：「小城市まち・人・しごと創生総合戦略」（小城市試算：国勢調査）

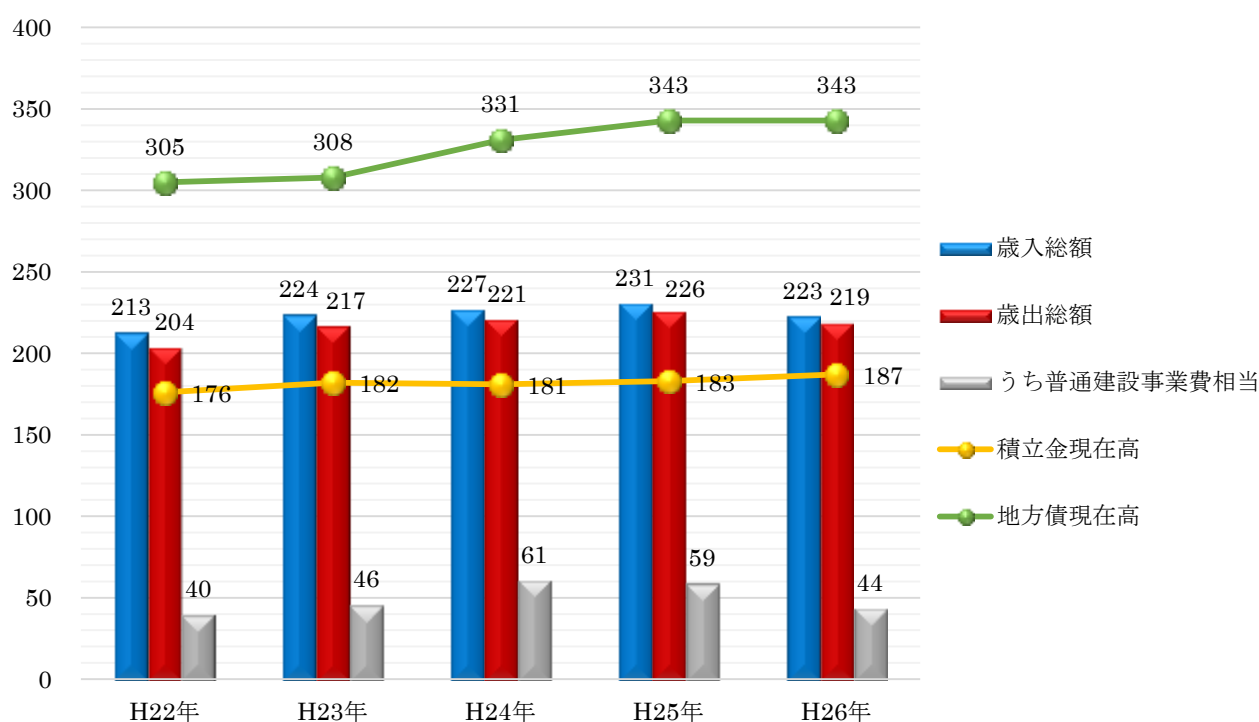


3. 財政・行政運営

市の予算は、歳出総額に必要な歳入総額を計上して執行します。各年度の決算額は、事業の年次計画や費用の多少、国や県を含めた事業主体や補助金の流れの変更、その他制度改正に伴う事業費増減等の影響を受けますが、普通会計と下水道会計の決算における平成22年度(2010年度)から平成26年度(2014年度)までの歳入歳出の状況は、約220億円で推移しています。その中で土地代を含む施設整備や改修、機器の購入費に相当する「普通建設事業費相当」が約50億円で推移しています。

また、地方債(市の借金)と積立金(市の貯蓄)があり、地方債残高は増加傾向、積立金残高は微増傾向になっています。

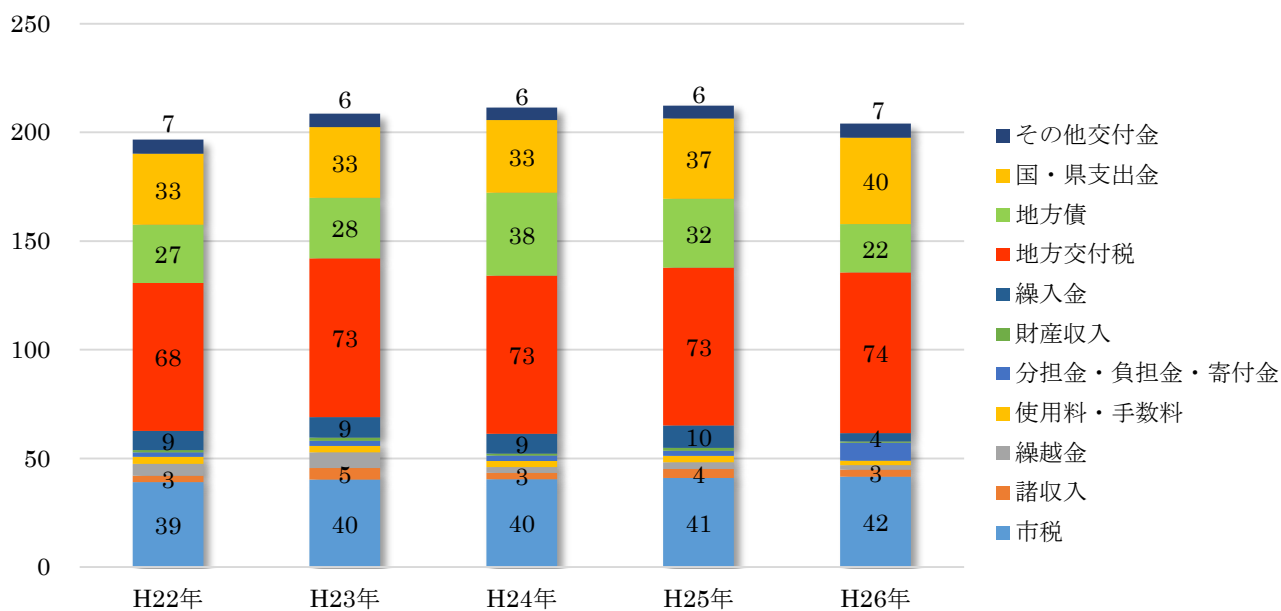
図表 普通会計+下水道会計の決算状況(歳入、歳出の推移)(単位:億円)



【出典】:「普通会計+下水道会計 決算状況」

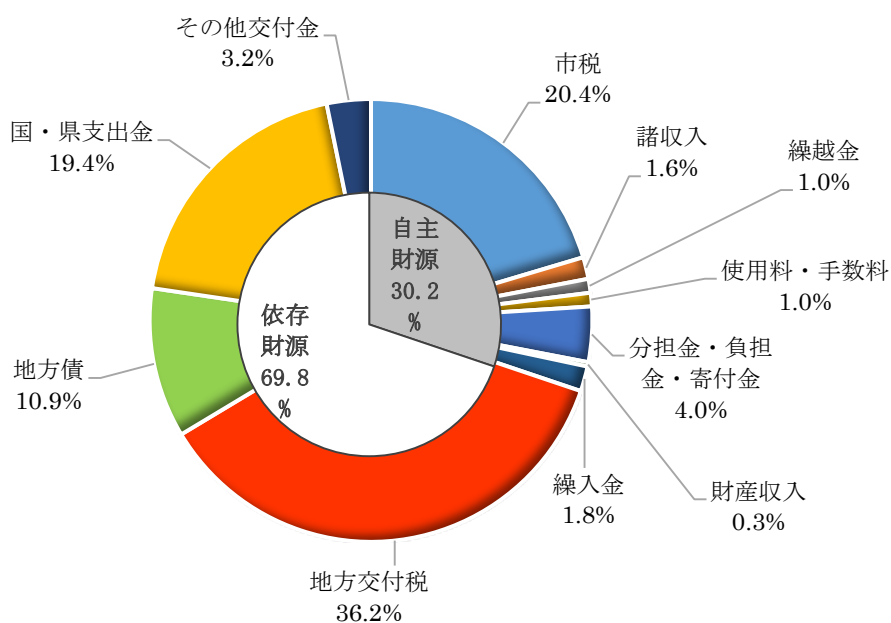


図表 普通会計歳入の内訳（単位：億円）



【出典】：「普通会計 決算状況」

図表 普通会計歳入の内訳（自主財源と依存財源の構成比 平成26年度）



【出典】：「普通会計 決算状況」

Ⅲ. 公共施設の現状と分析

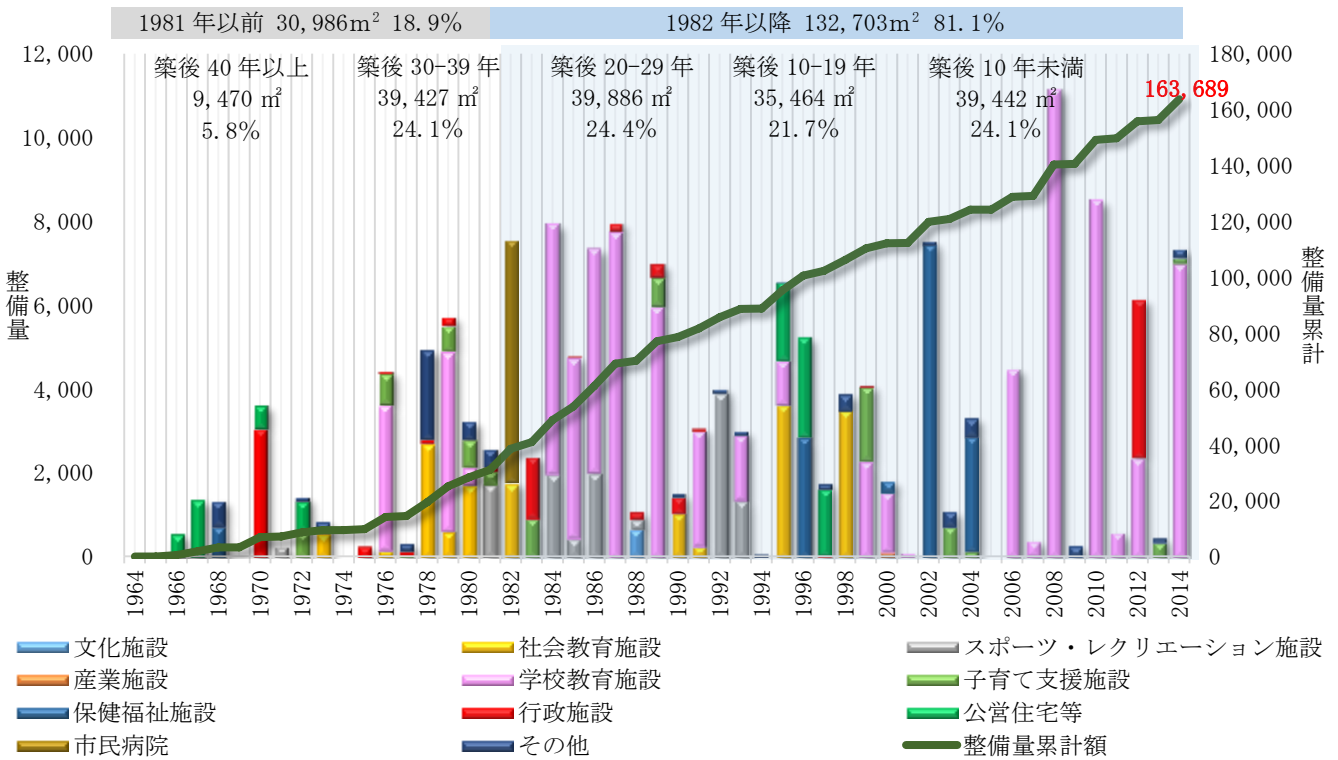
1. 建築物

(1) 過去の整備量（延床面積）

小都市の建築物（いわゆるハコモノ施設）の総面積は約 16.4 万㎡であり、市民 1 人あたり約 3.6 ㎡と なっています。これは、全国平均 3.6 ㎡（総務省）と、同じ値となっています。

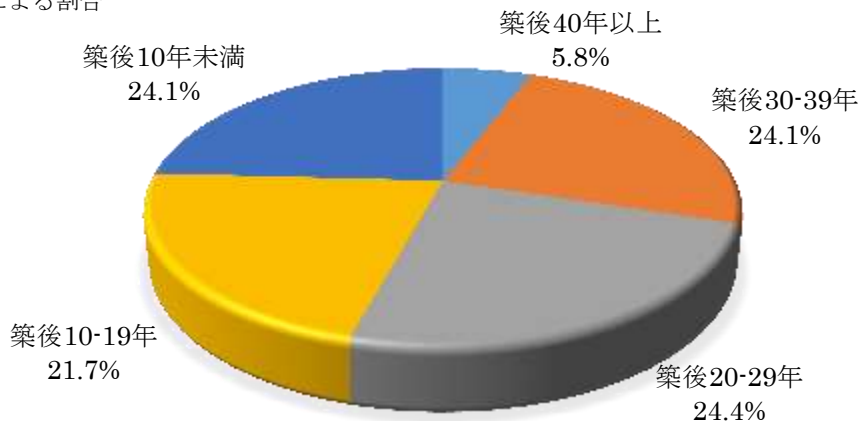
整備状況は図表のとおりです。築後 20 年から 29 年が 24.4%、築後 30 年から 39 年が 24.1%、築後 40 年以上が 5.8%と全体の半数以上の建物が築後 20 年以上経過している状況です。

図表 過去の整備量（延床面積）（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

図表 建築後年数による割合



図表 分類別施設整備割合

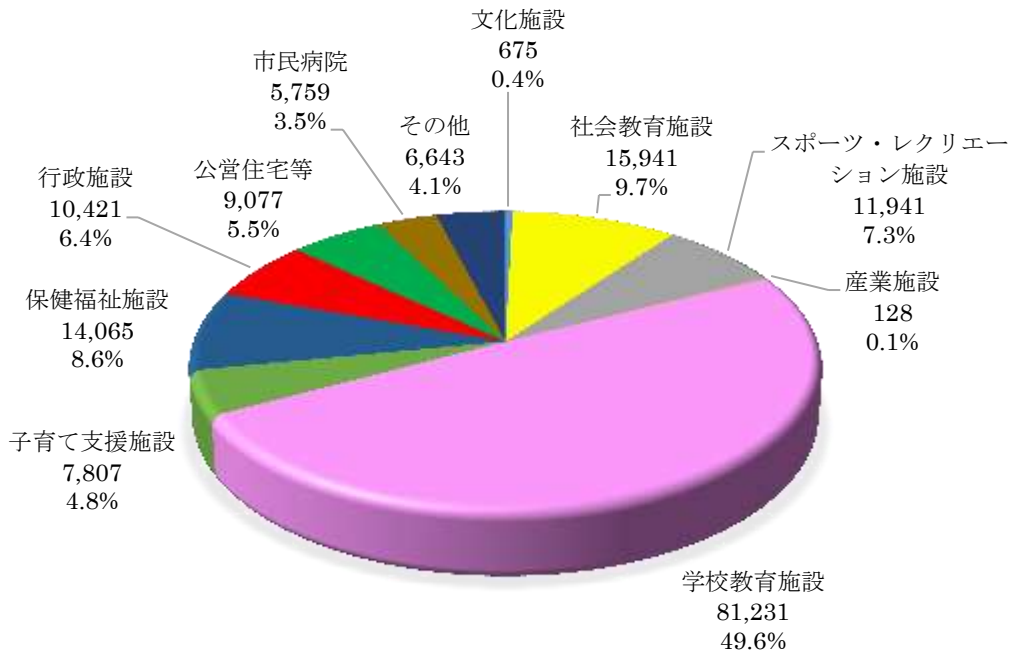
2014年度までに整備された公共施設の総面積			項目		
163,689 (㎡)			総面積		
新耐震基準前の建設年の施設 (1981年度以前の建築)	延床面積	30,986 (㎡)	築後 40年以上	9,470 ㎡	5.8 %
	割合	18.9 (%)	築後 30-39年	39,427 ㎡	24.1 %
建設から 20年以上の施設 (1994年度以前の建築)	延床面積	88,783 (㎡)	築後 20-29年	39,886 ㎡	24.4 %
	割合	54.2 (%)	築後 10-19年	35,464 ㎡	21.7 %
地域人口	45,816 (人)		築後 10年未満	39,442 ㎡	24.1 %
人口 1人当たりの公共施設の床面積	3.6 (㎡/人)		合計	163,689 ㎡	100.0 %

※面積は項目毎に小数点以下第1位を四捨五入した数値であり、合計が内訳端数の関係で合わない部分もある。
 ※割合は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入した数値であり、合計が100%にはならない部分もある。

(2) 施設用途別延床面積

総延床面積約 16.4 万㎡に対して、各々の施設用途別面積の割合は、学校教育施設が約 49.6%と一番高く、次に社会教育施設で約 9.7%になっています。

図表 施設用途別延床面積 (単位: ㎡)



【出典】: 「平成 26 年度固定資産台帳」



(3) 老朽化の現状

平均老朽化比率については、レクリエーション施設・保育所が80%以上、公民館等・スポーツ施設・幼稚園・防災施設・市民病院が60%以上と高い状況にあります。

全体の約72%にあたる92施設が更新検討施設(老朽化比率:60%以上)となっており、老朽化が進んでいる状況です。

図表 施設老朽化比率

大分類	中分類	取得価格	施設数	算出施設数	80%以上	60%以上	40%以上	20%以上	20%未満	平均比率
文化施設	文化施設	103,490,000	2	2			1	1		54.3%
社会教育施設	公民館等	3,437,459,099	9	9	4	4	1			68.0%
	図書館	—※ ¹	4	0※ ¹						—
	その他社会教育施設	1,648,561,700	2	2	1			1		33.3%
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	2,483,024,230	5	5		5				66.1%
	レクリエーション施設	179,187,000	3	3	3					98.3%
産業施設	産業施設	37,120,000	1	1				1		28.0%
学校教育施設	小学校	11,973,926,017	8	8		3	3	2		45.0%
	中学校	6,570,843,994	4	3※ ²			1	2		29.5%
	その他教育施設	688,565,302	2	2			1		1	39.6%
子育て支援施設	保育所	605,351,108	4	4	2	2				80.6%
	幼稚園	962,094,682	3	3	1	2				73.4%
	学童保育・児童センター	407,253,317	5	5			1	1	3	27.7%
保健福祉施設	保健福祉施設	4,310,497,655	6	6	1	1	1	3		32.7%
行政施設	庁舎等	2,305,373,123	2	2		1			1	23.0%
	防災施設	342,746,000	51	50※ ³	18	31	1			76.9%
公営住宅等	公営住宅等	1,203,094,016	6	6	5			1		44.2%
市民病院	市民病院	2,412,540,369	1	1		1				73.7%
その他	その他施設	611,798,112	23	15※ ⁴	7		4	2	2	44.0%
比率		—	—	—	33.3%	38.9%	11.9%	11.1%	4.8%	
合計施設数		40,275,158,724	141	127	42	50	14	14	7	

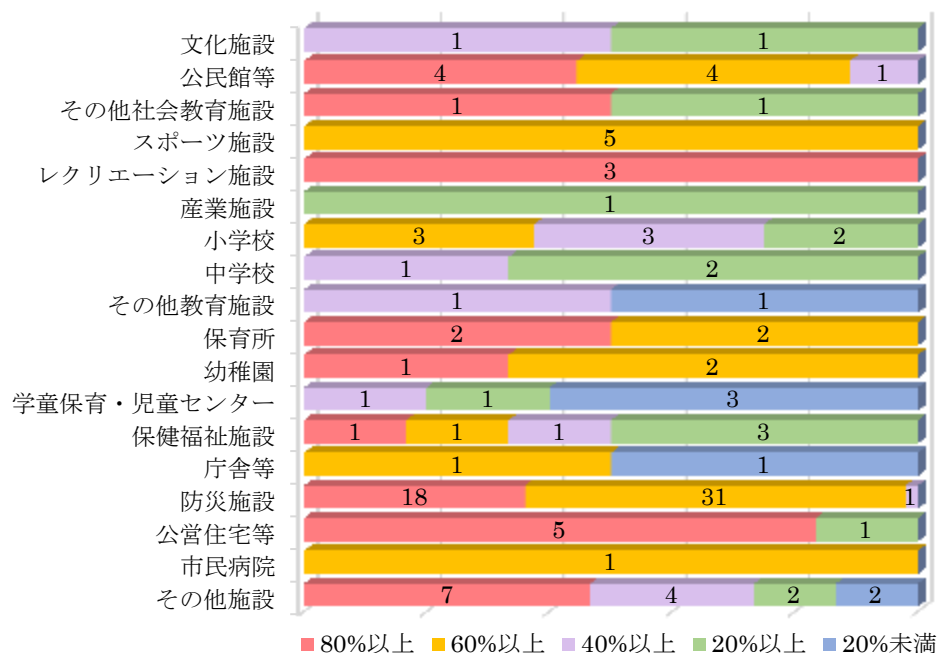
※¹ 図書館は、公民館等に含まれている複合施設のため、算出していません。

※² 小城市立芦刈観瀾校(小中一貫校)は、小学校に合算しています。

※³ 消防格納庫芦刈第2分団第1部は地区施設と共用部分があるため算出していません。

※⁴ 平成27年度中に解体済の施設は、算出していません。

上記の理由により、施設数と老朽化比率算出施設数は合致していません。



(4) 施設のコスト状況

図表 施設コスト状況 (単位: 千円)

機能別施設	件数	施設数	算出施設数	人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	総合計		
文化施設	文化施設	2	2	6,098 0.41%	1,213 0.24%	75 0.05%	2,454 0.25%	17 0.01%	9,857 0.29%		
社会教育施設	公民館等	9	9	70,412 4.73%	23,147 4.54%	3,029 2.00%	58,647 6.02%	43,677 18.71%	198,912 5.92%		
	図書館	4	0※ ¹	— —	— —	— —	— —	— —	— —		
	その他社会教育施設	2	2	17,970 1.21%	5,765 1.13%	755 0.50%	32,883 3.38%	2,873 1.23%	60,246 1.79%		
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	5	5	10,500 0.71%	226 0.04%	2,089 1.38%	43,622 4.48%	2,868 1.23%	59,305 1.77%		
	レクリエーション施設	3	3	7,785 0.52%	597 0.12%	756 0.50%	1,258 0.13%	1,889 0.81%	12,285 0.37%		
産業施設	産業施設	1	1	27 0.00%	99 0.02%	1 0.00%	742 0.08%	9 0.00%	878 0.03%		
学校教育施設	小学校	8	8	47,921 3.22%	57,149 11.20%	9,935 6.55%	220,523 22.64%	5,564 2.38%	341,092 10.16%		
	中学校	4	4	24,701 1.66%	33,279 6.52%	9,724 6.41%	227,175 23.33%	5,697 2.44%	300,576 8.95%		
	その他教育施設	2	2	137,289 9.23%	26,937 5.28%	2,159 1.42%	21,018 2.16%	3,343 1.43%	190,746 5.68%		
子育て支援施設	保育所	4	4	100,165 6.73%	52,689 10.33%	2,026 1.34%	10,621 1.09%	1,815 0.78%	167,316 4.98%		
	幼稚園	3	3	8,227 0.55%	5,623 1.10%	608 0.40%	32,654 3.35%	2,164 0.93%	49,276 1.47%		
	学童保育・児童センター	5	5	64,038 4.30%	9,582 1.88%	1,110 0.73%	12,999 1.33%	24,460 10.48%	112,189 3.34%		
保健福祉施設	保健福祉施設	6	6	11,841 0.80%	886 0.17%	1,011 0.67%	97,617 10.02%	25,099 10.75%	136,454 4.03%		
行政施設	庁舎等	2	2	15,508 1.04%	22,232 4.36%	14,673 9.68%	83,205 8.54%	1,261 0.54%	136,879 4.06%		
	防災施設	51	50※ ²	0 0.00%	3,835 0.75%	924 0.61%	8,387 0.86%	4,557 1.90%	17,703 0.53%		
公営住宅等	公営住宅等	6	6	0 0.00%	135 0.03%	7,163 4.72%	24,513 2.52%	1,119 0.48%	32,930 0.98%		
市民病院	市民病院	1	1	806,256 54.18%	234,136 45.90%	88,976 58.67%	81,261 8.34%	10,125 4.34%	1,220,754 36.36%		
その他	その他施設	23	15※ ³	159,238 10.70%	32,624 6.39%	6,639 4.38%	14,325 1.47%	97,077 41.58%	309,903 9.23%		
合計				141	128	1,487,976	510,154	151,653	973,904	233,614	3,357,301

※¹ 図書館は、公民館等に含まれている複合施設のため、算出していません。

※² 消防格納庫芦刈第2分団第1部は地区施設と共用部分があるため算出していません。

※³ 平成27年度中に解体済の施設は、算出していません。

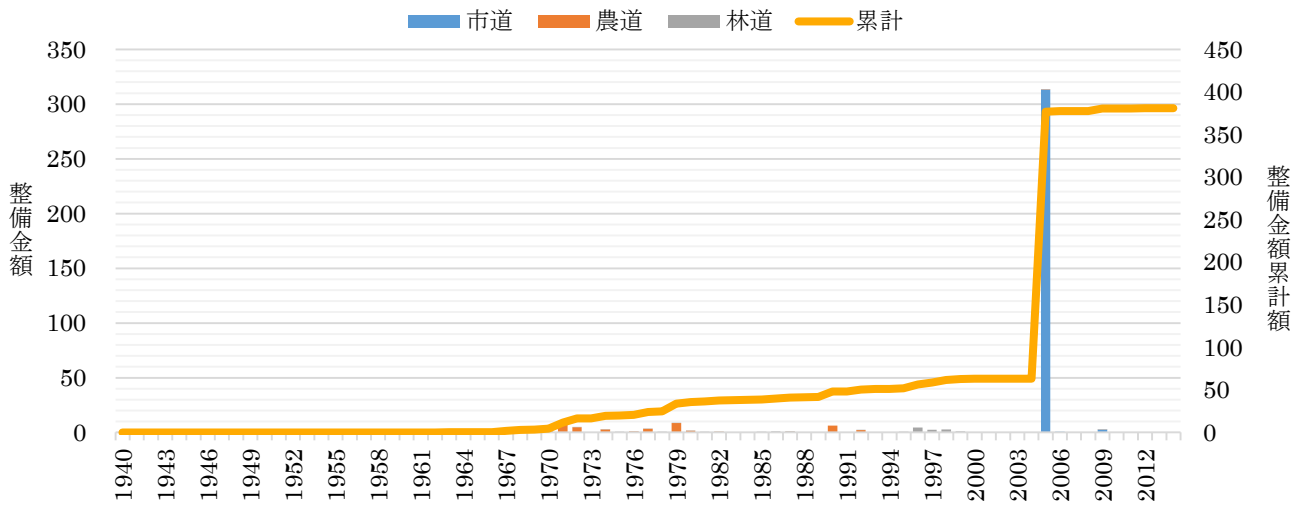
上記の理由により、施設数とコスト算出施設数は合致していません。

2. インフラ

(1) 道路

道路（市道・農道・林道）の年度別整備状況は下図のようになります。

図表 道路全体の年度別整備金額（単位：億円）



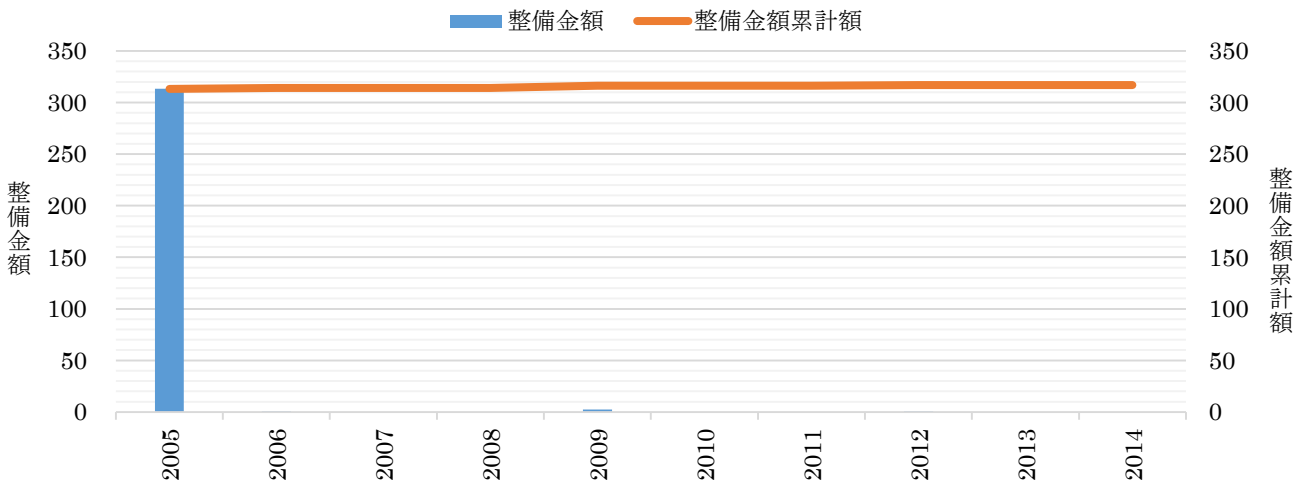
【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

1-1. 市道

市道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

総延長は 705 路線で約 35.1 万mになり、4 町合併により旧町道等を市道認定しているため、平成 17 年度（2005 年度）の整備額が突出しています。

図表 市道の年度別整備金額（単位：億円）



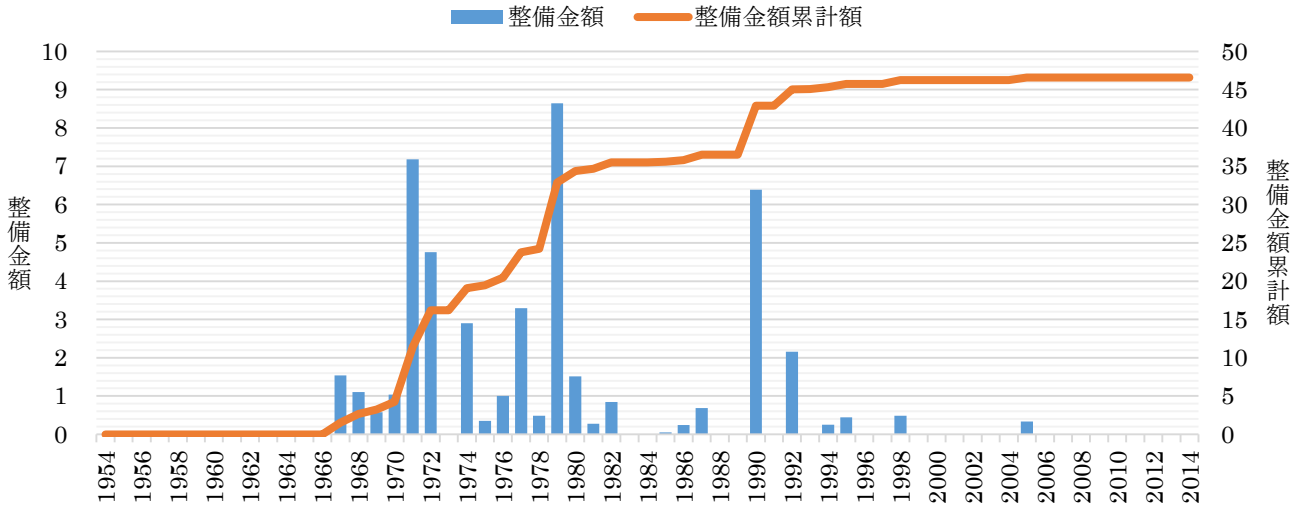
【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

1-2. 農道

農道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

総延長は705路線で約24.5万mになり、整備が多い時期は、昭和46年度（1971年度）、昭和54年度（1979年度）、平成2年度（1990年度）になっています。

図表 農道の年度別整備金額（単位：億円）



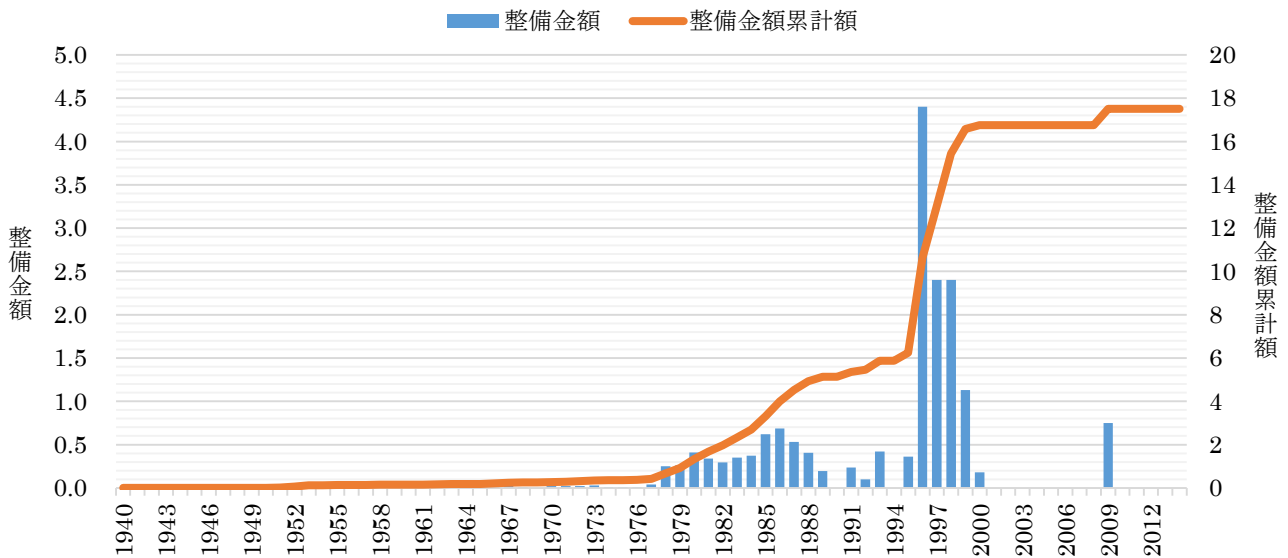
【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

1-3. 林道

林道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

総延長は9路線で約1.8万mになり、整備が多い時期は、平成8年度（1996年度）から平成10年度（1998年度）になっています。

図表 林道の年度別整備金額（単位：億円）



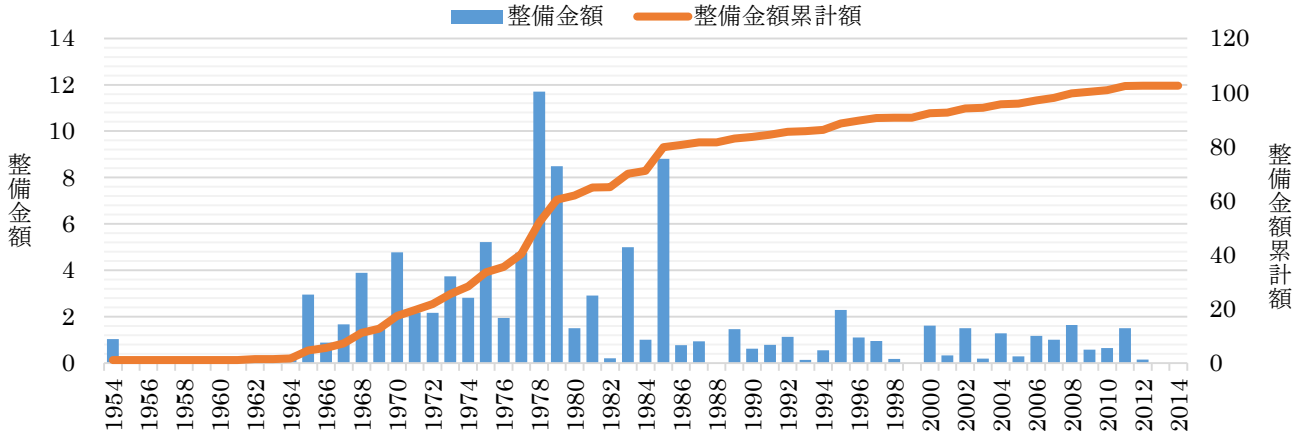
【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

(2) 橋梁

橋梁整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

市の橋梁は322本あります。昭和40年度(1965年度)から昭和60年度(1985年度)までの約20年間に全体の約7割強が整備されています。

図表 橋梁の年度別整備金額(単位:億円)



【出典】:「平成26年度固定資産台帳」

図表 主な橋梁

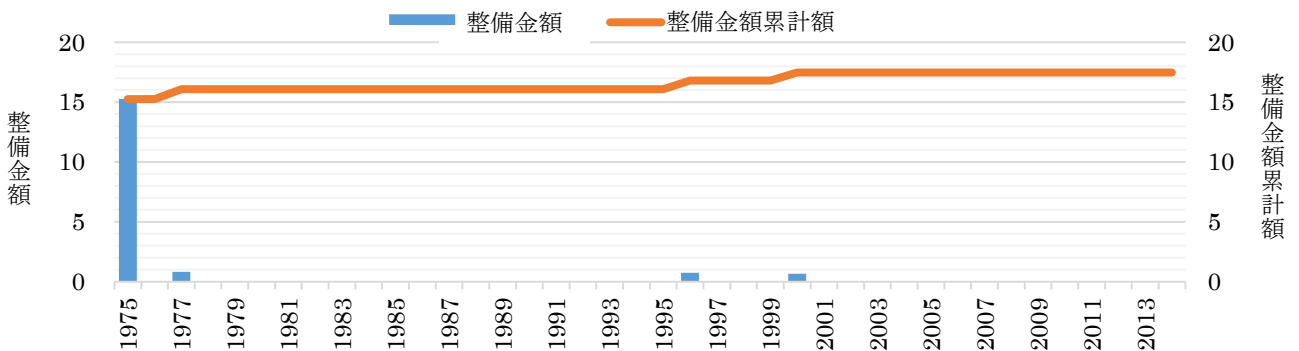
地区	主な橋梁名称	所在地	整備年度	備考
小城市	山崎陸橋	小城市小城市町池上字山崎2459-6	昭和54年度	陸橋
	小島橋	小城市小城市町池上字小島5884-2	昭和52年度	晴気川
	響ヶ里1号橋	小城市小城市町畑田字響ヶ里1621-3	平成12年度	峰川
三日月町	三日月中央高架橋	小城市三日月町長神田字大寺2361-2	昭和53年度	JR跨線橋
	西平川橋	小城市三日月町道辺字芦田	昭和60年度	西平川
	三ヶ島2号橋	小城市三日月町三ヶ島字三ヶ島	昭和58年度	祇園川
牛津町	牛津川橋	小城市小城市町池上字山崎2458-1	昭和54年度	牛津川
芦刈町	さくら橋	小城市芦刈町三王崎字牛王323-3	平成7年度	戸崎川

(3) 河川

河川整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

市が管理している河川は32本あります。台帳整備に伴う一括登録等により、昭和50年度(1975年度)の整備額が突出しています。

図表 河川の年度別整備金額(単位:億円)

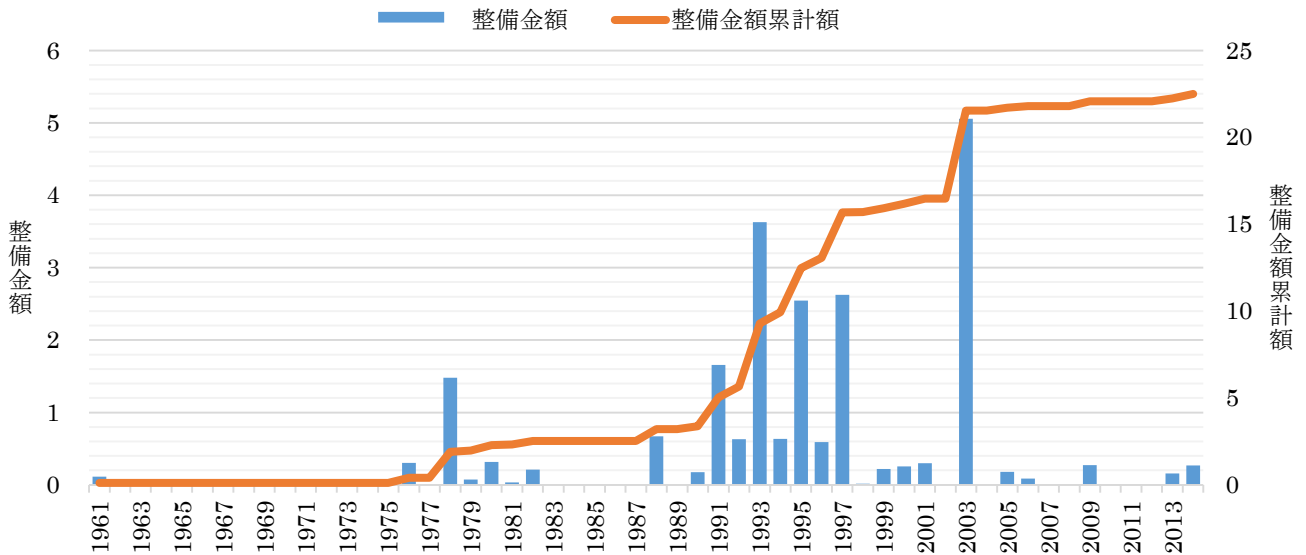


【出典】:「平成26年度固定資産台帳」

(4) 公園（屋外施設含む）

公園（屋外施設含む）整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。公園の総整備面積は約 14.6 万㎡となっています。牛津総合公園が整備された平成 15 年度（2003 年度）が最も高くなっています。次に芦刈運動公園が整備された平成 5 年度（1993 年度）が高くなっています。

図表 公園の年度別整備金額（単位：億円）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

図表 主な公園名称および施設

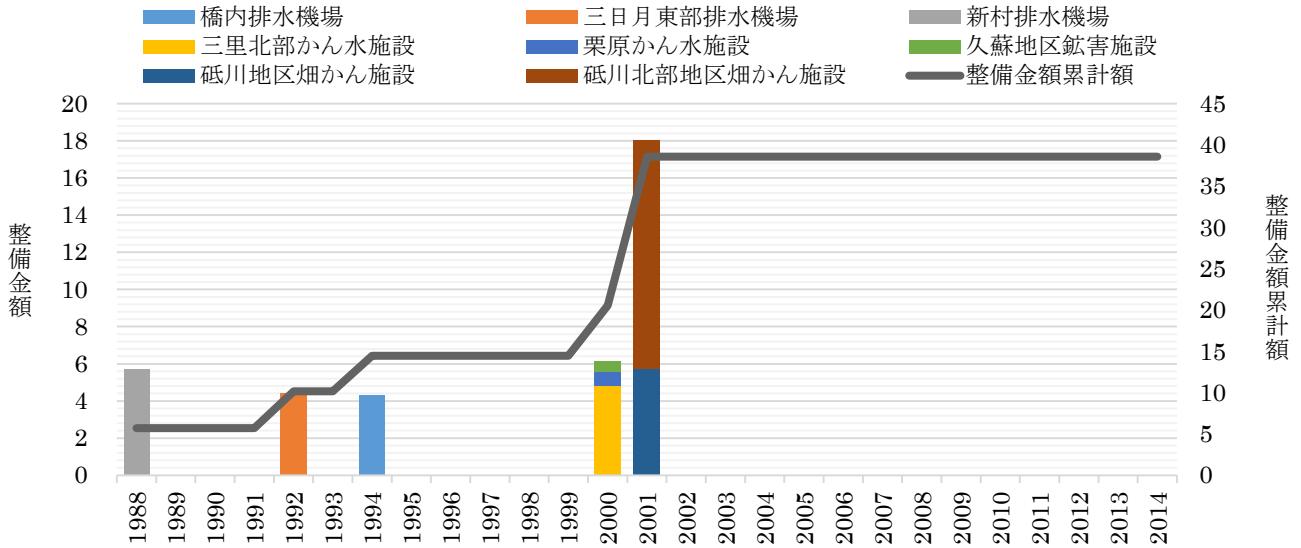
地区	主な公園名称	所在地	整備年月	主な施設
小城町	小城市八丁グリーンパーク※	小城町晴気 5 2 9 2 - 1	平成 9 年度	展望台・キャンプ場※
	小城公園	小城町 1 8 5 - 1	昭和 36 年度	元気広場・グラウンド・テニスコート
	千葉公園	小城町松尾 3 5 4 5 - 3	昭和 51 年度	展望台
	祇園川河畔公園	小城町岩蔵 1 5 7 - 3	平成 5 年度	遊歩道・親水広場
三日月町	三日月グラウンド	三日月町長神田 3 3 9 - 1	昭和 63 年度	野球場・ソフトボール場 ゲートボール場
	三日月ふれあい公園	三日月町樋口 1 2 2 1	平成 7 年度	テニスコート・イベントステージ
	夢とロマンの丘公園	三日月町織島 1 - 1 8 0	平成 4 年度	遊歩道・親水エリア
	土生遺跡公園	三日月町久米 2 4 8 9 - 2	平成 3 年度	堅穴住居・高床倉庫
牛津町	牛津総合公園	牛津町勝 1 1 3 6 - 1	平成 15 年度	多目的グラウンド・グラウンドゴルフ場 遊具広場・ジョギングロード
	石切場跡公園（石工の里公園）	牛津町上砥川 4 7 2 4 - 1 5 8	平成 2 年度	展望台
	うしづふれあいグリーンパーク	牛津町上砥川 3 3 0 0	平成 3 年度	展望台
	羽佐間水路緑水公園	牛津町下砥川 1 - 4	平成 6 年度	休憩所・広場
芦刈町	海遊ふれあいパーク	芦刈町大字永田 3 0 3 3	平成 7 年度	干潟体験場・オートキャンプ場
	芦刈運動公園	芦刈町三王崎 1 7 2 - 1	平成 5 年度	野外ステージ・テニスコート ジョギングロード

※小城市八丁グリーンパークの炊事棟等施設は、建築物として第V章 3-2.レクリエーション施設に記載しています。

(5) 農業施設

農業施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

図表 農業施設の年度別整備金額（単位：億円）

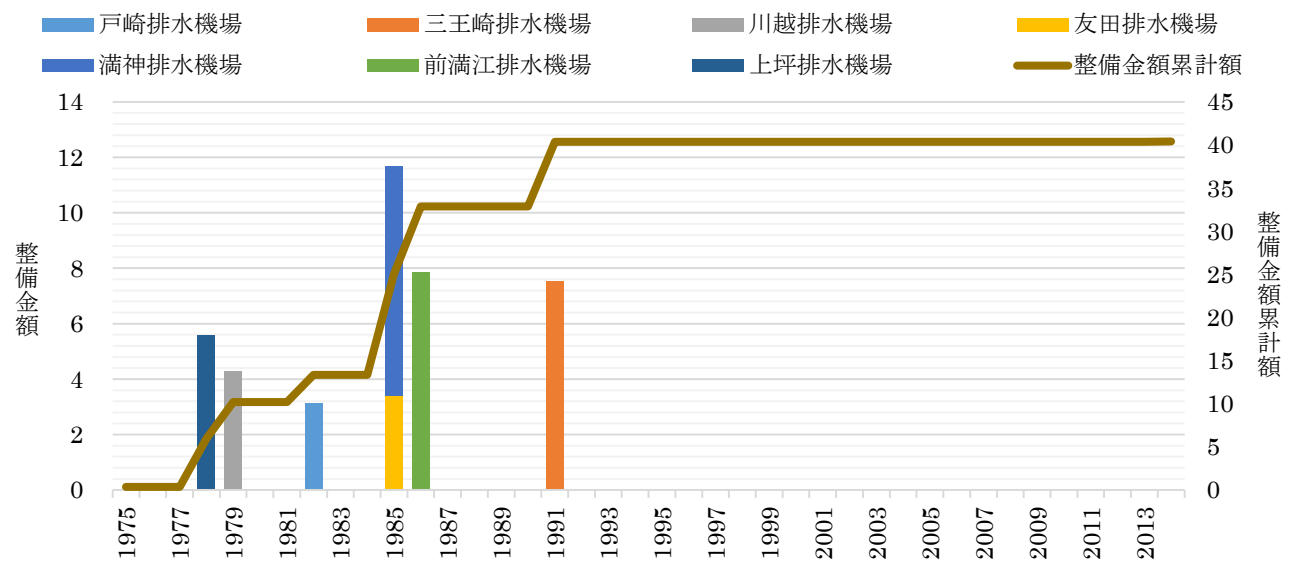


【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

(6) 排水施設

排水施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

図表 排水機場の年度別整備金額（単位：億円）

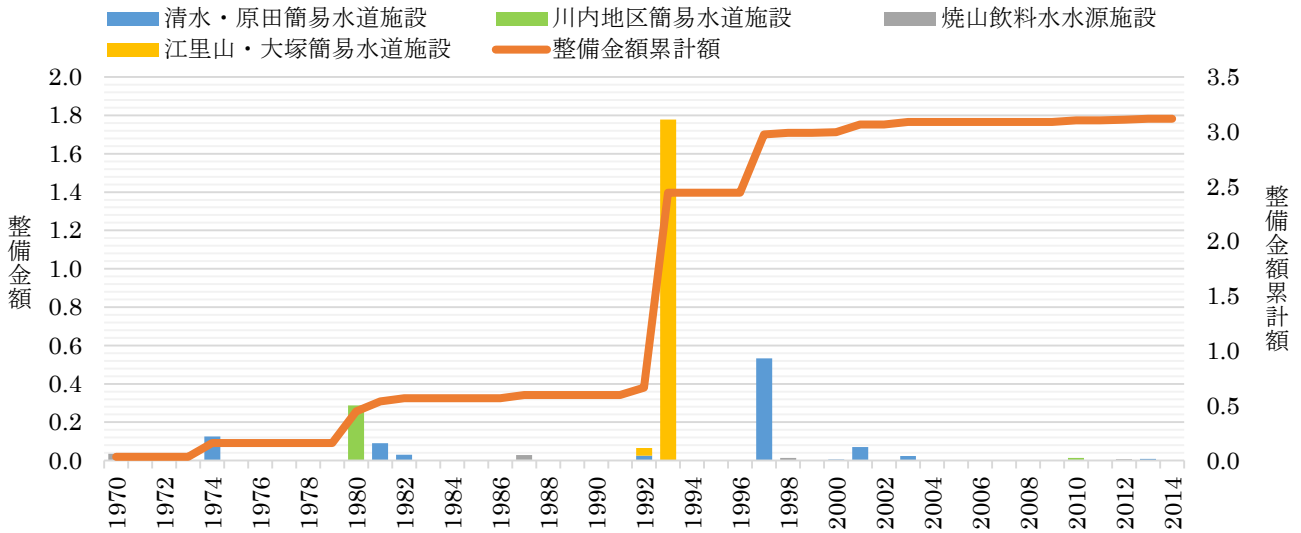


【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

(7) 簡易水道施設

簡易水道施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
 江里山・大塚簡易水道施設が整備された平成5年度（1993年度）が最も高くなっています。

図表 簡易水道施設の年度別整備金額（単位：億円）

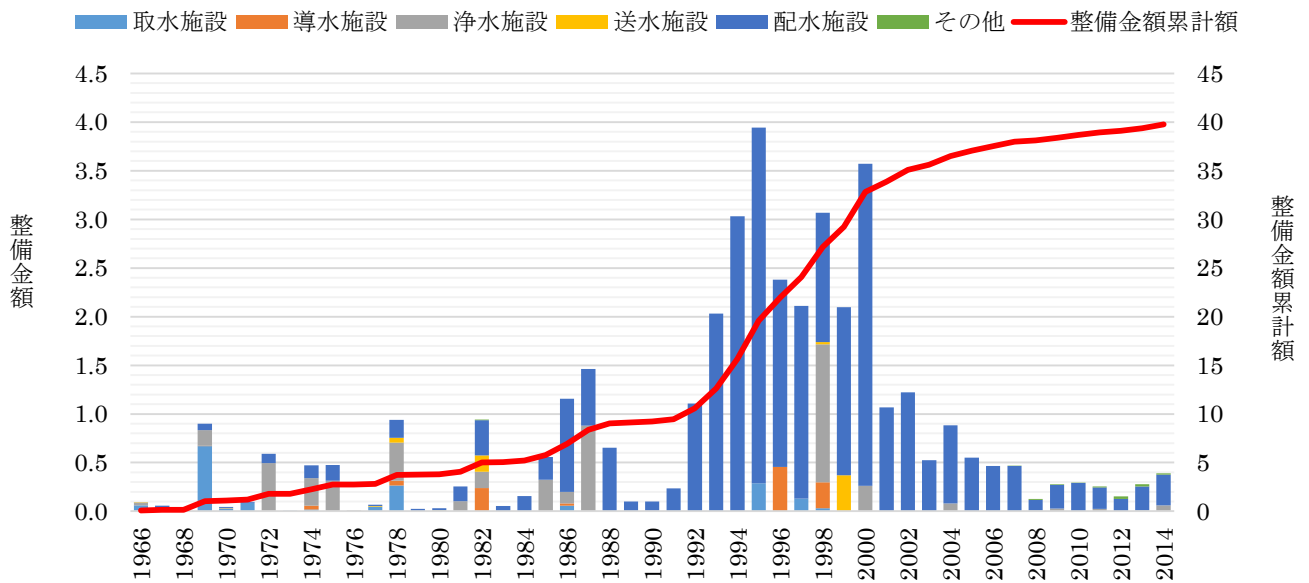


【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

(8) 上水道施設

上水道施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
 平成4年度（1992年度）からの約10年間で配水施設の整備が集中しています。

図表 上水道施設の年度別整備金額（単位：億円）



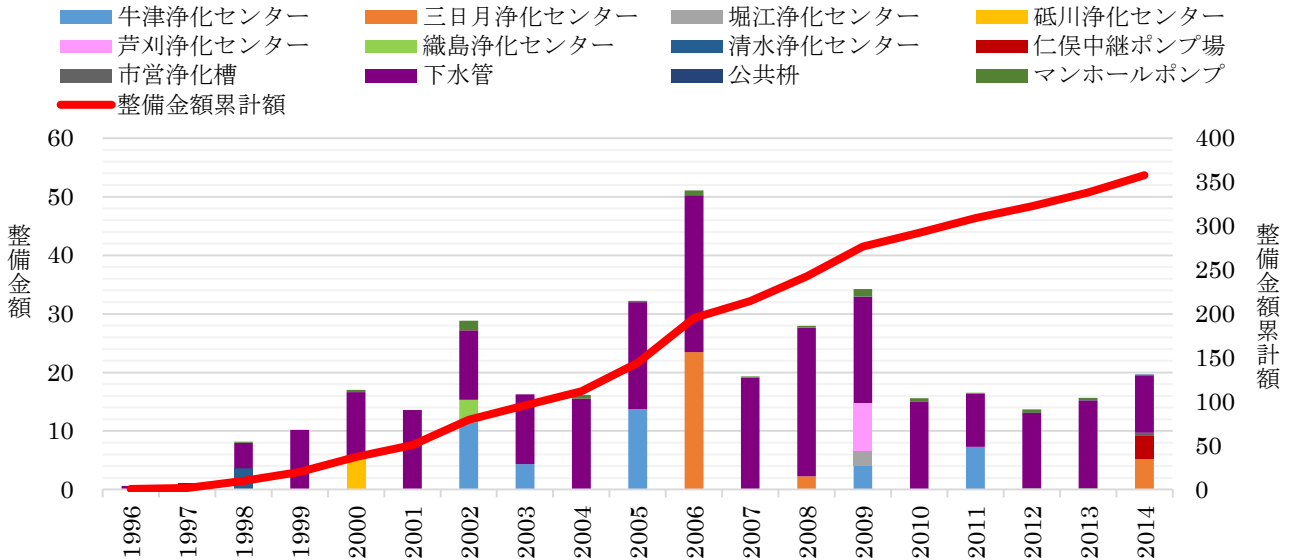
【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

(9) 下水処理施設

下水処理施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

平成8年度(1996年度)から整備が始まり、三日月浄化センターが完成した平成18年度(2006年度)が最も高くなっています。現在も継続的に整備しています。

図表 下水処理施設の年度別整備金額(単位:億円)



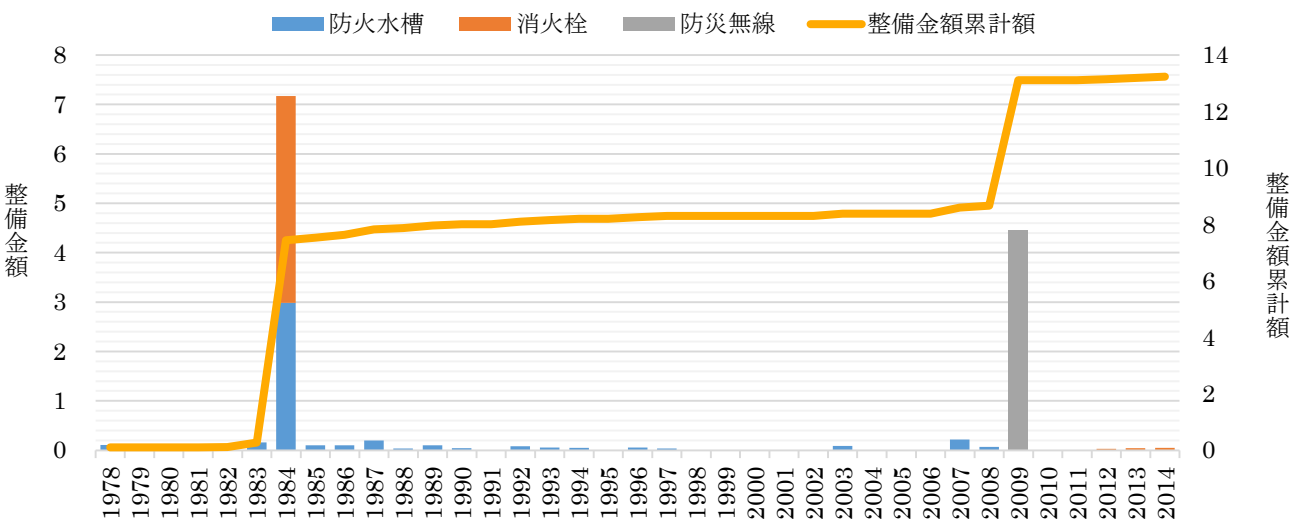
【出典】:「平成26年度固定資産台帳」

(10) 防災施設(建築物以外)

防災施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

台帳整備に伴う一括登録等により、昭和59年度(1984年度)の整備額が突出しています。

図表 防災施設の年度別整備金額(単位:億円)



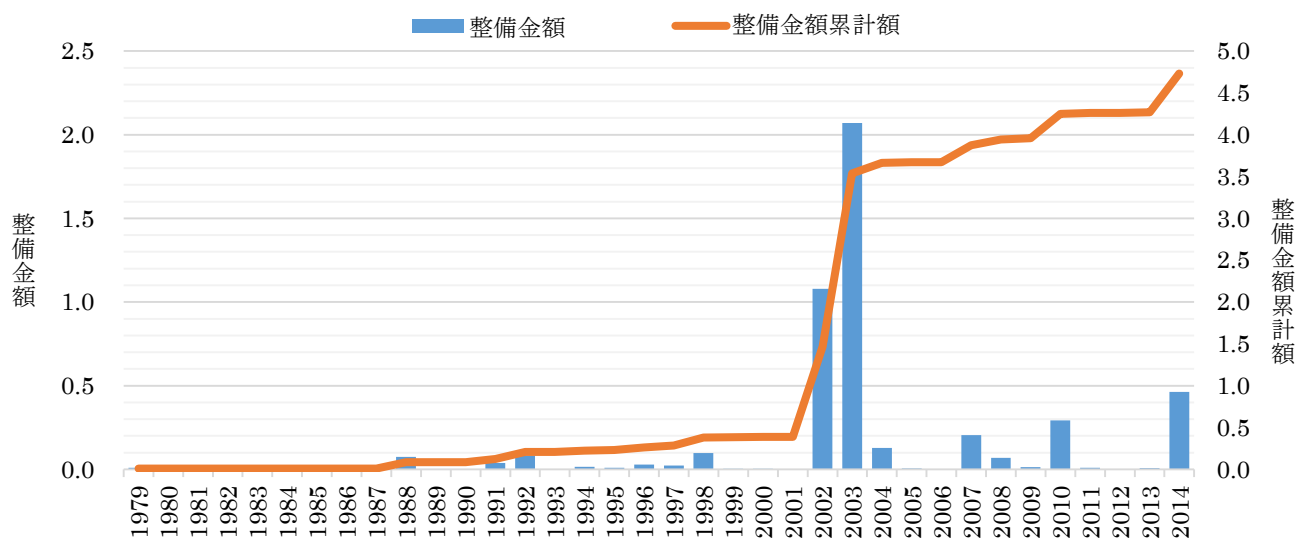
【出典】:「平成26年度固定資産台帳」

(11) その他公共施設

その他公共施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

小城町と芦刈町の光ファイバーケーブルが整備された平成 15 年度 (2003 年度) が最も高くなっています。

図表 その他公共施設の年度別整備金額 (単位: 億円)



【出典】: 「平成 26 年度固定資産台帳」



IV. 建築物の地域別現状と分析

1. 小城町

(1) 地域の概要・特性

小城町には、嘉瀬川以西では古墳時代最古の前方後円墳である茶笥塚古墳と、奈良時代の寺院跡の寺浦廃寺があります。鎌倉時代になると関東の武将・千葉常胤が源頼朝から晴気庄の地頭職を賜って以来、戦国時代まで千葉氏が小城町の千葉城を中心とした城下町をつくり繁栄しました。江戸時代になると小城鍋島藩の藩邸が置かれ、藩邸の周りには武家屋敷や町人の町がつけられ、明治維新まで続きました。

(2) 人口

5歳階級別では、平成21年度（2009年度）で男女共に55～59歳の人口が最も多く、5年後の平成26年度（2014年度）では男女共に60～64歳の人口が最も多くそのままスライドした状況です。

平成21年度（2009年度）から平成26年度（2014年度）の5年間で年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口が増加しています。

コーホート分析※では、5～9歳の年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

図表 5歳階級別男女別人口（単位：人）

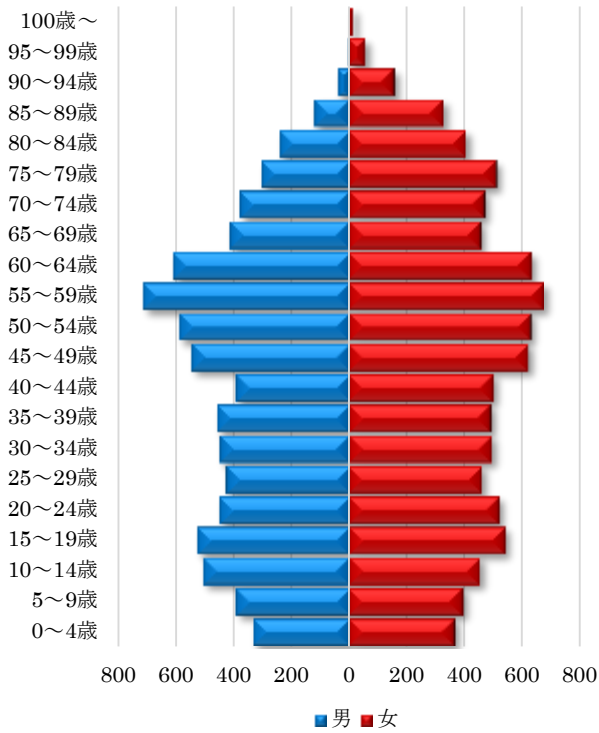
年齢層	平成21年度（平成22年3月末）			平成26年度（平成27年3月末）		
	男	女	総数	男	女	総数
0～4歳	337	365	702	291	305	596
5～9歳	395	394	789	347	373	720
10～14歳	509	453	962	392	385	777
15～19歳	529	539	1,068	449	415	864
20～24歳	452	518	970	405	461	866
25～29歳	429	459	888	372	399	771
30～34歳	451	494	945	406	420	826
35～39歳	461	490	951	457	450	907
40～44歳	396	499	895	460	478	938
45～49歳	549	620	1,169	382	483	865
50～54歳	592	627	1,219	504	599	1,103
55～59歳	716	673	1,389	573	605	1,178
60～64歳	612	630	1,242	707	664	1,371
65～69歳	417	455	872	586	615	1,201
70～74歳	382	468	850	389	445	834
75～79歳	307	509	816	332	435	767
80～84歳	245	405	650	250	470	720
85～89歳	126	327	453	151	327	478
90～94歳	43	158	201	62	199	261
95～99歳	6	57	63	11	62	73
100歳～	3	17	20	1	17	18
総数	7,957	9,157	17,114	7,527	8,607	16,134

【出典】：「指定区別年齢別男女別人口調」（小城市）

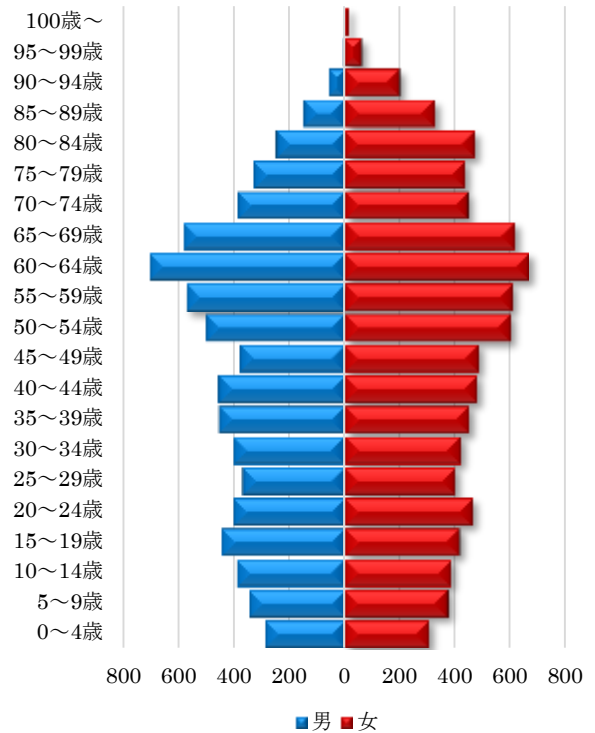
※コーホート分析：ある特定期間内に生まれた人の集団を指す統計上の概念をコーホートといい、それら特定の年齢階層の人口グループが次の時点でどのように変動したかを分析すること。

IV. 建築物の地域別現状と分析

図表 平成 22 年 3 月末 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



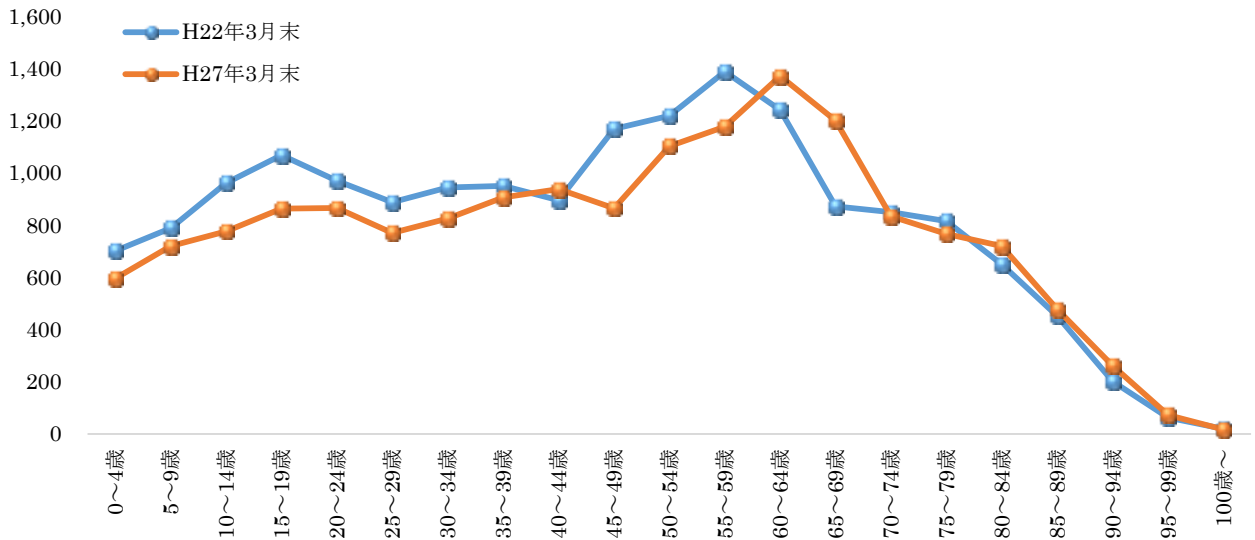
図表 平成 27 年 3 月末 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



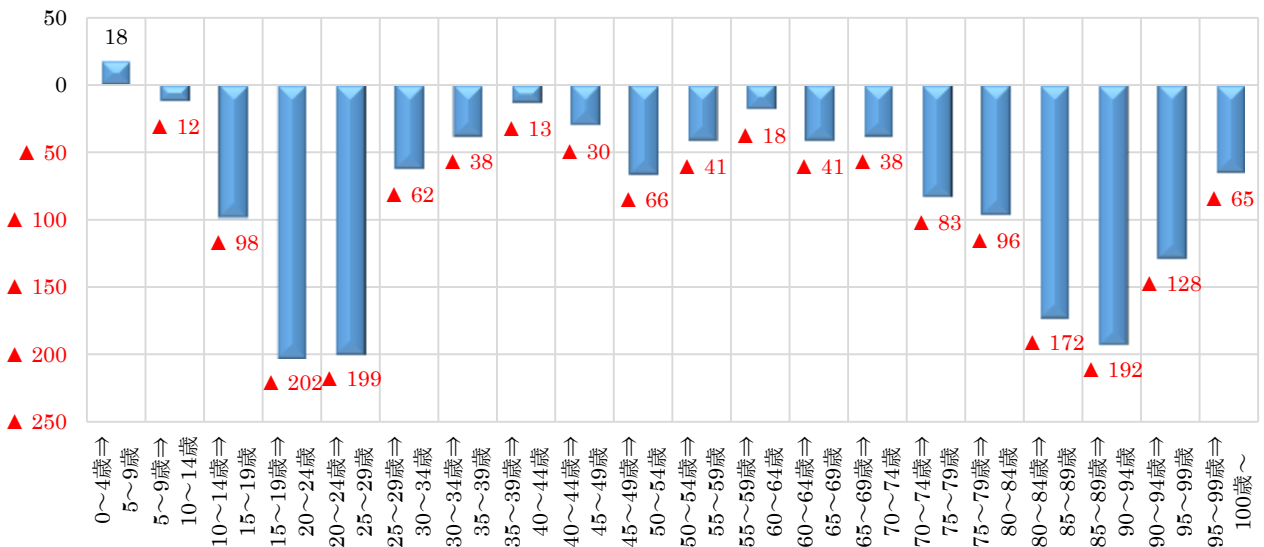
図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)

年齢層	平成 22 年 3 月末	平成 27 年 3 月末	コーホート 増減	3 階級 増減
0~4 歳	702	596		
5~9 歳	789	720	▲ 18	▲ 360
10~14 歳	962	777	▲ 12	
15~19 歳	1,068	864	▲ 98	▲ 1,047
20~24 歳	970	866	▲ 202	
25~29 歳	888	771	▲ 199	
30~34 歳	945	826	▲ 62	
35~39 歳	951	907	▲ 38	
40~44 歳	895	938	▲ 13	
45~49 歳	1,169	865	▲ 30	
50~54 歳	1,219	1,103	▲ 66	427
55~59 歳	1,389	1,178	▲ 41	
60~64 歳	1,242	1,371	▲ 18	
65~69 歳	872	1,201	▲ 41	
70~74 歳	850	834	▲ 38	
75~79 歳	816	767	▲ 83	
80~84 歳	650	720	▲ 96	
85~89 歳	453	478	▲ 172	▲ 980
90~94 歳	201	261	▲ 192	
95~99 歳	63	73	▲ 128	
100 歳~	20	18	▲ 65	
総数	17,114	16,134	-	

図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



(3) 施設の状況

① 公共施設の配置

小城町の公共施設の配置は、以下のとおりです。

図表 公共施設の配置表

大分類	中分類	施設名
文化施設	文化施設	小城市小城文化センター
社会教育施設	公民館等	小城市小城公民館 小城市小城公民館岩松支館 小城市小城公民館三里支館 小城市小城公民館晴田支館 小城市小城公民館桜岡支館
	図書館	小城市民図書館小城館
	その他社会教育施設	小城市教育集会所 小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	小城市小城体育センター
	レクリエーション施設	八丁グリーンカルチャーセンター 川内野外学習センター
産業施設	産業施設	—
学校教育施設	小学校	小城市立岩松小学校 小城市立桜岡小学校 小城市立三里小学校 小城市立晴田小学校
	中学校	小城市立小城中学校
	その他教育施設	小城市学校給食センター
子育て支援施設	保育所	小城市立岩松保育園 小城市立三里保育園 小城市立小城保育園
	幼稚園	小城市立晴田幼稚園
	学童保育・児童センター	桜岡第1、第2放課後児童クラブ
保健福祉施設	保健福祉施設	小城市授産場 小城市小城保健福祉センター（桜楽館）
行政施設	庁舎等	—
	防災施設	消防格納庫小城第1分団第1部 消防格納庫小城第1分団第2部 消防格納庫小城第1分団第3部 消防格納庫小城第1分団第4部 消防格納庫小城第2分団第1部 消防格納庫小城第2分団第2部 消防格納庫小城第2分団第3部 消防格納庫小城第2分団第4部 消防格納庫小城第2分団石体班 消防格納庫小城第2分団江里山班 消防格納庫小城第3分団第1部 消防格納庫小城第3分団第2部 消防格納庫小城第3分団第3部 消防格納庫小城第3分団第4部 消防格納庫小城第3分団川内桑鶴班 消防格納庫小城第4分団第1部 消防格納庫小城第4分団第2部 消防格納庫小城第4分団第3部 消防格納庫小城第4分団第4部 出分水防倉庫 砂田水防倉庫 上右原水防倉庫

大分類	中分類	施設名
公営住宅等	公営住宅等	市営下畑田団地 西新町団地
市民病院	市民病院	小城市市民病院
その他	その他施設	旧小城庁舎北別館 旧小城庁舎西車庫※ 旧小城土木事務所跡地倉庫 勤労者福祉会館※ ほたるの郷 清水倉庫

※平成 27 年度中に解体済となっています。(施設データ基準日が、平成 27 年 3 月 31 日のため表記しています。)

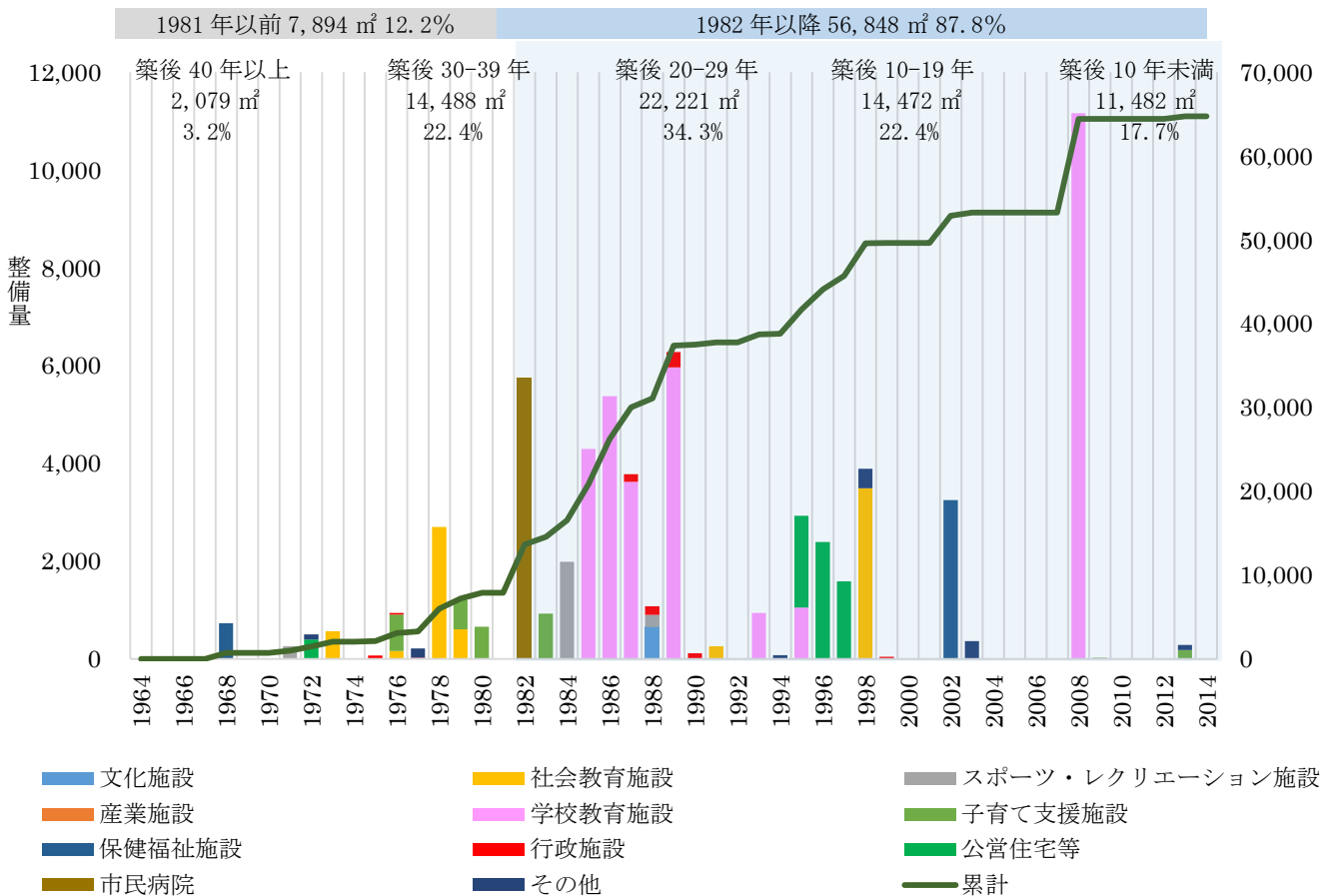
②築年別の施設状況

公共施設の総面積は、約 64,742 m²と市全体の約 39.6%を占めています。また、施設数は 56 施設となっています。

旧耐震基準以前に建築された施設は約 12.2%となっていますが、築後 20 年以上の施設は約 59.9%となっています。

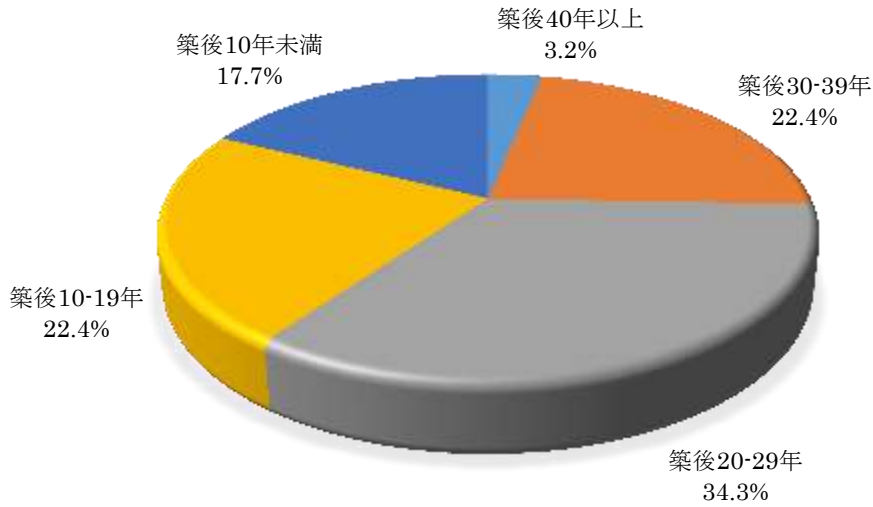
地域住民 1 人当たりの公共施設面積は約 4.0 m²となっています。

図表 公共施設の整備状況 (単位：m²)



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

図表 建築後年数による割合



図表 分類別施設整備割合

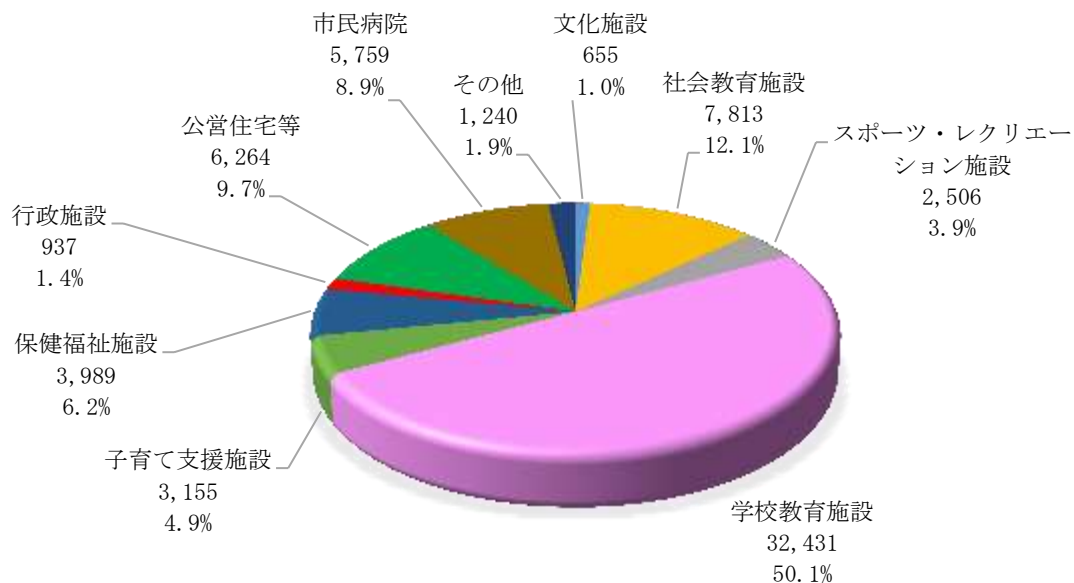
2014年度までに整備された公共施設の総面積		64,742 (㎡)	項目	総面積	割合
新耐震基準前の建設年の施設 (1981年度以前の建築)	延床面積	7,894 (㎡)	築後40年以上	2,079	3.2%
	割合	12.2 (%)	築後30-39年	14,488	22.4%
建設から20年以上の施設 (1994年度以前の建築)	延床面積	38,788 (㎡)	築後20-29年	22,221	34.3%
	割合	59.9 (%)	築後10-19年	14,472	22.4%
地域人口		16,134 (人)	築後10年未満	11,482	17.7%
人口1人当たりの公共施設の床面積		4.0 (㎡/人)	合計	64,742	100.0%

※面積は項目毎に小数点以下第1位を四捨五入した数値であり、合計が内訳端数の関係で合わない部分もある。
 ※割合は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入した数値であり、合計が100%にはならない部分もある。

③施設用途割合

学校教育施設が約50.1%と最も大きく、以下、社会教育施設が約12.1%、公営住宅等が約9.7%、市民病院が約8.9%と続いています。他地区と比べ社会教育施設の延床面積が多いことが特徴となっています。

図表 施設用途別割合 (単位: ㎡)



2. 三日月町

(1) 地域の概要・特性

三日月町には、弥生時代の土生遺跡（国史跡）があります。土生遺跡からは朝鮮半島との交流を物語る土器などが大量に出土しています。稲作農耕の遺構や農具、各種の生活用具も発掘され、最も早い時期に稲づくりをはじめとし、農耕集落の形成が行われていたことがわかります。平野部には、古代の条里制の名残である碁盤目のように整然と区画された景観や地名が見られます。江戸時代には小城藩の米どころとして栄えました。

(2) 人口

5歳階級別では、平成21年度（2009年度）で男女共に35～39歳の人口が最も多く、5年後の平成26年度（2014年度）では男女共に40～44歳の人口が最も多くそのままスライドした状況です。

平成21年度（2009年度）から平成26年度（2014年度）の5年間で年少人口が減少し、生産年齢人口と老年人口が増加しています。

コーホート分析※では、5～14歳の各年齢層、25～59歳の各年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

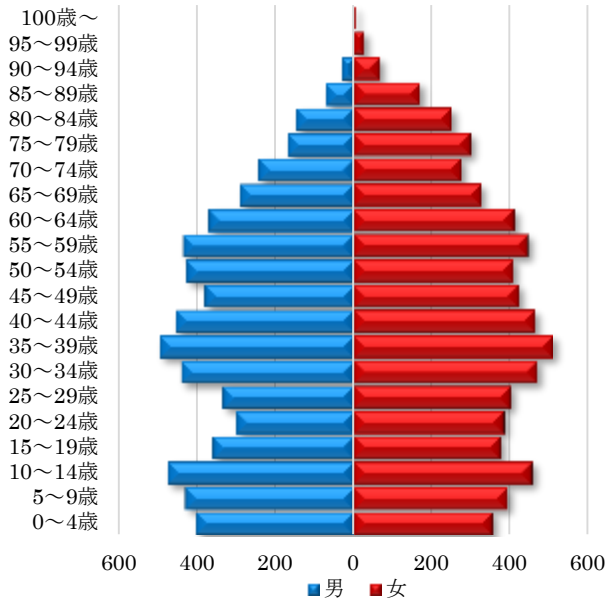
図表 5歳階級別男女別人口（単位：人）

年齢層	平成21年度（平成22年3月末）			平成26年度（平成27年3月末）		
	男	女	総数	男	女	総数
0～4歳	405	355	760	388	422	810
5～9歳	432	393	825	413	378	791
10～14歳	477	456	933	447	411	858
15～19歳	362	375	737	454	437	891
20～24歳	302	384	686	302	348	650
25～29歳	336	401	737	340	386	726
30～34歳	442	469	911	414	478	892
35～39歳	497	509	1,006	483	521	1,004
40～44歳	457	463	920	513	528	1,041
45～49歳	382	422	804	469	465	934
50～54歳	429	408	837	395	418	813
55～59歳	437	445	882	425	415	840
60～64歳	372	411	783	435	443	878
65～69歳	292	325	617	359	403	762
70～74歳	245	275	520	275	332	607
75～79歳	171	299	470	222	262	484
80～84歳	149	251	400	132	275	407
85～89歳	74	170	244	93	205	298
90～94歳	31	67	98	31	116	147
95～99歳	3	28	31	8	28	36
100歳～	0	7	7	0	7	7
総数	6,295	6,913	13,208	6,598	7,278	13,876

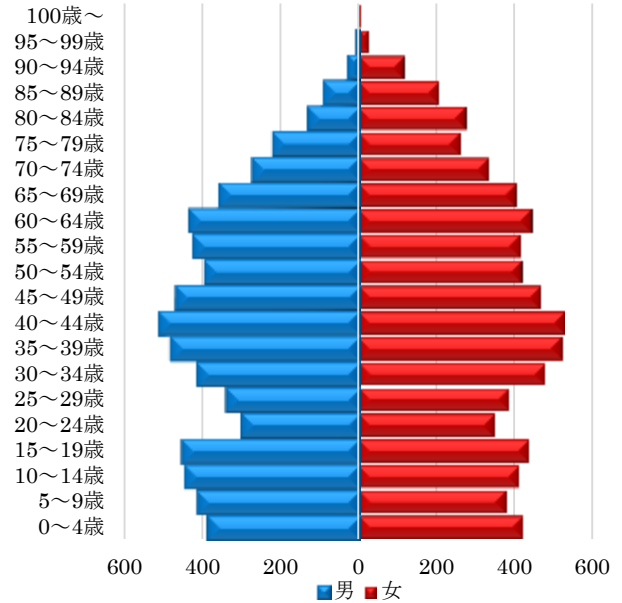
【出典】：「指定区別年齢別男女別人口調」（小城市）

※コーホート分析：ある特定期間内に生まれた人の集団を指す統計上の概念をコーホートといい、それら特定の年齢階層の人口グループが次の時点でどのように変動したかを分析すること。

図表 平成 22 年 3 月末 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



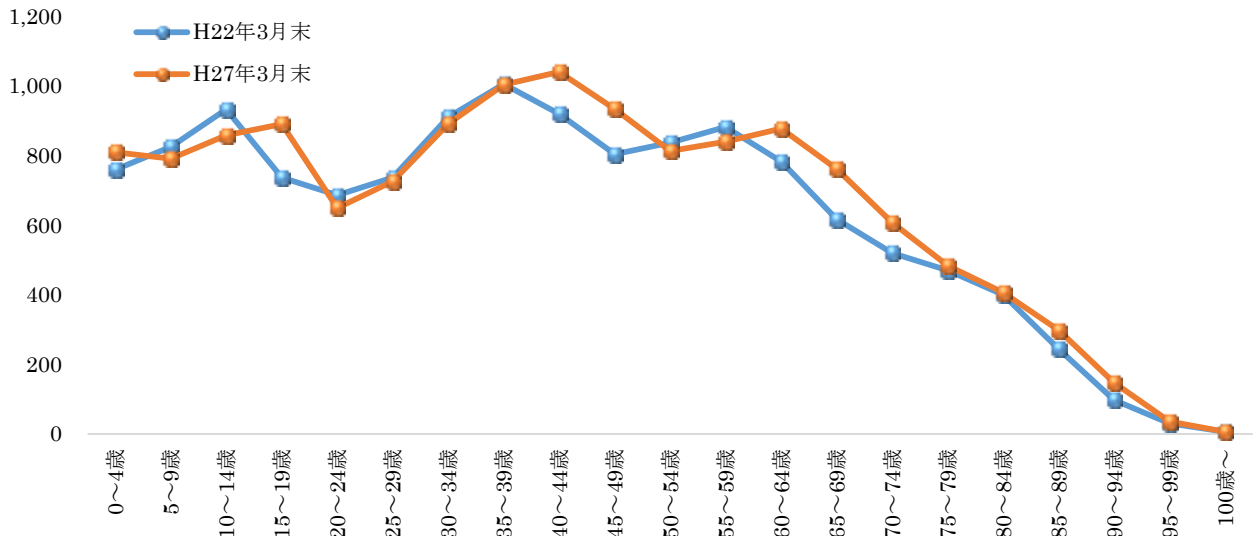
図表 平成 27 年 3 月末 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



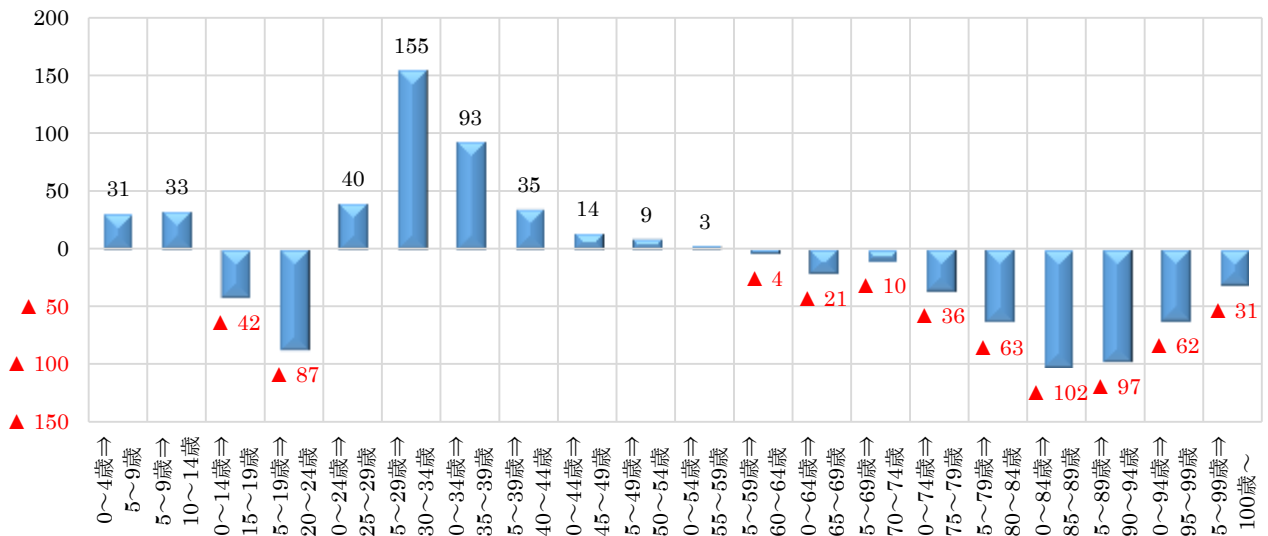
図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)

年齢層	平成 22 年 3 月末	平成 27 年 3 月末	コホート 増減	3 階級 増減
0～4 歳	760	810		
5～9 歳	825	791	31	▲ 59
10～14 歳	933	858	33	
15～19 歳	737	891	▲ 42	
20～24 歳	686	650	▲ 87	
25～29 歳	737	726	40	
30～34 歳	911	892	155	
35～39 歳	1,006	1,004	93	366
40～44 歳	920	1,041	35	
45～49 歳	804	934	14	
50～54 歳	837	813	9	
55～59 歳	882	840	3	
60～64 歳	783	878	▲ 4	
65～69 歳	617	762	▲ 21	
70～74 歳	520	607	▲ 10	
75～79 歳	470	484	▲ 36	
80～84 歳	400	407	▲ 63	
85～89 歳	244	298	▲ 102	361
90～94 歳	98	147	▲ 97	
95～99 歳	31	36	▲ 62	
100 歳～	7	7	▲ 31	
総数	13,208	13,876	-	668

図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



(3) 施設の状況

①公共施設の配置

三日月町の公共施設の配置は、以下のとおりです。

図表 公共施設の配置表

大分類	中分類	施設名
文化施設	文化施設	—
社会教育施設	公民館等	小城市生涯学習センター (ドゥイング三日月)
	図書館	小城市民図書館三日月館
	その他社会教育施設	—
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	小城市三日月体育館
	レクリエーション施設	三日月野外研修センター
産業施設	産業施設	—
学校教育施設	小学校	小城市立三日月小学校
	中学校	小城市立三日月中学校
	その他教育施設	—
子育て支援施設	保育所	—
	幼稚園	小城市立三日月幼稚園
	学童保育・児童センター	三日月第1放課後児童クラブ 三日月第2放課後児童クラブ 小城市児童センター(ゆうゆう三日月)
保健福祉施設	保健福祉施設	三日月生きがいデイサービスセンター (きらら) 小城市三日月保健福祉センター (ゆめりあ)
行政施設	庁舎等	小城市役所(東・西館) 小城市役所別館
	防災施設	消防格納庫三日月第1分団第1部 消防格納庫三日月第1分団第2部 消防格納庫三日月第1分団第3部 消防格納庫三日月第2分団第1部 消防格納庫三日月第2分団第2部 消防格納庫三日月第2分団第3部 消防格納庫三日月第3分団第1部 消防格納庫三日月第3分団第2部 消防格納庫三日月第3分団第3部 消防格納庫三日月第3分団第4部 芦田水防倉庫
公営住宅等	公営住宅等	—
市民病院	市民病院	—
その他	その他施設	小城駅 織島倉庫 プレハブ倉庫

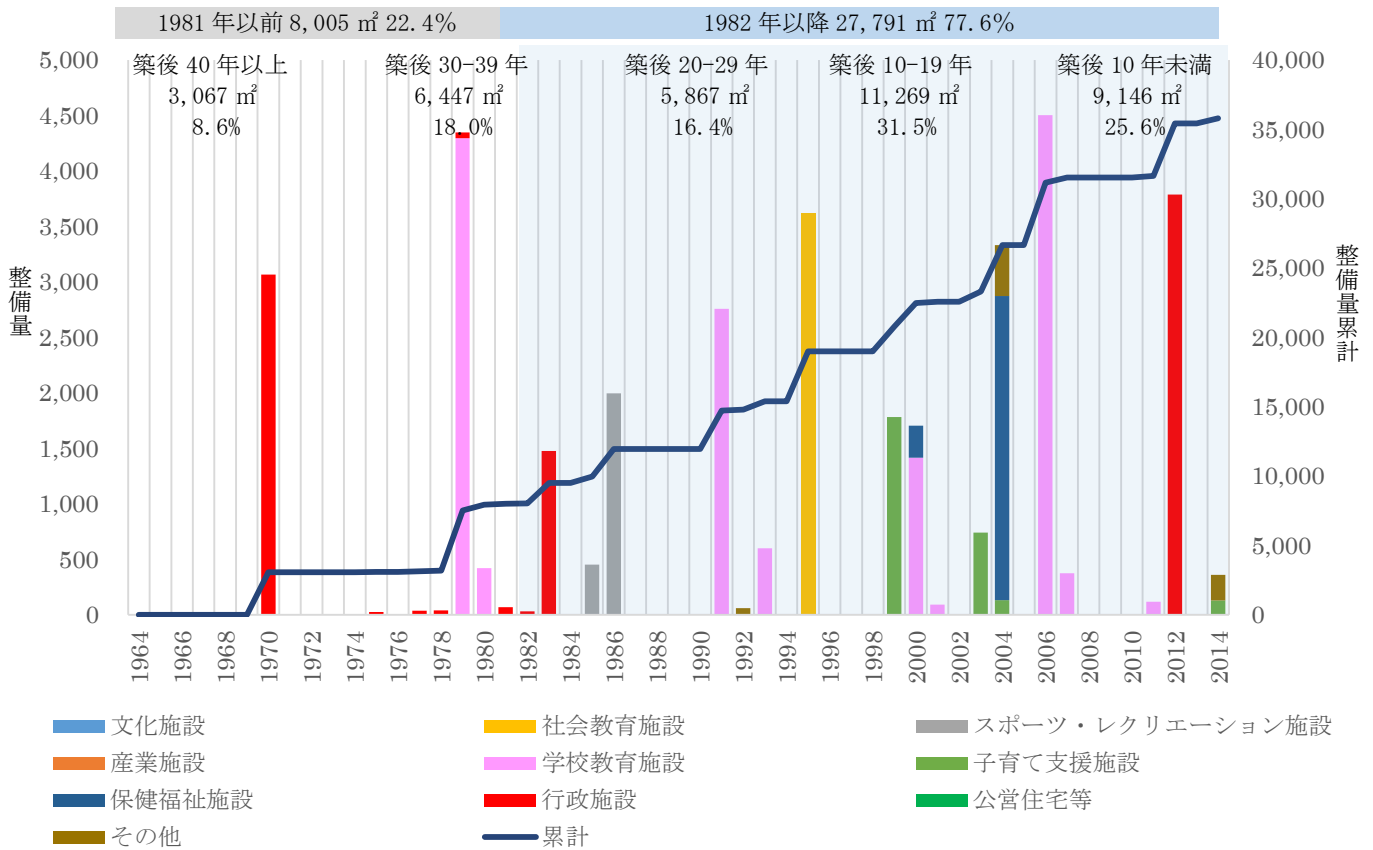
②築年別の施設状況

公共施設の総面積は、約 35,796 m²と市全体の約 21.9%を占めています。また、施設数は 28 施設となっています。

旧耐震基準以前に建築された施設は約 22.4%となっていますが、築後 20 年以上の施設は約 43.0%となっています。

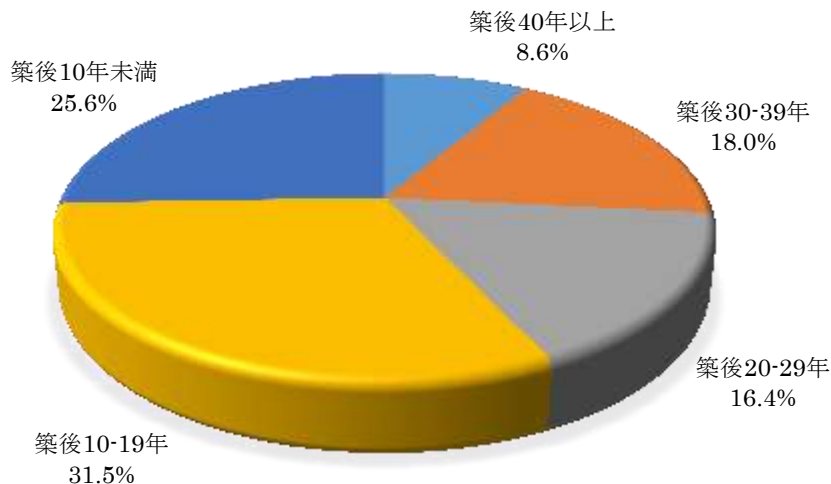
地域住民 1 人当たりの公共施設面積は約 2.6 m²となっています。

図表 公共施設の整備状況 (単位：m²)



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

図表 建築後年数による割合



図表 分類別施設整備割合

2014年度までに整備された公共施設の総面積		35,796 (㎡)
新耐震基準前の建設年の施設 (1981年度以前の建築)	延床面積	8,005 (㎡)
	割合	22.4 (%)
建設から20年以上の施設 (1995年度以前の建築)	延床面積	15,381 (㎡)
	割合	43.0 (%)
地域人口		13,876 (人)
人口1人当たりの公共施設の床面積		2.6 (㎡/人)

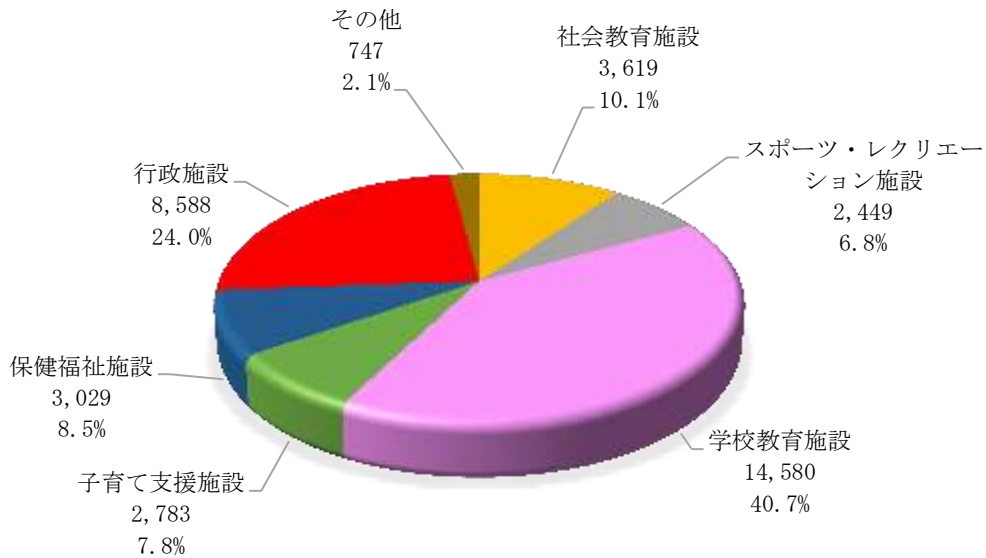
項目	総面積	割合
築後40年以上	3,067	8.6%
築後30-39年	6,447	18.0%
築後20-29年	5,867	16.4%
築後10-19年	11,269	31.5%
築後10年未満	9,146	25.6%
合計	35,796	100.0%

※面積は項目毎に小数点以下第1位を四捨五入した数値であり、合計が内訳端数の関係で合わない部分もある。
 ※割合は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入した数値であり、合計が100%にはならない部分もある。

③施設用途割合

学校教育施設が約40.7%と最も大きく、以下、行政施設が約24.0%、社会教育施設が約10.1%、保健福祉施設が約8.5%と続いています。小城市役所の所在地区のため、他地区と比べ行政施設の延床面積が多いことが特徴となっています。

図表 施設用途別割合 (単位: ㎡)



3. 牛津町

(1) 地域の概要・特性

牛津町は、江戸時代から長崎街道の宿場町として、また牛津川の港町として栄え、「西の浪花」と呼ばれるほど商業が発展しました。一方、砥川地区には古くから石工集団が住み、北部九州一体で活動し、優美な石仏など数多くの石造物を残しました。

(2) 人口

5歳階級別では、平成21年度（2009年度）で男女共に55～59歳の人口が最も多く、5年後の平成26年度（2014年度）では男女共に60～64歳の人口が最も多くそのままスライドした状況です。

平成21年度（2009年度）から平成26年度（2014年度）の5年間で年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口が増加しています。

コーホート分析※では、10～14歳の年齢層、40～49歳の各年齢層、60～64歳の年齢層が増加、5～9歳の年齢層、50～54歳の年齢層が増減なし、他の年齢層は減少しています。

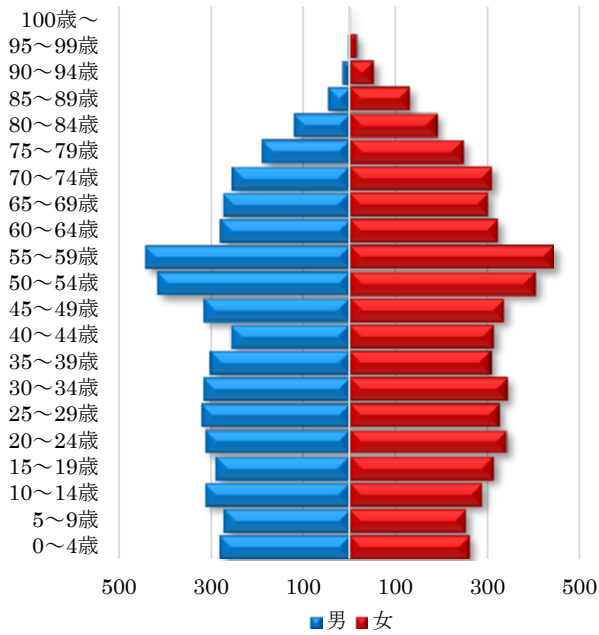
図表 5歳階級別男女別人口（単位：人）

年齢層	平成21年度（平成22年3月末）			平成26年度（平成27年3月末）		
	男	女	総数	男	女	総数
0～4歳	244	261	505	237	232	469
5～9歳	250	228	478	246	259	505
10～14歳	282	252	534	254	245	499
15～19歳	290	268	558	274	249	523
20～24歳	254	303	557	235	241	476
25～29歳	297	325	622	267	289	556
30～34歳	300	292	592	300	302	602
35～39歳	275	309	584	287	299	586
40～44歳	297	304	601	290	314	604
45～49歳	254	297	551	308	304	612
50～54歳	330	362	692	253	298	551
55～59歳	430	398	828	325	361	686
60～64歳	402	384	786	427	403	830
65～69歳	282	349	631	371	369	740
70～74歳	262	278	540	265	341	606
75～79歳	214	301	515	238	258	496
80～84歳	139	213	352	160	271	431
85～89歳	73	152	225	81	175	256
90～94歳	20	61	81	37	96	133
95～99歳	6	23	29	5	19	24
100歳～	1	4	5	0	8	8
総数	4,902	5,364	10,266	4,860	5,333	10,193

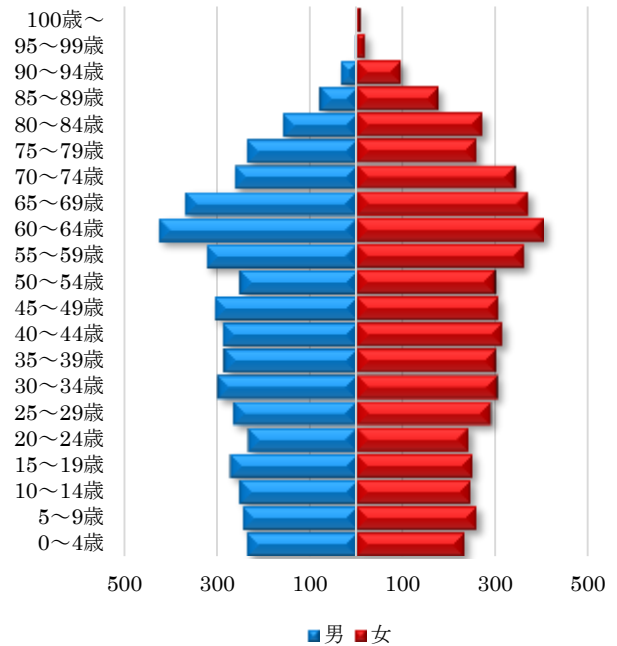
【出典】：「指定区別年齢別男女別人口調」（小城市）

※コーホート分析：ある特定期間内に生まれた人の集団を指す統計上の概念をコーホートといい、それら特定の年齢階層の人口グループが次の時点でどのように変動したかを分析すること。

図表 平成 22 年 3 月末 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



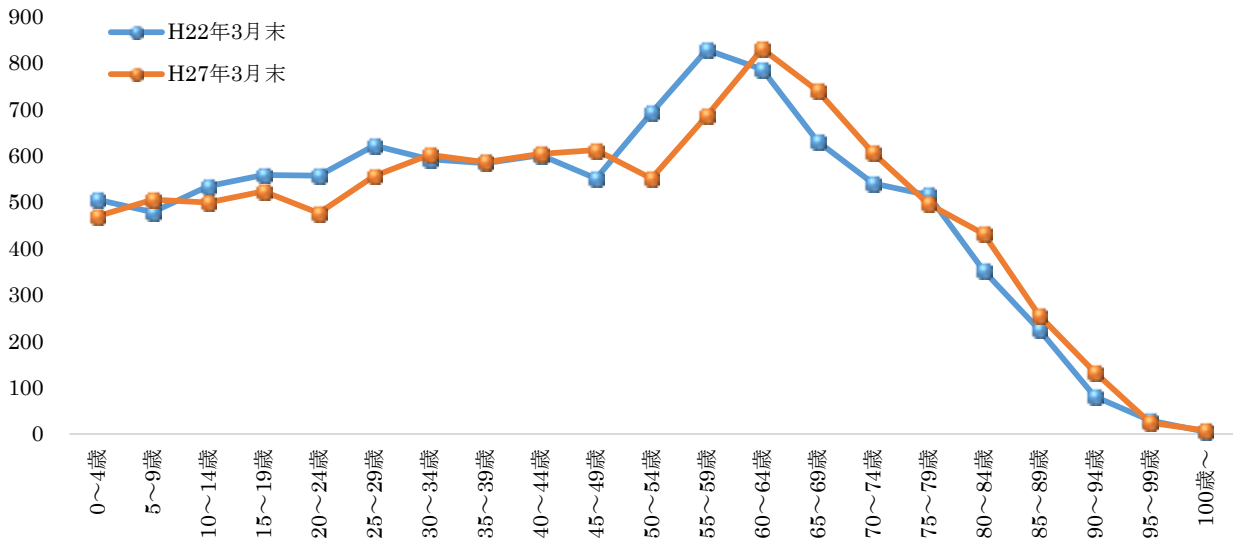
図表 平成 27 年 3 月末 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



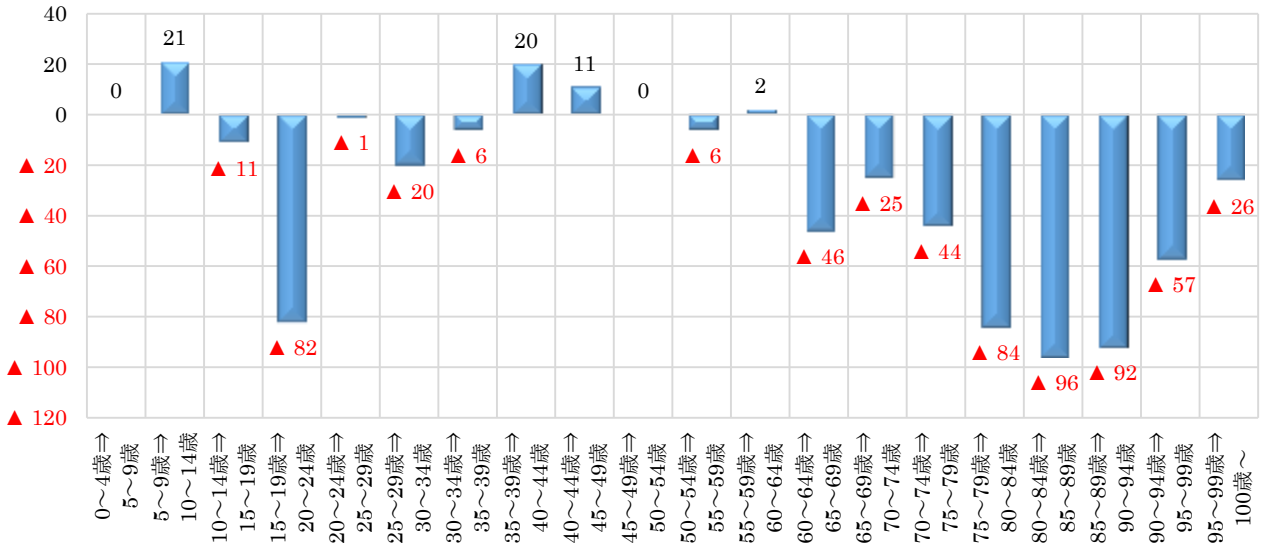
図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)

年齢層	H22 年 3 月末	H27 年 3 月末	コホート 増減	3 階級 増減
0～4 歳	505	469		
5～9 歳	478	505	0	▲ 44
10～14 歳	534	499	21	
15～19 歳	558	523	▲ 11	
20～24 歳	557	476	▲ 82	
25～29 歳	622	556	▲ 1	
30～34 歳	592	602	▲ 20	
35～39 歳	584	586	▲ 6	
40～44 歳	601	604	20	▲ 345
45～49 歳	551	612	11	
50～54 歳	692	551	0	
55～59 歳	828	686	▲ 6	
60～64 歳	786	830	2	
65～69 歳	631	740	▲ 46	
70～74 歳	540	606	▲ 25	
75～79 歳	515	496	▲ 44	
80～84 歳	352	431	▲ 84	
85～89 歳	225	256	▲ 96	
90～94 歳	81	133	▲ 92	
95～99 歳	29	24	▲ 57	
100 歳～	5	8	▲ 26	
総数	10,266	10,193	-	▲ 73

図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



(3) 施設の状況

①公共施設の配置

牛津町の公共施設の配置は、以下のとおりです。

図表 公共施設の配置表

大分類	中分類	施設名
文化施設	文化施設	小城市牛津赤れんが館トイレ※ ¹
社会教育施設	公民館等	小城市牛津公民館 小城市牛津公民館別館（旧牛津公民館）
	図書館	小城市民図書館牛津分館
	その他社会教育施設	—
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	小城市牛津体育センター 小城市牛津武道館
	レクリエーション施設	—
産業施設	産業施設	小城市牛津産業展示館
学校教育施設	小学校	小城市立牛津小学校 小城市立砥川小学校
	中学校	小城市立牛津中学校
	その他教育施設	—
子育て支援施設	保育所	小城市立砥川保育園
	幼稚園	—
	学童保育・児童センター	牛津第1、第2放課後児童クラブ
保健福祉施設	保健福祉施設	小城市牛津保健福祉センター(アイル)
行政施設	庁舎等	—
	防災施設	消防格納庫牛津第1分団第1部 消防格納庫牛津第1分団第2部 消防格納庫牛津第1分団第3部 消防格納庫牛津第1分団第4部 消防格納庫牛津第2分団第1部 消防格納庫牛津第2分団第2部 消防格納庫牛津第2分団第3部 上砥川水防倉庫
公営住宅等	公営住宅等	柿樋瀬団地 牛津駅南住宅 天満町住宅 友田団地
市民病院	市民病院	—
その他	その他施設	小城市廃棄物中継センター 旧牛津庁舎周辺倉庫 旧牛津庁舎周辺車庫 旧牛津庁舎周辺体育館北車庫 体育館北プレハブ倉庫 文化財倉庫①(名称は仮公民館で登録)※ ² 文化財倉庫②※ ² 文化財倉庫③(名称は倉庫で登録)※ ²

※¹小城市牛津会館・小城市赤れんが館は、文化財のため建築物と位置づけしていないので、表記していません。
 ※²平成27年度中に解体済となっています。(施設データ基準日が、平成27年3月31日のため表記していません。)

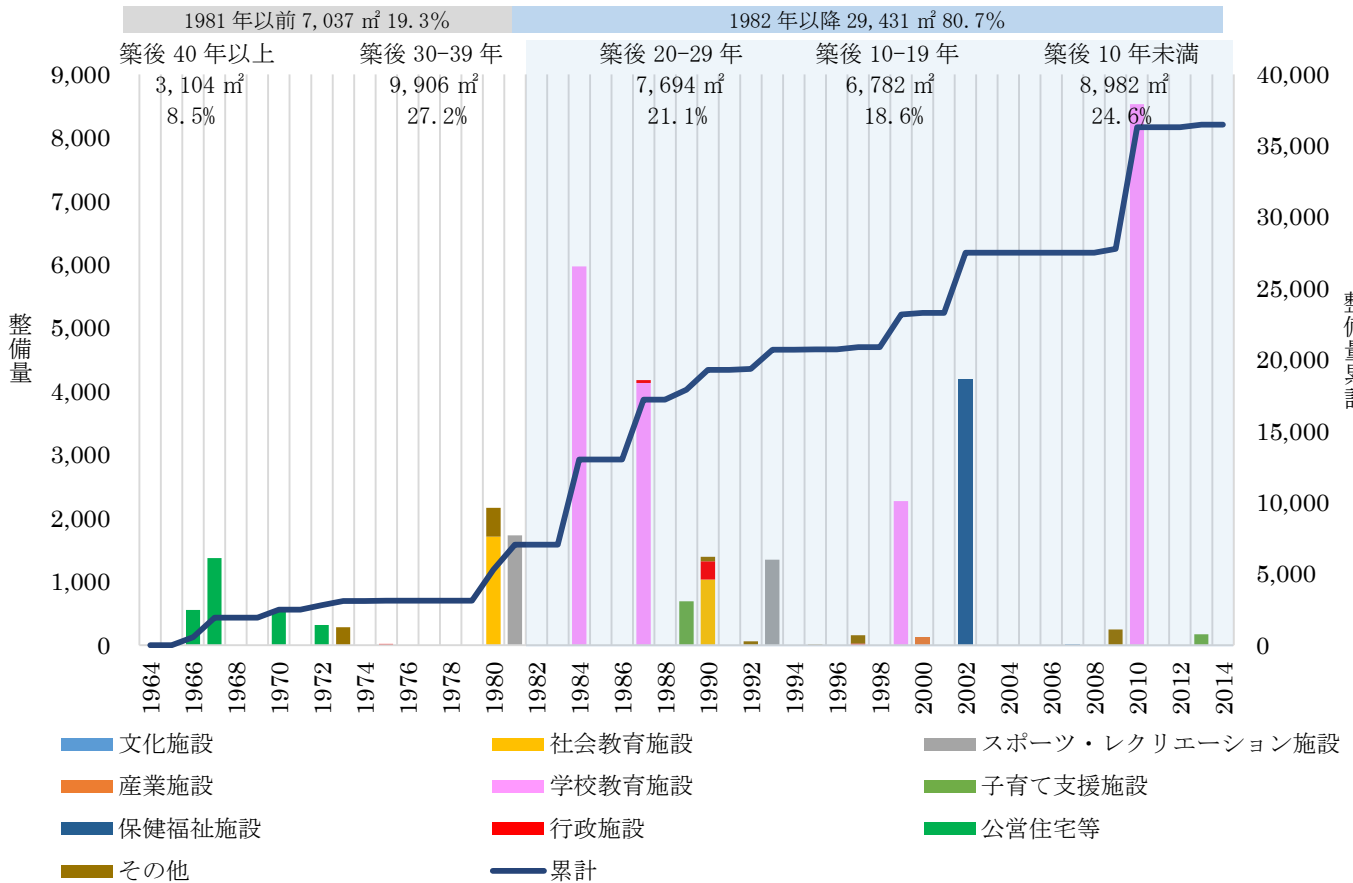
②築年別の施設状況

公共施設の総面積は、約 36,468 m²と市全体の約 22.3%を占めています。また、施設数は 33 施設となっています。

旧耐震基準以前に建築された施設は約 19.3%となっていますが、築後 20 年以上の施設は約 56.8%となっています。

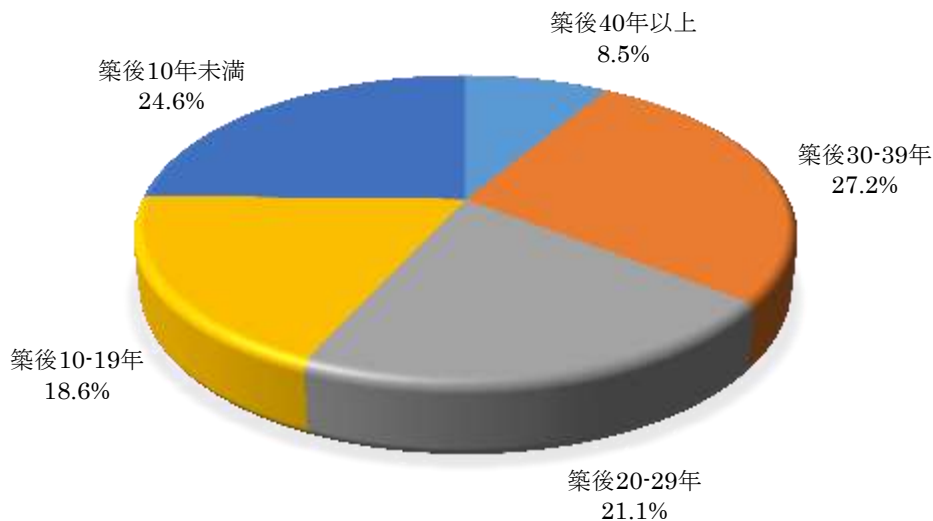
地域住民 1 人当たりの公共施設面積は約 3.6 m²となっています。

図表 公共施設の整備状況 (単位：m²)



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

図表 建築後年数による割合



図表 分類別施設整備割合

2014年度までに整備された公共施設の総面積		36,468 (㎡)
新耐震基準前の建設年の施設 (1981年度以前の建築)	延床面積	7,037 (㎡)
	割合	19.3 (%)
建設から20年以上の施設 (1995年度以前の建築)	延床面積	20,704 (㎡)
	割合	56.8 (%)
地域人口		10,193 (人)
人口1人当たりの公共施設の床面積		3.6 (㎡/人)

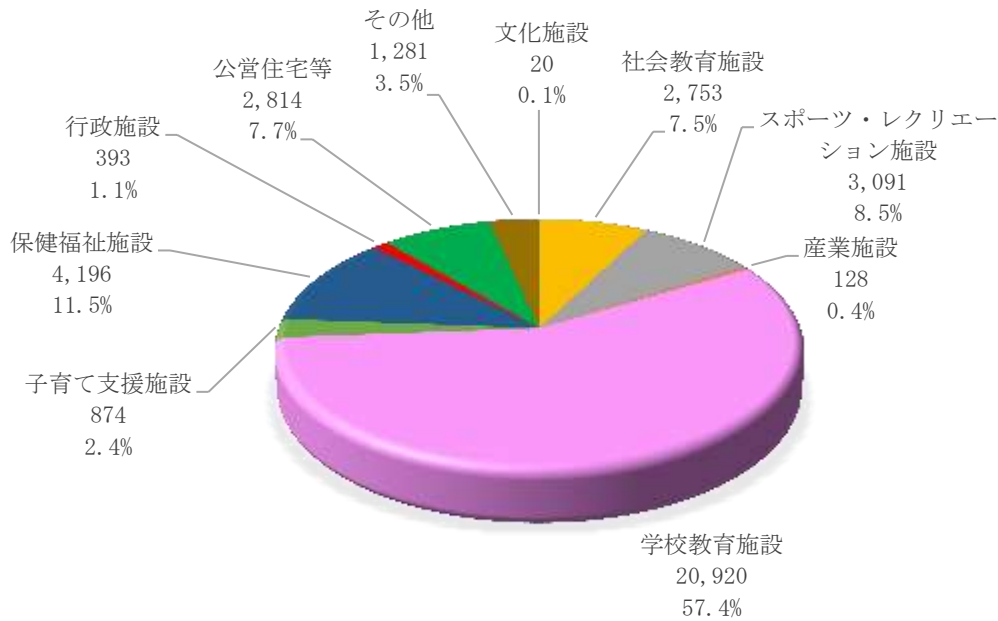
項目	総面積	割合
築後40年以上	3,104	8.5%
築後30-39年	9,906	27.2%
築後20-29年	7,694	21.1%
築後10-19年	6,782	18.6%
築後10年未満	8,982	24.6%
合計	36,468	100.0%

※面積は項目毎に小数点以下第1位を四捨五入した数値であり、合計が内訳端数の関係で合わない部分もある。
 ※割合は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入した数値であり、合計が100%にはならない部分もある。

③施設用途割合

学校教育施設が約57.4%と最も大きく、以下、保健福祉施設が約11.5%、スポーツ・レクリエーション施設が約8.5%、公営住宅等が約7.7%と続いています。他地区と比べ公営住宅と保健福祉施設の延床面積が多いことが特徴となっています。

図表 施設用途別割合 (単位: ㎡)



4. 芦刈町

(1) 地域の概要・特性

芦刈町は、鎌倉時代の終わりから干拓が始まり、戦国時代には徳島氏、鴨打氏などの武将が本拠を置き、農漁業のまちとして栄えました。最近では有明海沿岸をムツゴロウやシオマネキの保護区に指定するなど、農漁業を中心としたまちづくりが行われてきました。

(2) 人口

5歳階級別では、平成21年度（2009年度）で男性は55～59歳、女性は60～64歳の人口が最も多くなっています。5年後の平成26年度（2014年度）では男性は60～64歳、女性は65～69歳の人口が最も多くそのままスライドした状況です。

平成21年度（2009年度）から平成26年度（2014年度）の5年間で年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口が増加しています。

コーホート分析※では、55～59歳の年齢層が増加、他の年齢層は減少しています。

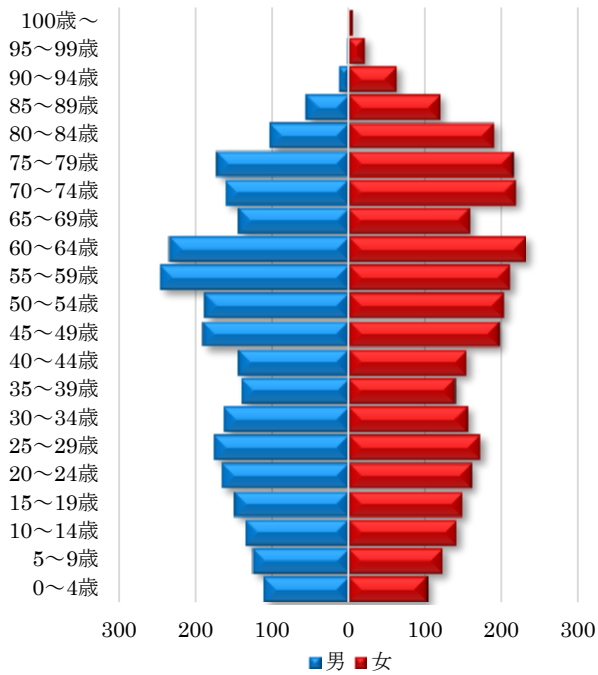
図表 5歳階級別男女別人口（単位：人）

年齢層	平成21年度（平成22年3月末）			平成26年度（平成27年3月末）		
	男	女	総数	男	女	総数
0～4歳	112	103	215	95	109	204
5～9歳	126	123	249	108	103	211
10～14歳	136	141	277	121	115	236
15～19歳	150	149	299	128	136	264
20～24歳	167	160	327	127	127	254
25～29歳	177	172	349	155	135	290
30～34歳	164	155	319	163	156	319
35～39歳	141	139	280	152	143	295
40～44歳	145	154	299	135	137	272
45～49歳	191	196	387	141	151	292
50～54歳	189	203	392	188	193	381
55～59歳	247	211	458	196	202	398
60～64歳	235	231	466	235	208	443
65～69歳	145	158	303	222	228	450
70～74歳	162	218	380	133	152	285
75～79歳	173	214	387	137	206	343
80～84歳	104	190	294	128	192	320
85～89歳	57	119	176	59	158	217
90～94歳	14	63	77	28	74	102
95～99歳	3	21	24	4	29	33
100歳～	0	5	5	0	4	4
総数	2838	3,125	5,963	2,655	2,958	5,613

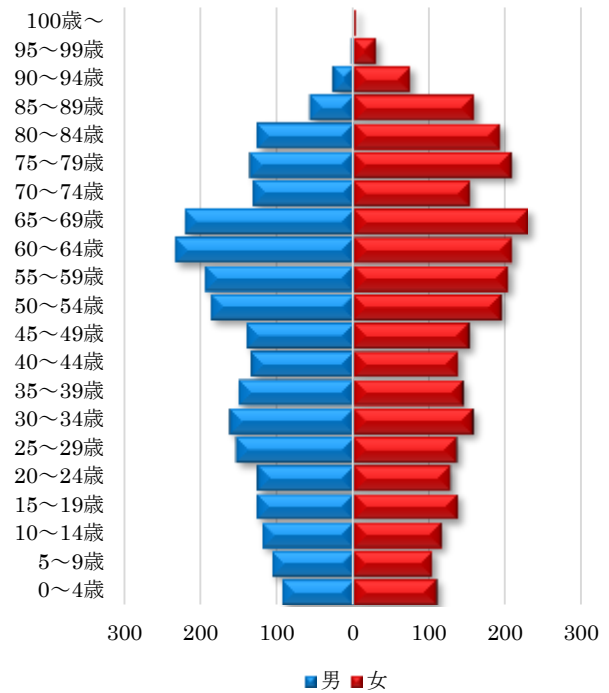
【出典】：「指定区別年齢別男女別人口調」（小城市）

※コーホート分析：ある特定期間内に生まれた人の集団を指す統計上の概念をコーホートといい、それら特定の年齢階層の人口グループが次の時点でどのように変動したかを分析すること。

図表 平成 22 年 3 月末 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



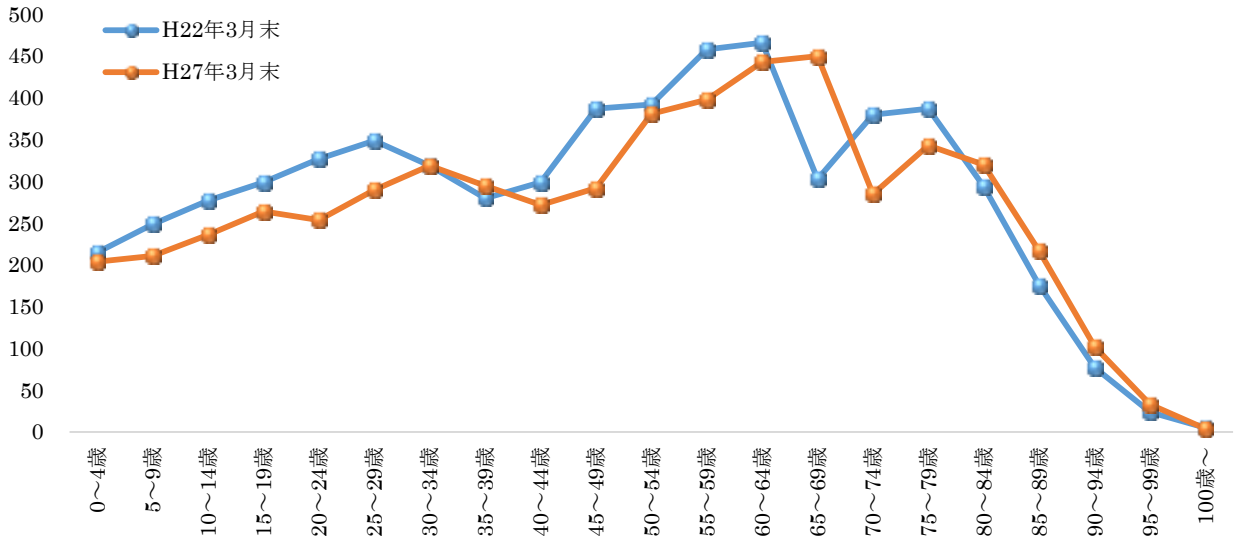
図表 平成 27 年 3 月末 5 歳階級別男女別人口 (単位: 人)



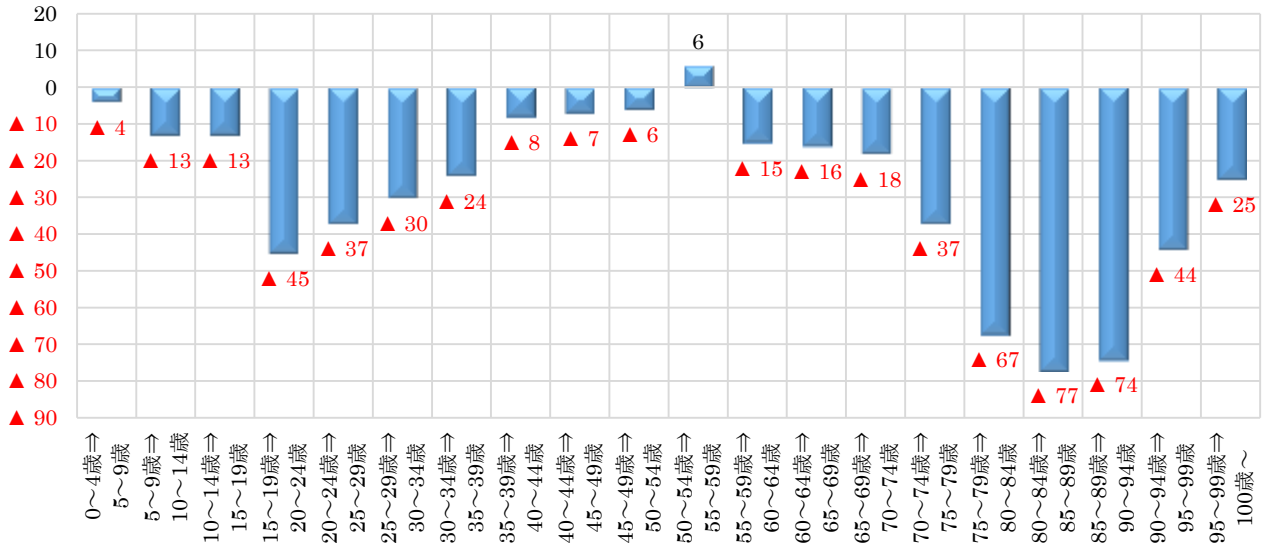
図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)

	平成 22 年 3 月末	平成 27 年 3 月末	コーホート 増減	3 階級 増減
0～4 歳	215	204		
5～9 歳	249	211	▲ 4	▲ 90
10～14 歳	277	236	▲ 13	
15～19 歳	299	264	▲ 13	
20～24 歳	327	254	▲ 45	
25～29 歳	349	290	▲ 37	
30～34 歳	319	319	▲ 30	
35～39 歳	280	295	▲ 24	▲ 368
40～44 歳	299	272	▲ 8	
45～49 歳	387	292	▲ 7	
50～54 歳	392	381	▲ 6	
55～59 歳	458	398	6	
60～64 歳	466	443	▲ 15	
65～69 歳	303	450	▲ 16	
70～74 歳	380	285	▲ 18	
75～79 歳	387	343	▲ 37	
80～84 歳	294	320	▲ 67	
85～89 歳	176	217	▲ 77	108
90～94 歳	77	102	▲ 74	
95～99 歳	24	33	▲ 44	
100 歳～	5	4	▲ 25	
総数	5,963	5,613	-	▲ 350

図表 5 歳階級別人口推移 (単位: 人)



図表 5 歳階級別人口動態 (単位: 人)



(3) 施設の状況

①公共施設の配置

芦刈町の公共施設の配置は、以下のとおりです。

図表 公共施設の配置表

大分類	中分類	施設名
文化施設	文化施設	—
社会教育施設	公民館等	小城市芦刈地域交流センター
	図書館	小城市民図書館芦刈分館
	その他社会教育施設	—
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ施設	小城市芦刈文化体育館
	レクリエーション施設	—
産業施設	産業施設	—
学校教育施設	小学校	小城市立芦刈観瀾校※ ¹
	中学校	
	その他教育施設	小城市芦刈給食センター
子育て支援施設	保育所	—
	幼稚園	小城市立芦刈幼稚園
	学童保育・児童センター	—
保健福祉施設	保健福祉施設	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)
行政施設	庁舎等	—
	防災施設	消防格納庫芦刈第1分団第1部 消防格納庫芦刈第1分団第2部 消防格納庫芦刈第1分団第3部 消防格納庫芦刈第2分団第1部 消防格納庫芦刈第2分団第2部 消防格納庫芦刈第2分団第3部 消防格納庫芦刈第3分団第1部 消防格納庫芦刈第3分団第2部 消防格納庫芦刈第3分団第3部 旧三条排水機場(水防倉庫)
公営住宅等	公営住宅等	—
市民病院	市民病院	—
その他	その他施設	旧芦刈庁舎※ ² 旧芦刈庁舎倉庫※ ² 旧芦刈庁舎車庫※ ² 旧芦刈庁舎自転車置場 旧三条排水施設管理舎 旧芦刈町公民館

※¹「小城市立芦刈観瀾校」は、小中一貫校です。

※²平成27年度中に解体済となっています。(施設データ基準日が、平成27年3月31日のため表記しています。)

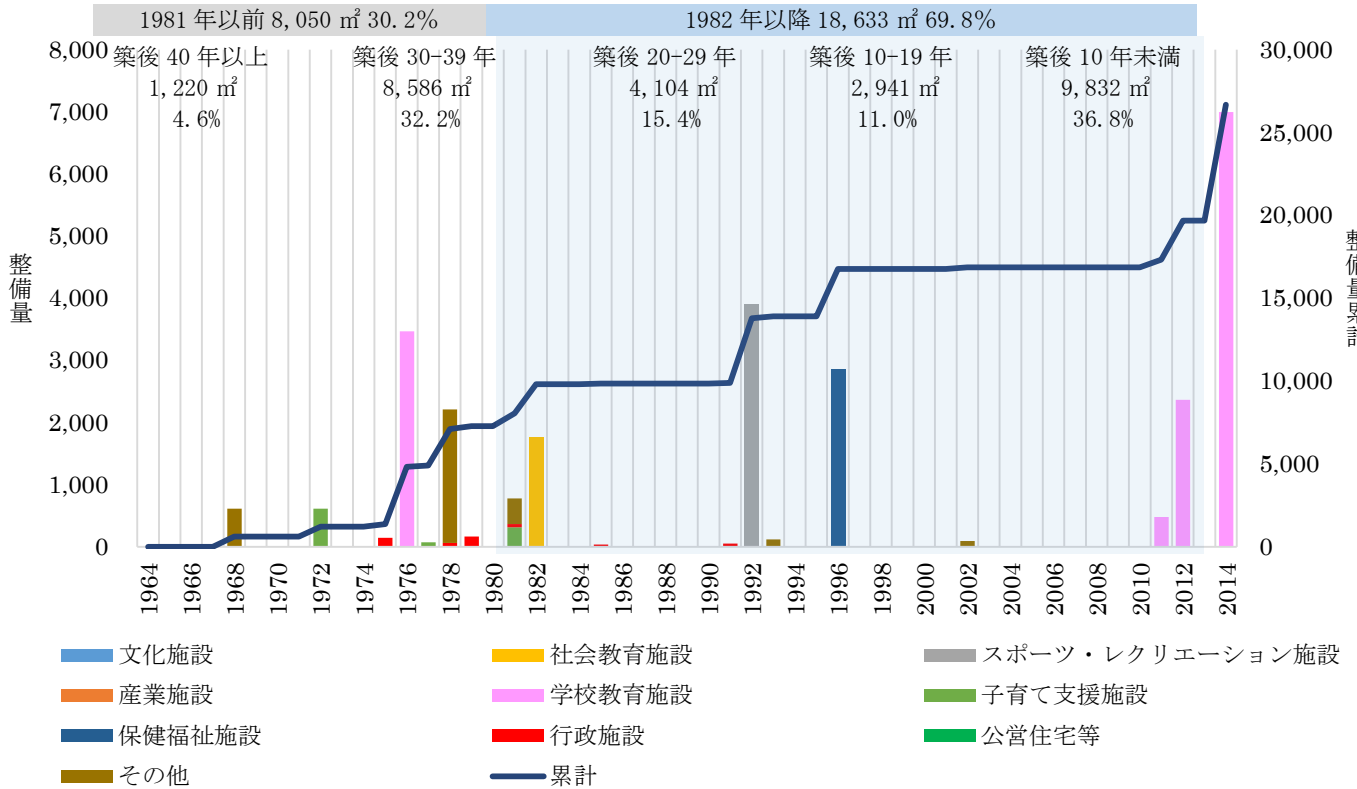
②築年別の施設状況

公共施設の総面積は、約 26,683 m²と市全体の約 16.3%となっています。また、施設数は 24 施設となっています。

旧耐震基準以前に建築された施設は約 30.2%となっていますが、築後 20 年以上の施設は約 52.2%となっています。

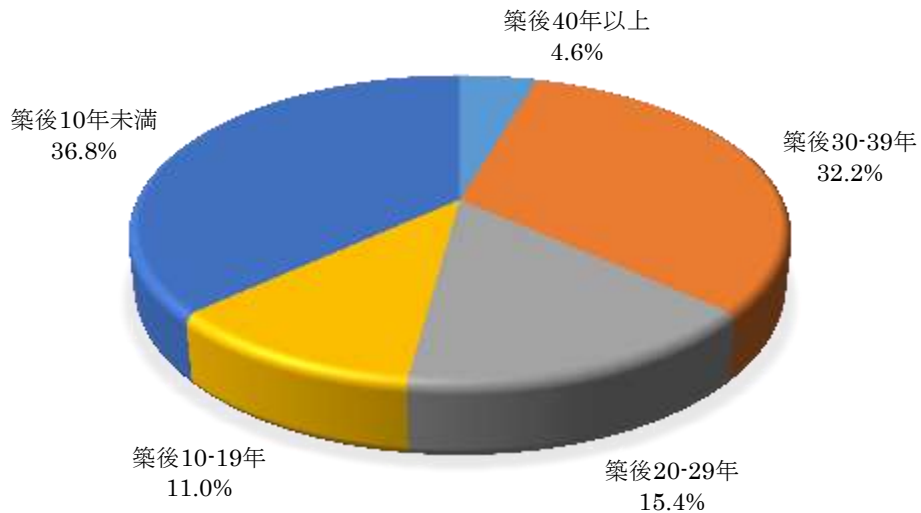
地域住民 1 人当たりの公共施設面積は約 4.8 m²となっています。

図表 公共施設の整備状況 (単位：m²)



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

図表 建築後年数による割合



図表 分類別施設整備割合

2014年度までに整備された公共施設の総面積		26,683 (㎡)
新耐震基準前の建設年の施設 (1981年度以前の建築)	延床面積	8,050 (㎡)
	割合	30.2 (%)
建設から20年以上の施設 (1994年度以前の建築)	延床面積	13,910 (㎡)
	割合	52.2 (%)
地域人口		5,613 (人)
人口1人当たりの公共施設の床面積		4.8 (㎡/人)

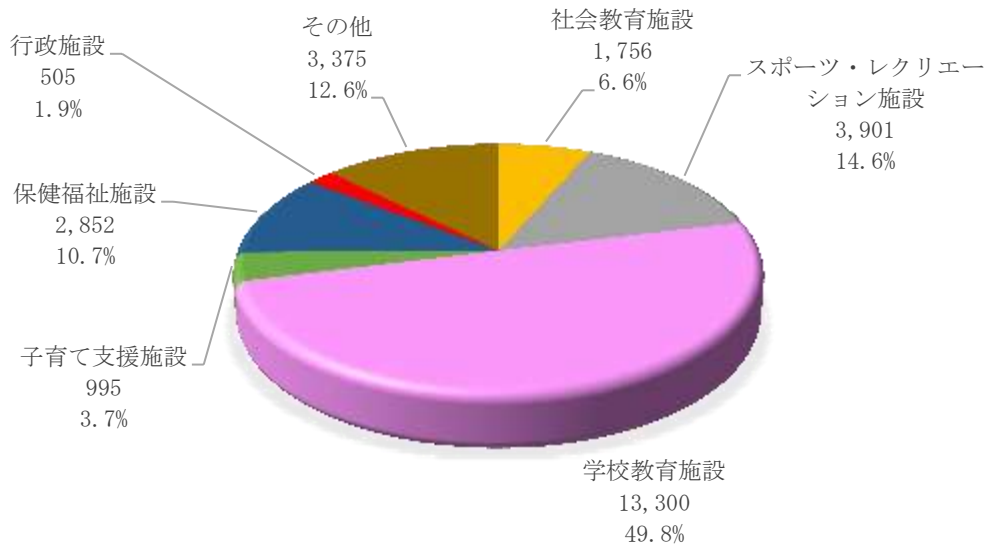
項目	総面積	割合
築後40年以上	1,220	4.6%
築後30-39年	8,586	32.2%
築後20-29年	4,104	15.4%
築後10-19年	2,941	11.0%
築後10年未満	9,832	36.8%
合計	26,683	100.0%

※面積は項目毎に小数点以下第1位を四捨五入した数値であり、合計が内訳端数の関係で合わない部分もある。
 ※割合は項目毎に小数点以下第2位を四捨五入した数値であり、合計が100%にはならない部分もある。

③施設用途割合

学校教育施設が約49.8%と最も大きく、以下、スポーツ・レクリエーション施設が約14.6%、その他が約12.6%、保健福祉施設が約10.7%と続いています。他地区と比べスポーツ・レクリエーション施設の延床面積が多いことが特徴となっています。

図表 施設用途別割合 (単位: ㎡)



V. 建築物の施設用途別現状と分析

1. 文化施設

1-1. 文化施設

(1) 施設概要

①施設一覧

文化施設は、全体で2施設あります。小城町に1施設、牛津町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市小城文化センター	(小城町)520-1	昭和63年度(1988年度)	981	655	2	単独
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ※	牛津584-19	平成19年度(2007年度)	20	20	1	単独

※小城市牛津会館・小城市赤れんが館は、文化財のため建築物と位置づけしていないので、表記していません。

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	小城市小城文化センター	文化の振興と市民相互の交流を図るため
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ	社会公共の利便を図るため

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

図表 運営状況

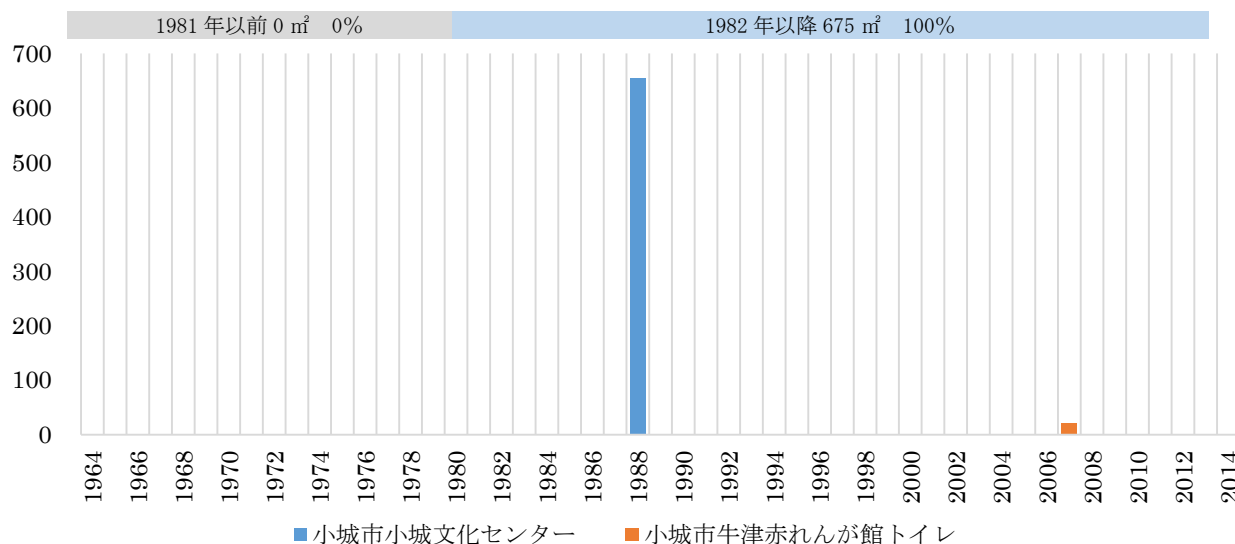
地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市小城文化センター	8:30~22:00	火曜日	委託	308
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ	9:00~22:00	月曜日・年末年始		336

④築年別整備状況

各施設の築年別整備状況については以下のとおりです。

2施設とも昭和57年度（1982年度）以後の新耐震基準の施設となっています。「小城市小城文化センター」は新耐震基準以降に建設されていますが、築26年が経過しています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市小城文化センター	1	1	—	—	
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ	1	1	—	—	

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
小城町	小城市小城文化センター	○	—	—	○	—	—	○	1	—
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ	○	—	—	○	—	—	○	2	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

2施設とも老朽化比率60%未満です。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市小城文化センター	昭和63年度（1988年度）	93,410,000	47	53,430,520	57.2%
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ	平成19年度（2007年度）	10,080,000	38	2,794,316	27.7%

(2) 利用の実態

①利用状況

各施設の利用者数は以下のとおりです。

「小城市小城文化センター」の平成26年度（2014年度）の利用者数は、9,317人となり、1日平均30人が利用しています。増減を繰り返しながらも利用者は減少傾向にあります。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H26年度／ H22年度	H26開館日 平均（人）
小城市	小城市小城文化センター	9,993	9,439	10,363	9,743	9,317	0.93	30.3
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ	—	—	—	—	—	—	—

②稼働状況

各施設の稼働状況については以下のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出 可能数	年間貸出数	稼働率 (%)	年間利用 人数
小城市	小城市小城文化センター	研修室1	61	30	308	180	58.4	1,851
		研修室2	29	15	308	216	70.1	1,416
		音楽室	60	25	308	120	39.0	1,405
		和室1	50	40	308	29	9.4	183
		和室2	62	40	308	166	53.9	1,306
		実習室	43	16	308	119	38.6	714
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ	—	20	—	—	—	—	—

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コスト状況は以下のとおりです。

図表 施設コスト状況（単位：千円）

地区	施設名称	平成26年度施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城市	小城市小城文化センター	6,098	1,213	75	2,055	17	9,458	655	14.4
牛津町	小城市牛津赤れんが館トイレ	0	0	0	399	0	399	20	20.0
合計		6,098	1,213	75	2,454	17	9,857	675	—
平均		3,049	607	38	1,227	9	4,929	338	14.6

2. 社会教育施設

社会教育施設は、「2-1. 公民館等」「2-2. 図書館」「2-3. その他社会教育施設」の3項目について分析を行います。

2-1. 公民館等

(1) 施設概要

①施設一覧

公民館等の施設は、全体で9施設あります。小城町に5施設、三日月町に1施設、牛津町に2施設、芦刈町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市小城公民館※ ¹	(小城町)176-20	昭和52年度(1977年度)	1,644	2,137	3	単独
	小城市小城公民館岩松支館	松尾 3780-1	昭和48年度(1973年度)	1,820	572	1	単独
	小城市小城公民館三里支館	栗原 1244-1	昭和53年度(1978年度)	1,974	566	1	単独
	小城市小城公民館晴田支館	晴気 2096-1	昭和54年度(1979年度)	2,919	610	1	単独
	小城市小城公民館桜岡支館※ ^{1,2}	(小城町)176-13	平成03年度(1991年度)	840	264	2	単独
三日月町	小城市生涯学習センター (ドッキング三日月)	長神田 1845	平成07年度(1995年度)	10,743	3,619	2	複合(主)
牛津町	小城市牛津公民館※ ³	柿樋瀬 1100-1	昭和55年度(1980年度)	12,183	1,715	2	複合(主)
	小城市牛津公民館別館 (旧牛津公民館)	勝 1324-1	平成02年度(1990年度)	2,013	1,038	2	単独
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	三王崎 349	昭和57年度(1982年度)	7,280	1,756	1	複合(主)

※¹小城市小城公民館、小城市小城公民館桜岡支館は、平成27年12月に閉館。平成28年1月にまちなか市民交流プラザ内へ移転。

※²小城市小城公民館桜岡支館は、既存施設を取得。

※³小城市牛津公民館は旧議会棟を平成27年度に小城市牛津公民館として再整備済で、平成28年1月供用開始。

②設置目的

各施設の設置目的については以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	小城市小城公民館	区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする(社会教育法第20条)
	小城市小城公民館岩松支館	
	小城市小城公民館三里支館	
	小城市小城公民館晴田支館	
	小城市小城公民館桜岡支館	
三日月町	小城市生涯学習センター (ドッキング三日月)	生涯学習の拠点となり、必要な情報提供を行う総合かつ多目的な施設として、やすらぎと豊かさを培い、住民相互のふれあいを図り、市民の文化の向上及び健康の増進に資するため
牛津町	小城市牛津公民館	区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする(社会教育法第20条)
	小城市牛津公民館別館 (旧牛津公民館)	
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	地域交流の活性化、教育及び文化の振興並びにコミュニティ活動の推進を図り活力あるまちづくりに資するため

③運営状況

各施設の運営状況については以下のとおりです。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市小城公民館	8：30～22：00	毎月第1月曜日・12/29～1/3	直営	347
	小城市小城公民館岩松支館		毎週月曜日・12/29～1/3		308
	小城市小城公民館三里支館				
	小城市小城公民館晴田支館				
	小城市小城公民館桜岡支館				
三日月町	小城市生涯学習センター（ドゥイング三日月）	毎月第2月曜日ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日・12/29～1/3	直営	347	
牛津町	小城市牛津公民館別館（旧牛津公民館）	毎月第3月曜日・12/29～1/3			
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	毎月第4月曜日・12/29～1/3			

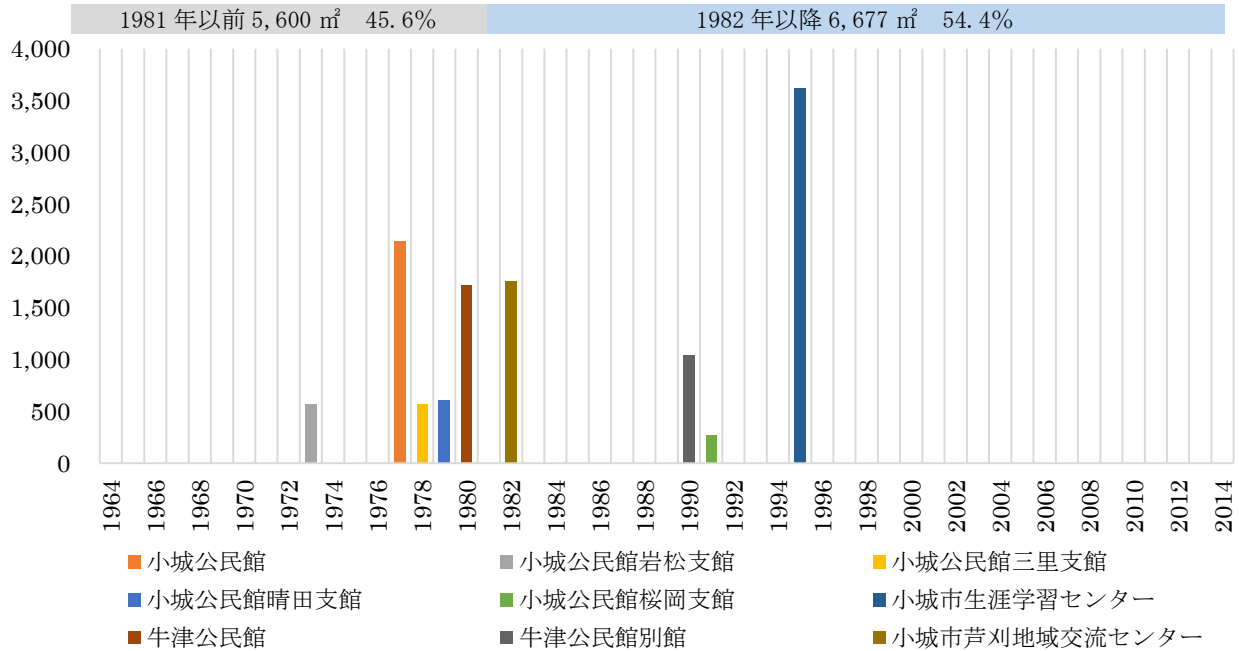
※小城市牛津公民館は平成28年1月供用開始のため、表記していません。（施設データ基準日が、平成27年3月31日のため）

④築年別整備状況

各施設の築年別整備状況については以下のとおりです。

昭和56年度（1981年度）以前の旧耐震基準の施設が5施設、昭和57年度（1982年度）以後の新耐震基準の施設が4施設となっています。築後20年を経過している施設は、全体の約71%にのびります。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市小城公民館	2	2	—	—	—
	小城市小城公民館岩松支館	1	—	1	—	—
	小城市小城公民館三里支館	1	1	—	—	H22
	小城市小城公民館晴田支館	1	1	—	—	—
	小城市小城公民館桜岡支館	1	1	—	—	—
三日月町	小城市生涯学習センター (ドッキング三日月)	4	4	—	—	—
牛津町	小城市牛津公民館別館 (旧牛津公民館)	2	2	—	—	—
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	2	2	—	—	—

※小城市牛津公民館は平成 28 年 1 月供用開始のため、表記していません。(施設データ基準日が、平成 27 年 3 月 31 日のため)

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
小城町	小城市小城公民館	○	—	○	—	—	○	○	2	—
	小城市小城公民館岩松支館	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小城市小城公民館三里支館	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	小城市小城公民館晴田支館	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小城市小城公民館桜岡支館	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三日月町	小城市生涯学習センター (ドッキング三日月)	○	○	○	○	—	○	○	4	—
牛津町	小城市牛津公民館別館 (旧牛津公民館)	○	—	○※ ¹	—	—	—	—	—	—
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	—	—	—	○	○	○	○	3	○

※小城市牛津公民館は平成 28 年 1 月供用開始のため、表記していません。(施設データ基準日が、平成 27 年 3 月 31 日のため)

※¹階段昇降機

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

老朽化の状況は、9 施設中、老朽化比率 60%以上が 4 施設、老朽化比率 80%以上が 4 施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市小城公民館	昭和 52 年度 (1977 年度)	313,079,940	50	253,286,260	80.9%
	小城市小城公民館岩松支館	昭和 48 年度 (1973 年度)	47,210,631	38	46,230,058	97.9%
	小城市小城公民館三里支館	昭和 53 年度 (1978 年度)	64,722,084	38	53,902,662	83.3%
	小城市小城公民館晴田支館	昭和 54 年度 (1979 年度)	81,613,663	38	77,141,070	94.5%
	小城市小城公民館桜岡支館	平成 03 年度 (1991 年度)	29,988,852	39	20,855,916	69.5%
三日月町	小城市生涯学習センター (ドッキング三日月)	平成 07 年度 (1995 年度)	1,532,449,233	50	895,317,359	58.4%
牛津町	小城市牛津公民館	昭和 55 年度 (1980 年度)	551,918,800	50	424,569,209	76.9%
	小城市牛津公民館別館 (旧牛津公民館)	平成 02 年度 (1990 年度)	199,018,896	50	124,834,286	62.7%
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	昭和 57 年度 (1982 年度)	609,690,000	47	434,224,672	71.2%

(2) 利用の実態

①利用状況

各施設の利用者数は以下のとおりです。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H26年度／ H22年度	H26開館日 平均(人)
小城町	小城市小城公民館	39,723	43,357	51,833	45,016	44,707	1.13	128.8
	小城市小城公民館岩松支館	6,759	6,850	9,158	9,499	9,620	1.42	31.2
	小城市小城公民館三里支館	4,449	4,682	6,191	6,624	6,584	1.48	21.4
	小城市小城公民館晴田支館	11,862	10,204	12,217	12,854	13,252	1.12	43.0
	小城市小城公民館桜岡支館	3,406	3,329	3,520	3,110	3,611	1.06	11.7
三日月町	小城市生涯学習センター (ドゥイング三日月)	44,756	46,224	55,361	54,145	44,708	0.99	128.8
牛津町	小城市牛津公民館別館 (旧牛津公民館)	13,422	10,981	11,376	11,075	11,903	0.89	34.3
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	—	—	49,083	36,362	27,388	—	78.9

※小城市牛津公民館は平成28年1月供用開始のため、表記していません。(施設データ基準日が、平成27年3月31日のため)

②稼働状況

各施設の稼働状況については以下のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出 可能数	年間 貸出数	稼働率 (%)	年間利用 人数
小城町	小城市小城公民館	大ホール	502	500	1,041	589	56.6	16,657
		教養室	94	60	1,041	493	47.4	10,391
		和室研修室	55	40	1,041	375	36.0	7,375
		和室会議室	52	40	1,041	300	28.8	6,392
		調理実習室	62	25	1,041	121	11.6	1,797
		研修室1	47	25	1,041	445	42.7	5,048
		研修室2	59	50	1,041	195	18.7	3,439
	小城市小城公民館岩松支館	集会場	242	250	924	268	29.0	6,504
		研修室	52	40	924	126	13.6	1,181
		和室	52	60	924	90	9.7	1,359
		調理実習室	52	30	924	36	3.9	576
	小城市小城公民館三里支館	集会室	238	200	924	56	6.1	3,245
		研修室	45	40	924	178	19.3	2,313
		和室	45	60	924	55	6.0	784
		調理実習室	51	30	924	19	2.1	62
	小城市小城公民館晴田支館	集会場	238	200	924	242	26.2	6,658
		研修室	45	40	924	303	32.8	2,247
和室		118	60	924	167	18.1	2,756	
調理実習室		52	30	924	97	10.5	1,592	
小城市小城公民館桜岡支館	研修室	50	40	924	301	32.6	2,532	
	会議室	36	20	924	108	11.7	1,079	
三日月町	小城市生涯学習センター (ドゥイング三日月)	小研修室	36	10	1,041	423	40.6	2,004
		中研修室	60	20	1,041	390	37.5	3,549
		大研修室	107	100	1,041	316	30.4	6,669
		生活工房	124	36	1,041	61	5.9	424
		視聴覚室	180	100	1,041	306	29.4	7,721
		多目的ホール	703	504	1,041	669	64.3	24,341
牛津町	小城市牛津公民館別館 (旧牛津公民館)	研修室(和室)	32	36	1,041	377	36.2	2,283
		研修室(和室)	72	40	1,041	155	14.9	2,831
		研修室(和室)	90	50	1,041	419	40.2	4,982
		研修室(洋室)	32	15	1,041	63	6.1	506
		研修室(洋室)	32	15	1,041	130	12.5	1,367

V. 建築物の施設用途別現状と分析

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出 可能数	年間 貸出数	稼働率 (%)	年間利用 人数
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	会議室A	62	40	1,041	274	26.3	7,594
		会議室B	62	40	1,041	243	23.3	2,349
		和室A	55	30	1,041	224	21.5	4,198
		和室B	55	30	1,041	85	8.2	906
		市民活動センター	52	30	1,041	345	33.1	2,856
		多目的ホール	802	1,000	1,041	292	28.0	9,485

※小城市牛津公民館は平成28年1月供用開始のため、表記していません。(施設データ基準日が、平成27年3月31日のため)

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況 (単位：千円)

地区	施設名称	平成26年度施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	小城市小城公民館	5,203	3,321	739	4,019	1,303	14,585	2,137	6.8
	小城市小城公民館岩松支館	1,393	889	198	28	349	2,857	572	5.0
	小城市小城公民館三里支館	1,378	880	196	1,540	345	4,339	566	7.7
	小城市小城公民館晴田支館	1,485	948	211	1,673	372	4,689	610	7.7
	小城市小城公民館桜岡支館	640	409	91	574	160	1,874	264	7.1
三日月町	小城市生涯学習センター (ドッキング三日月)	12,872	10,776	772	20,976	2,689	48,085	3,619	13.3
牛津町	小城市牛津公民館※	26,845	1,553	429	13,300	46	42,173	1,715	24.6
	小城市牛津公民館別館 (旧牛津公民館)	16,671	964	267	2,967	18	20,887	1,038	20.1
芦刈町	小城市芦刈地域交流センター	3,925	3,407	126	13,570	270	21,298	1,756	12.1
合計		70,412	23,147	3,029	58,647	43,677	198,912	12,272	—
平均		7,824	2,572	336	6,516	4,853	22,101	1,364	16.2

※小城市牛津公民館は、平成26、27年度に改修工事を行っているため、維持補修費が高くなっています。

2-2. 図書館

(1) 施設概要

①施設一覧

図書館は、全体で4施設あります。小城町に1施設、三日月町に1施設、牛津町に1施設、芦刈町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市民図書館小城館	(小城町)158-4	小城市立歴史資料館(桜城館)内		1,136	—	複合(従)
三日月町	小城市民図書館三日月館	長神田 1845	小城市生涯学習センター内		893	—	複合(従)
牛津町	小城市民図書館牛津分室	勝 1324-1	小城市牛津公民館内		196	—	複合(従)
芦刈町	小城市民図書館芦刈分室	三王崎 349	小城市芦刈地域交流センター内		172	—	複合(従)

※小城市民図書館牛津分室は、平成28年1月に小城市牛津公民館(柿樋瀬 1100-1)へ移転 延床面積 162㎡

②運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市民図書館小城館	平日(火~木)10:00~18:00 金曜日 10:00~19:00	月・第4木曜日 祝日(5/5・11/3を除く)	直営	277
三日月町	小城市民図書館三日月館	土日祝 10:00~17:00	12/29~1/4・特別整理期間		
牛津町	小城市民図書館牛津分室	平日(火~木)10:00~18:00	月・金・第4木曜日 祝日(5/5・11/3を除く)		225
芦刈町	小城市民図書館芦刈分室	土日祝 10:00~17:00	12/29~1/4・特別整理期間		



(2) 利用の実態

①利用状況

各施設の利用状況は以下のとおりです。

各施設とも、利用者数は減少傾向にあります。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H26年度／ H22年度	H26開館日 平均(人)
小城町	小城市民図書館小城館	41,954	40,056	37,553	35,123	33,239	0.79	120.0
三日月町	小城市民図書館三日月館	42,316	39,873	36,011	35,107	33,104	0.78	119.5
牛津町	小城市民図書館牛津分室	7,492	6,924	5,928	5,789	5,938	0.79	26.4
芦刈町	小城市民図書館芦刈分室	4,283	353	7,211	6,716	6,580	1.54	29.2

※小城市民図書館三日月館には、自動車図書館（本丸くん）の利用状況を含む。

※小城市民図書館芦刈分室は、平成22年10月1日～平成24年3月22日までリニューアルオープンのため休室。

②稼働状況

各施設の稼働状況については以下のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (m ²)	利用定員	蔵書数	貸出点数	稼働率 (%)	年間利用 人数
小城町	小城市民図書館小城館	図書館	1,136	—	135,145	168,953	125.0	33,239
三日月町	小城市民図書館三日月館	図書館	893	—	114,995	159,572	138.8	33,104
牛津町	小城市民図書館牛津分室	図書館	196	—	18,567	28,009	150.9	5,938
芦刈町	小城市民図書館芦刈分室	図書館	172	—	16,792	31,657	188.5	6,580

2-3. その他社会教育施設

(1) 施設概要

①施設一覧

その他社会教育施設は、小城町に2施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	（小城町）158-4	平成10年度（1998年度）	4,228	3,497	3	複合(主)
	小城市教育集会所	畑田 634	昭和51年度（1976年度）	594	167	1	単独

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	歴史資料館：市民への文化財の保護愛護思想の普及を図る 梧竹記念館：梧竹の偉業を顕彰
	小城市教育集会所	同和地区等の教育水準の向上と文化の振興を図るため

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

図表 運営状況

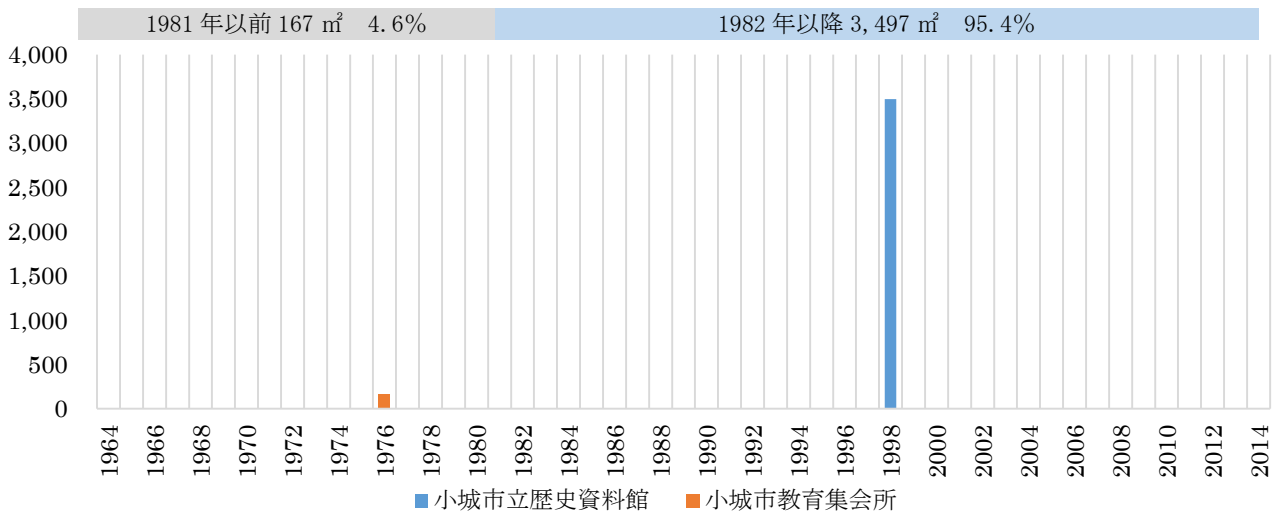
地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	9：00～17：00	月・祝・年末年始	直営	277
	小城市教育集会所	8：30～17：15	土日祝日		240

④築年別整備状況

各施設の築年別整備状況については以下のとおりです。

「小城市立歴史資料館」は、昭和 57 年度（1982 年度）以降の建築であり、新耐震基準に適合しています。築後 20 年未満のため、比較的新しい施設となります。「小城市教育集会所」は昭和 51 年度（1976 年度）の建築で築後 38 年を経過しています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	2	1	1（倉庫）	—	—
	小城市教育集会所	1	—	1	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
小城町	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	○	○	○	○	—	○	○	2	—
	小城市教育集会所	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	平成 10 年度（1998 年度）	1,630,221,700	50	531,210,842	32.6%
	小城市教育集会所	昭和 51 年度（1976 年度）	18,340,000	22	18,339,997	100.0%

(2) 利用の実態

①利用状況

各施設の利用者数は以下のとおりです。

「小城市立歴史資料館」の平成26年度（2014年度）の利用者数は43,502人となっています。平成26年度（2014年度）と平成22年度（2010年度）の利用者数を比較すると約2割の減少です。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H26年度／ H22年度	H26開館日 平均（人）
小城市	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	54,047	50,938	45,807	47,017	43,502	0.80	157.0
	小城市教育集会所	940	1,270	1,328	1,067	1,337	1.42	5.6

②稼働状況

各施設の稼働状況については以下のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出 可能数	年間 貸出数	稼働率 (%)	年間利用 人数
小城市	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	歴史資料館常設展示室	243	—	—	—	—	4,471
		企画展示室	75	—	596	20	3.4	3,543
		研修室	95	70	596	37	6.2	668
		記念館常設展示室	285	—	—	—	—	2,249
	小城市教育集会所	学習室	12	—	75	—	—	213
		研修室	32	—	58	—	—	580
		和室	46	—	12	—	—	211

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況（単位：千円）

地区	施設名称	平成26年度施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城市	小城市立歴史資料館（桜城館） （中林梧竹記念館含む）	16,481	5,512	697	32,883	1,950	57,523	3,497	16.4
	小城市教育集会所	1,489	253	58	0	923	2,723	167	16.3
合計		17,970	5,765	755	32,883	2,873	60,246	3,664	—
平均		8,985	2,882	378	16,442	1,436	30,123	1,832	16.4

3. スポーツ・レクリエーション施設

スポーツ・レクリエーション施設は、「3-1. スポーツ施設」「3-2. レクリエーション施設」の2項目について分析を行います。

3-1. スポーツ施設

(1) 施設概要

①施設一覧

スポーツ施設は、全体で5施設あります。小城町に1施設、三日月町に1施設、牛津町に2施設、芦刈町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市小城体育センター	畑田 98-1	昭和 59 年度 (1984 年度)	7,027	1,985	2	単独
三日月町	小城市三日月体育館	長神田 1848-9	昭和 60 年度 (1985 年度)	8,788	1,996	2	単独
牛津町	小城市牛津体育センター	柿樋瀬 1100-2	昭和 56 年度 (1981 年度)	3,430	1,737	2	単独
	小城市牛津武道館	牛津 556-1	平成 05 年度 (1993 年度)	1,509	1,354	2	単独
芦刈町	小城市芦刈文化体育館	三王崎 172-1	平成 04 年度 (1992 年度)	8,173	3,901	2	単独

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	小城市小城体育センター	市民の心身ともに健全育成を図り、スポーツ・レクリエーション活動を通じて、地域連帯感を醸成することによって市民意識の向上に資するため
三日月町	小城市三日月体育館	
牛津町	小城市牛津体育センター	市民の健全な心身の発達に資するとともに、武道活動を通じて市民の体位向上を図るため
	小城市牛津武道館	
芦刈町	小城市芦刈文化体育館	市民の心身ともに健全育成を図り、スポーツ・レクリエーション活動を通じて、地域連帯感を醸成することによって市民意識の向上に資するため

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

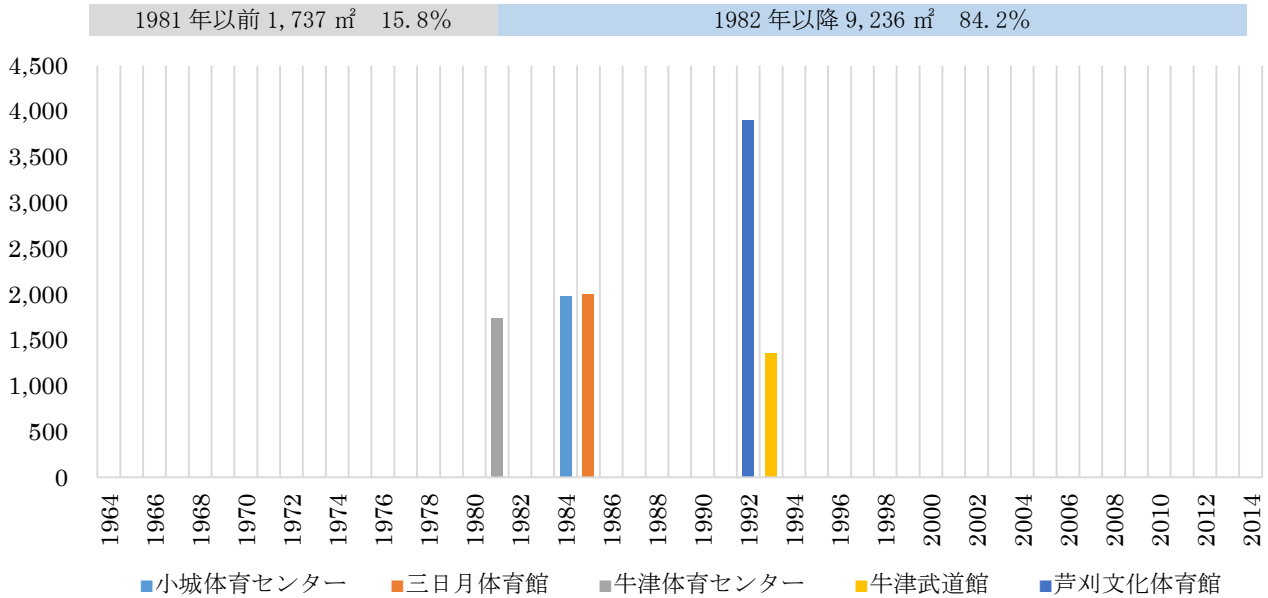
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市小城体育センター	8:30~22:00	毎月第1月曜日・12/29~1/3	指定管理	347
三日月町	小城市三日月体育館		毎月第2月曜日・12/29~1/3		
牛津町	小城市牛津体育センター		毎月第3月曜日・12/29~1/3		
	小城市牛津武道館				
芦刈町	小城市芦刈文化体育館		毎月第4月曜日・12/29~1/3		

④築年別整備状況

昭和 56 年度（1981 年度）以前の旧耐震基準の施設が 1 施設、昭和 57 年度（1982 年度）以後の新耐震基準の施設が 4 施設となっています。全ての施設が築後 20 年を経過しています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市小城市体育センター	2	2	—	—	—
三日月町	小城市三日月体育館	1	1	—	—	—
牛津町	小城市牛津体育センター	1	1	—	—	—
	小城市牛津武道館	1	1	—	—	—
芦刈町	小城市芦刈文化体育館	1	1	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
小城町	小城市小城市体育センター	○	—	—	○	—	—	—	—	—
三日月町	小城市三日月体育館	○	—	—	○	—	—	—	—	—
牛津町	小城市牛津体育センター	○	—	—	○	—	—	—	—	—
	小城市牛津武道館	○	—	—	○	—	—	—	—	—
芦刈町	小城市芦刈文化体育館	○	—	○	○	—	—	—	—	○

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

老朽化の状況は、全ての施設が老朽化比率 60%以上になっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市小城体育センター	昭和 59 年度 (1984 年度)	218,818,000	47	157,106,518	71.8%
三日月町	小城市三日月体育館	昭和 60 年度 (1985 年度)	288,699,730	47	192,103,996	66.5%
牛津町	小城市牛津体育センター	昭和 56 年度 (1981 年度)	264,680,000	47	181,608,051	68.6%
	小城市牛津武道館	平成 05 年度 (1993 年度)	247,354,500	34	171,908,359	69.5%
芦刈町	小城市芦刈文化体育館	平成 04 年度 (1992 年度)	1,463,472,000	47	938,620,900	64.1%

(2) 利用の実態

①利用状況

各施設の利用者数は以下のとおりです。

全施設で平成 26 年度 (2014 年度) の利用者が前年度より減少しています。

図表 利用状況

地区	施設名称	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H26 年度／ H23 年度	H26 開館日 平均 (人)
小城町	小城市小城体育センター	35,903	34,624	36,561	33,816	0.94	97.5
三日月町	小城市三日月体育館	35,401	36,849	37,096	33,626	0.95	96.9
牛津町	小城市牛津体育センター	30,748	30,839	31,762	31,323	1.02	90.3
	小城市牛津武道館	18,825	22,021	25,087	23,287	1.24	67.1
芦刈町	小城市芦刈文化体育館	32,357	35,910	32,069	21,271	0.66	61.3

②稼働状況

各施設の稼働状況については以下のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出 可能数	年間 貸出数	稼働率 (%)	年間利用 人数
小城町	小城市小城体育センター	アリーナ	1,428	—	1,041	—	—	31,216
		卓球場	499	—	1,041	—	—	2,551
		会議室	40	—	1,041	—	—	49
三日月町	小城市三日月体育館	アリーナ	1,435	—	1,041	—	—	32,427
		卓球場	156	—	1,041	—	—	804
		会議室	21	—	1,041	—	—	395
牛津町	小城市牛津体育センター	アリーナ	1,010	—	1,041	—	—	31,106
		卓球場	98	—	1,041	—	—	217
	小城市牛津武道館	剣道場	478	—	1,041	—	—	10,754
		柔道場	487	—	1,041	—	—	12,190
		会議室	29	—	1,041	—	—	343
芦刈町	小城市芦刈文化体育館	アリーナ	1,544	—	1,041	—	—	16,066
		柔道場	374	—	1,041	—	—	4,759
		卓球場	193	—	1,041	—	—	113
		会議室	57	—	1,041	—	—	89
		トレーニング室	97	—	1,041	—	244	

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況 (単位：千円)

地区	施設名称	H26年度施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	小城市小城体育センター	1,896	41	377	4,001	518	6,833	1,985	3.4
三日月町	小城市三日月体育館	1,911	41	380	5,684	522	8,538	1,996	4.3
牛津町	小城市牛津体育センター	1,663	36	331	5,223	454	7,707	1,737	4.4
	小城市牛津武道館	1,296	28	258	6,337	354	8,273	1,354	6.1
芦刈町	小城市芦刈文化体育館	3,734	80	743	22,377	1,020	27,954	3,901	7.2
合 計		10,500	226	2,089	43,622	2,868	59,305	10,973	—
平 均		2,100	45	418	8,724	573	11,861	2,194	5.4

3-2. レクリエーション施設

(1) 施設概要

①施設一覧

レクリエーション施設は、全体で3施設あります。小城町に2施設、三日月町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	畑田 5292-1	昭和 63 年度 (1988 年度)	八丁グリーン パーク内	249	1	単独
	川内野外研修センター	畑田 5887-25	昭和 46 年度 (1971 年度)	2,361	265	2	単独
三日月町	三日月野外研修センター	織島 2-13	昭和 60 年度 (1985 年度)	8,791	453	2	単独

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	林業労働者の保健、休養及び研修並びに地域住民との交流を目的とした集会の場として広く総合的に活用するため
	川内野外研修センター	野外活動その他社会教育に係る学習の場を提供し、生涯学習の振興に寄与するため
三日月町	三日月野外研修センター	

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

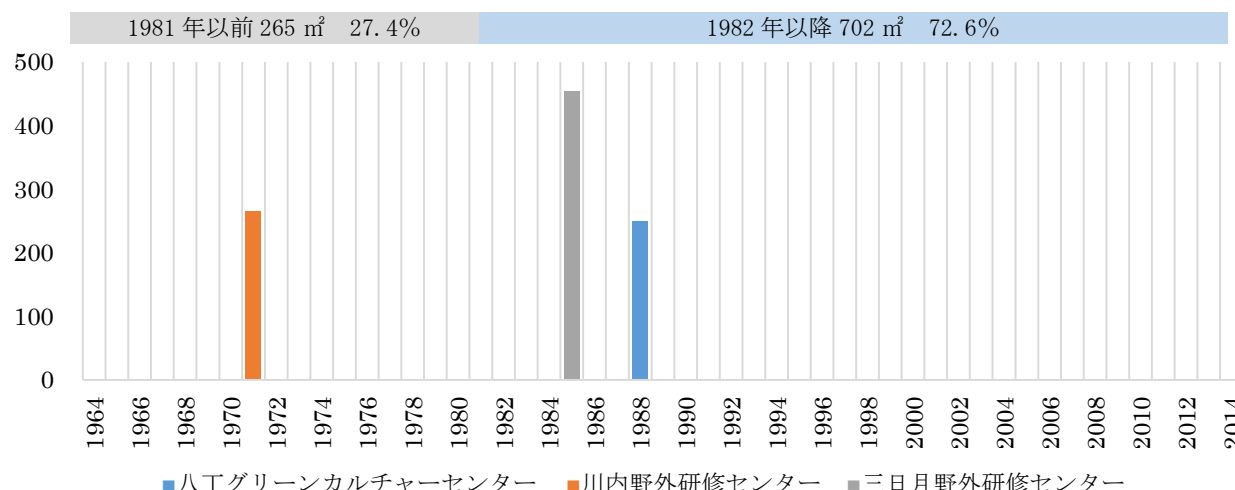
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	8:30~22:00	年末年始	直営	359
	川内野外研修センター		毎月第1水曜日(ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日)・12/29~1/3		
三日月町	三日月野外研修センター	9:00~21:00			347

④築年別整備状況

昭和56年(1981年)以前の旧耐震基準の施設が1施設、昭和57年(1982年)以後の新耐震基準の施設が2施設となっています。全ての施設が築後20年を経過しています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	4	4	—	—	—
	川内野外研修センター	1	—	1	—	—
三日月町	三日月野外研修センター	4	4	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	川内野外研修センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三日月町	三日月野外研修センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

全ての施設で老朽化比率 80%以上になっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	昭和 63 年度 (1988 年度)	39,107,000	22	39,106,996	100.0%
	川内野外研修センター	昭和 46 年度 (1971 年度)	57,190,000	47	54,101,740	94.6%
三日月町	三日月野外研修センター	昭和 60 年度 (1985 年度)	82,890,000	15	82,889,997	100.0%

(2) 利用の実態

①利用状況

各施設の利用者数は以下のとおりです。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H26 年度 / H22 年度	H26 開館日 平均 (人)
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	163	336	265	262	290	1.78	1.8
	川内野外研修センター	1,404	740	831	1,303	775	0.55	2.2
三日月町	三日月野外研修センター	1,453	1,100	1,428	1,312	1,311	0.90	3.8

②稼働状況

各施設の稼働状況については以下のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出 可能数	年間 貸出数	稼働率 (%)	年間利用 人数
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	研修室	60	15	359	27	7.5	342
		会議室	40	5	359	1	0.3	8
		調理室	23	5	359	8	2.2	178
	川内野外研修センター	—	265	—	347	3	0.8	775
三日月町	三日月野外研修センター	—	453	—	347	87	25.0	1,311

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況 (単位: 千円)

地区	施設名称	平成 26 年度施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1 ㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	八丁グリーンカルチャーセンター	2,581	223	134	0	15	2,953	249	11.9
	川内野外研修センター	2,602	187	311	1,258	937	5,295	265	20.0
三日月町	三日月野外研修センター	2,602	187	311	0	937	4,037	453	8.9
合 計		7,785	597	756	1,258	1,889	12,285	967	—
平 均		2,595	199	252	419	629	4,094	322	12.7

4. 産業施設

4-1. 産業施設

(1) 施設概要

①施設一覧

産業施設は、牛津町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
牛津町	小城市牛津産業展示館	柿桶瀬 1114-20	平成12年度(2000年度)	—	128	1	単独

②設置目的

施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
牛津町	小城市牛津産業展示館	産業の情報を市内外に発信することにより地域産業の生産意欲の増進及び新しい産業の創出育成及び地域産業の発展に資するため

③運営状況

施設の運営状況は以下のとおりです。

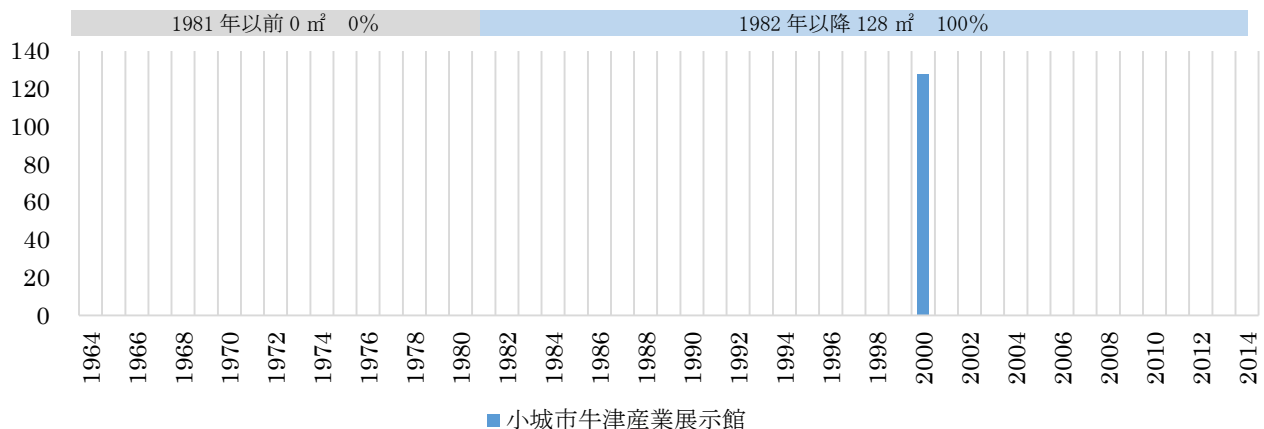
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
牛津町	小城市牛津産業展示館	7:00~20:00	無	直営	365

④築年別整備状況

昭和57年度(1982年度)以降の建築であり、新耐震基準に適合しています。

図表 築年別整備状況(単位:㎡)



【出典】:「平成26年度固定資産台帳」

⑤建物状況

施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
牛津町	小城市牛津産業展示館	1	1	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
牛津町	小城市牛津産業展示館	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却 累計額	老朽化比率
牛津町	小城市牛津産業展示館	平成12年度(2000年度)	37,120,000	50	10,393,600	28.0%

(2) 施設コストの実態

施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況(単位:千円)

地区	施設名称	平成26年度施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
牛津町	小城市牛津産業展示館	27	99	1	742	9	878

5. 学校教育施設

学校教育施設は、「5-1. 小学校」「5-2. 中学校」「5-3. その他教育施設」の3項目について分析を行います。

5-1. 小学校

(1) 施設概要

①施設一覧

小学校は、全体で8施設あります。小城町に4施設、三日月町に1施設、牛津町に2施設、芦刈町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市立岩松小学校	岩藏 1941	平成元年度 (1989年度)	15,016	4,959	2	単独
	小城市立桜岡小学校	(小城町)166	昭和60年度 (1985年度)	15,042	5,310	3	単独
	小城市立三里小学校	栗原 1256	昭和62年度 (1987年度)	17,394	3,623	3	単独
	小城市立晴田小学校	畑田 2099	昭和61年度 (1986年度)	15,676	5,377	2	単独
三日月町	小城市立三日月小学校	長神田 1680	平成18年度 (2006年度)	20,744	8,679	3	単独
牛津町	小城市立牛津小学校	柿樋瀬 922	昭和59年度 (1984年度)	20,877	5,974	3	単独
	小城市立砥川小学校	上砥川 1405	昭和62年度 (1987年度)	14,850	4,136	3	単独
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	三王崎 14・16	平成26年度 (2014年度)	20,508	12,824	2	単独

※取得年度は、主な校舎の取得年度。

※延床面積は、校舎及び屋内運動場の延床面積の合計。

※「小城市立芦刈観瀾校」は、小中一貫校です。

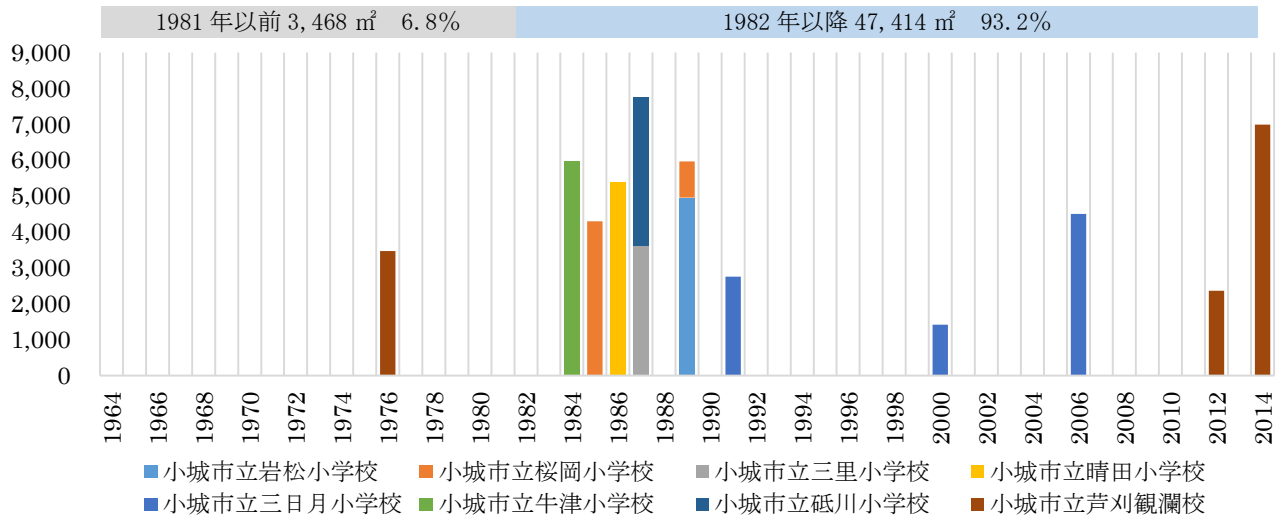
②設置目的

小学校の設置目的は全校共通して「個人の能力を伸ばし社会で自主的に生きる基礎を培い、社会人として必要な資質を養う教育を行うため」となっています。

③築年別整備状況

各小学校の主な校舎については、全て昭和 57 年度（1982 年度）以後に建設されていますが、施設全体として築後 20 年を経過しているものが全体の約 7 割に上ります。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

④建物状況

各小学校の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

「小城市立芦刈観瀾校」の昭和 51 年度（1976 年度）建設の校舎は、平成 22 年度（2010 年度）に耐震工事を行っています。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市立岩松小学校	11	10	1(プール付属室)	—	—
	小城市立桜岡小学校	10	9	1(プール更衣室)	—	—
	小城市立三里小学校	8	6	2(プール付属施設)	—	—
	小城市立晴田小学校	11	11	—	—	—
三日月町	小城市立三日月小学校	14	13	1(車庫兼倉庫)	—	—
牛津町	小城市立牛津小学校	14	14	—	—	—
	小城市立砥川小学校	11	9	2(プール機械室・倉庫)	—	—
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	16	15	1(消防格納庫)	—	H22

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
小城町	小城市立岩松小学校	○	—	—	○	—	—	—	—	—
	小城市立桜岡小学校	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	小城市立三里小学校	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	小城市立晴田小学校	○	—	—	—	—	—	○	1	—
三日月町	小城市立三日月小学校	○	—	○	○	—	—	○	2	—
牛津町	小城市立牛津小学校	○	—	—	○	—	—	—	—	—
	小城市立砥川小学校	○	—	—	—	—	—	—	—	—
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	○	—	○	○	○	○	○	4	—

⑤老朽化状況

各小学校の老朽化の状況は以下のとおりです。

老朽化の状況は、8 施設中、老朽化比率 60%以上が 3 施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市立岩松小学校	平成元年度 (1989 年度)	1,162,485,705	47	635,879,680	54.7%
	小城市立桜岡小学校	昭和 60 年度 (1985 年度)	1,242,988,475	47	769,409,866	61.9%
	小城市立三里小学校	昭和 62 年度 (1987 年度)	859,080,450	47	505,998,385	58.9%
	小城市立晴田小学校	昭和 61 年度 (1986 年度)	1,242,030,221	47	760,122,495	61.2%
三日月町	小城市立三日月小学校	平成 18 年度 (2006 年度)	2,132,845,761	47	757,160,245	35.5%
牛津町	小城市立牛津小学校	昭和 59 年度 (1984 年度)	853,088,498	47	561,332,231	65.8%
	小城市立砥川小学校	昭和 62 年度 (1987 年度)	970,862,968	47	579,605,191	59.7%
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	平成 26 年度 (2014 年度)	3,510,543,939	47	814,446,193	23.2%

※耐用年数は、主な校舎の耐用年数です。

(2) 利用の実態

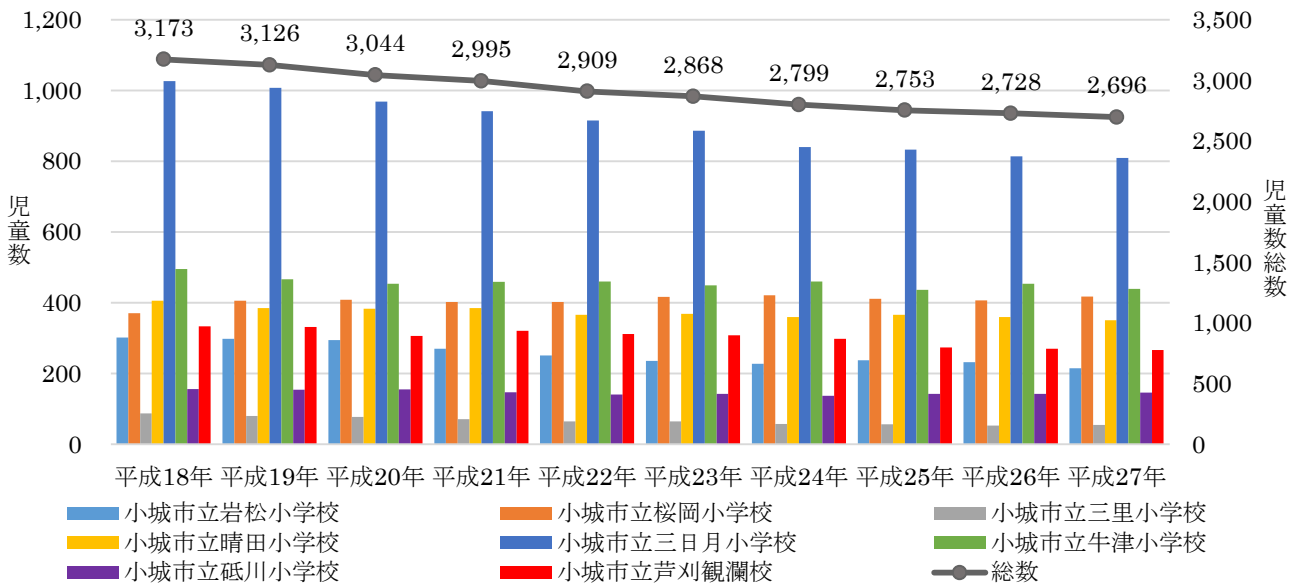
①児童数

各小学校の児童数は以下のとおりです。

図表 児童数

地区	施設名称	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
小城町	小城市立岩松小学校	301	298	294	270	251	235	227	237	232	215
	小城市立桜岡小学校	370	405	408	402	402	416	421	411	406	417
	小城市立三里小学校	87	80	77	71	64	64	57	56	53	54
	小城市立晴田小学校	405	385	383	385	366	368	359	366	359	350
三日月町	小城市立三日月小学校	1,026	1,007	968	941	915	886	840	832	813	809
牛津町	小城市立牛津小学校	495	466	453	459	460	449	460	436	453	439
	小城市立砥川小学校	156	154	155	147	140	142	137	142	142	146
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校 (小学生のみ)	333	331	306	320	311	308	298	273	270	266

図表 小学校全体の児童数推移表 (単位:人)



②諸室状況

各学校の諸室状況は以下のとおりです。

図表 諸室状況

地区	施設名称	諸室名称	部屋数	延床面積(m ²)
小城町	小城市立岩松小学校	普通教室	7	448
		普通教室(特学)	3	192
		少人数教室	3	192
		体育館	1	688
		その他	15	1,190
	小城市立桜岡小学校	普通教室	13	832
		普通教室(特学)	3	192
		少人数教室	1	64
		体育館	1	684
		その他	14	1,250
		小計	32	3,022
	小城市立三里小学校	普通教室	5	320
		普通教室(特学)	1	64
		少人数教室	—	—
		体育館	1	64
		その他	16	1,277
小城市立晴田小学校	普通教室	12	768	
	普通教室(特学)	3	128	
	少人数教室	—	—	
	体育館	1	684	
	その他	15	1,420	
三日月町	小城市立三日月小学校	普通教室	24	1,536
		普通教室(特学)	3	192
		少人数教室	—	—
		体育館	1	840
		その他	20	1,952
牛津町	小城市立牛津小学校	普通教室	14	870
		普通教室(特学)	3	189
		少人数教室	3	186
		体育館	1	673
		その他	18	1,601
	小城市立砥川小学校	普通教室	6	372
		普通教室(特学)	3	125
		少人数教室	—	—
		体育館	1	585
	その他	13	1,019	
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校 (中学部含む)	普通教室	16	862
		普通教室(特学)	4	192
		少人数教室	3	192
		体育館	1	1,160
		その他	15	2,287

(3) 施設コストの実態

各小学校の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況 (単位：千円)

地区	施設名称	平成 26 年度施設費用					総額	児童数 (人)	児童 1 人 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	小城市立岩松小学校	6,090	5,209	1,076	26,219	967	39,561	232	170.5
	小城市立桜岡小学校	4,300	6,122	921	27,511	1,671	40,525	406	99.8
	小城市立三里小学校	5,851	3,468	965	19,628	414	30,326	53	572.2
	小城市立晴田小学校	6,234	6,033	1,328	28,106	1,101	42,802	359	119.2
三日月町	小城市立三日月小学校	7,034	13,242	1,926	57,713	754	80,669	813	99.2
牛津町	小城市立牛津小学校	6,341	9,833	1,243	18,742	382	36,541	453	80.7
	小城市立砥川小学校	5,935	5,847	1,515	21,745	145	35,187	142	247.8
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	6,136	7,395	961	20,859	130	35,481	270	208.7
合 計		47,921	57,149	9,935	220,523	5,564	341,092	2,728	—
平 均		5,990	7,144	1,242	27,565	696	426,365	341	132.7

※児童数は平成 26 年度の人数。

※芦刈観瀾校の減価償却費は、小学校と中学校で二分しています。

5-2. 中学校

(1) 施設概要

①施設一覧

中学校は、全体で4施設あります。小城町に1施設、三日月町に1施設、牛津町に1施設、芦刈町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市立小城中学校	松尾 4104	平成 20 年度 (2008 年度)	37,050	12,108	3	単独
三日月町	小城市立三日月中学校	長神田 1650	昭和 54 年度 (1979 年度)	21,059	5,901	3	単独
牛津町	小城市立牛津中学校	牛津 549	平成 22 年度 (2010 年度)	36,837	10,810	3	単独
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	三王崎 14・16	※小中一貫校のため詳細は小学校に記載				

※取得年度は、主な校舎の取得年度。

※延床面積は、校舎、屋内運動場及び武道場の延床面積の合計。

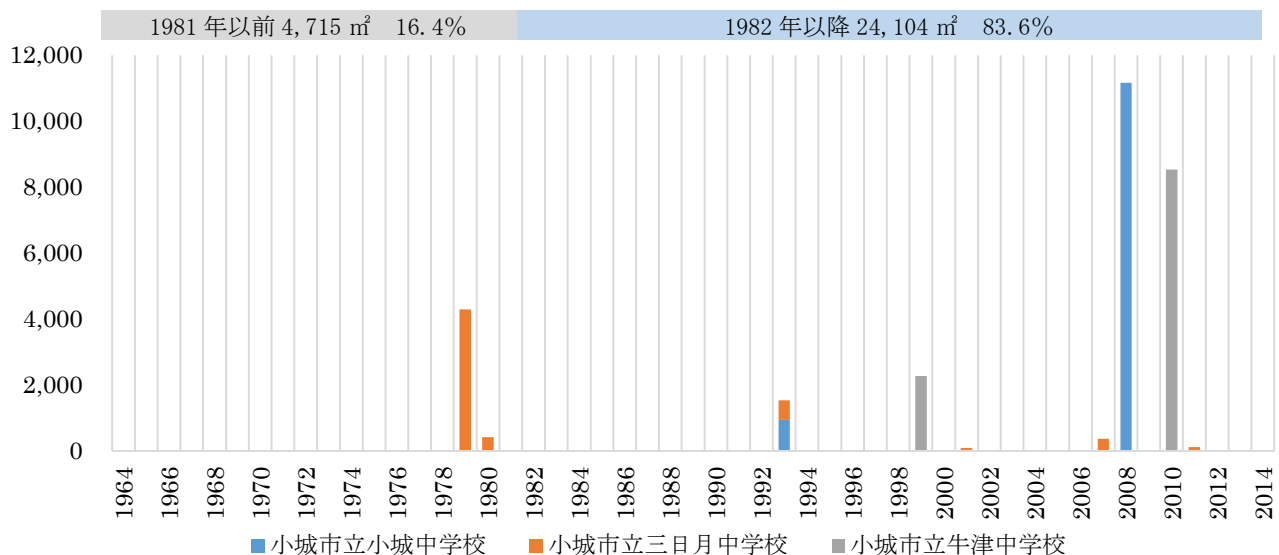
②設置目的

中学校の設置目的は全校共通して「個人の能力を伸ばし社会で自立的に生きる基礎を培い社会人として必要な資質を養う教育を行うため」となっております。

③築年別整備状況

昭和 57 年度 (1982 年度) 以後の新耐震基準の施設が 3 施設中 2 施設となっています。「小城市立三日月中学校」は、昭和 56 年度 (1981 年度) 以前に建設されていますが、平成 19・21 年度 (2007・2009 年度) に既存校舎改修・耐震補強・大規模改造を行っています。

図表 築年別整備状況 (単位: ㎡)



【出典】: 「平成 26 年度固定資産台帳」

④建物状況

各中学校の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

「小城市立三日月中学校」は、平成 21 年度（2009 年度）に耐震補強を行っています。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市立小城中学校	8	8	—	—	—
三日月町	小城市立三日月中学校	13	13	—	—	H21
牛津町	小城市立牛津中学校	7	6	1(プール付属室)	—	—
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	※小中一貫校のため詳細は小学校に記載				

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
小城町	小城市立小城中学校	○	○	○	○	—	—	○	1	—
三日月町	小城市立三日月中学校	○	—	—	—	—	—	○	1	—
牛津町	小城市立牛津中学校	○	—	○	○	—	—	○	4	—
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	※小中一貫校のため詳細は小学校に記載								

⑤老朽化状況

各中学校の老朽化の状況は以下のとおりです。

全施設とも、老朽化比率 60%未満です。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市立小城中学校	平成 20 年度 (2008 年度)	3,160,567,744	47	768,039,831	24.3%
三日月町	小城市立三日月中学校	昭和 54 年度 (1979 年度)	1,113,651,204	47	652,599,605	58.6%
牛津町	小城市立牛津中学校	平成 22 年度 (2010 年度)	2,296,535,046	47	519,016,920	22.6%
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	※小中一貫校のため詳細は小学校に記載				

※耐用年数は、主な校舎の耐用年数。

(2) 利用の実態

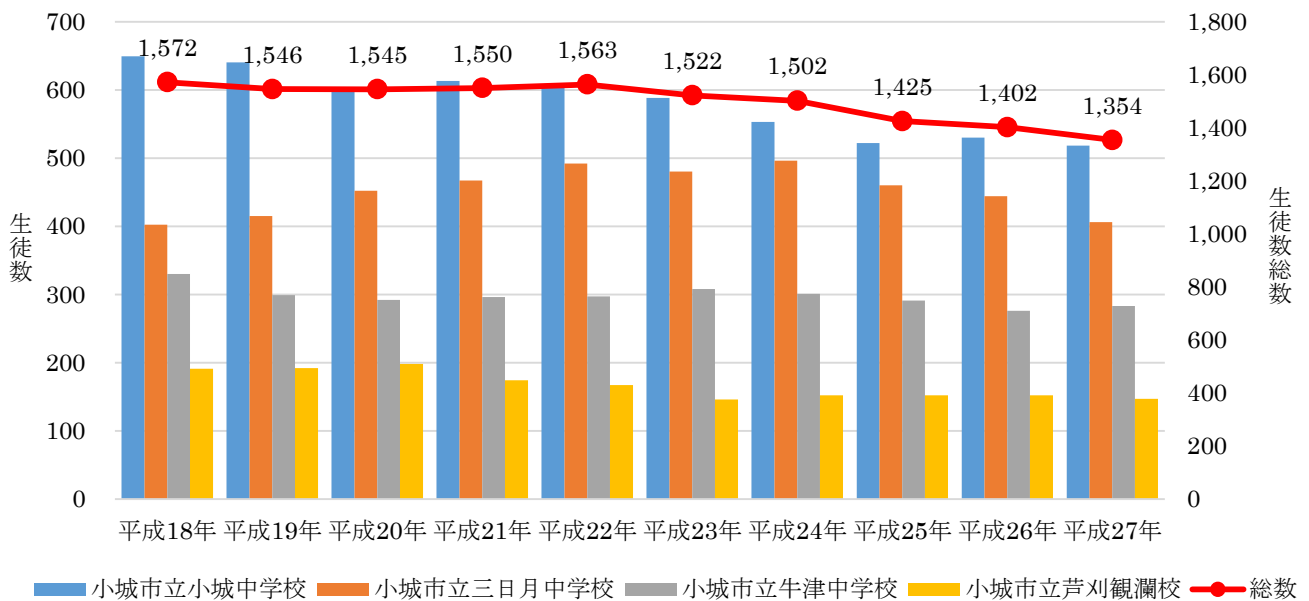
①生徒数

各中学校の生徒数は以下のとおりです。

図表 生徒数

地区	施設名称	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
小城町	小城市立小城中学校	649	640	603	613	607	588	553	522	530	518
三日月町	小城市立三日月中学校	402	415	452	467	492	480	496	460	444	406
牛津町	小城市立牛津中学校	330	299	292	296	297	308	301	291	276	283
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校 (中学生のみ)	191	192	198	174	167	146	152	152	152	147

図表 中学校全体の生徒数推移表 (単位:人)



②諸室状況

各中学校の諸室状況は以下のとおりです。

図表 諸室状況

地区	施設名称	諸室名称	部屋数	延床面積(m ²)
小城町	小城市立小城中学校	普通教室	15	960
		普通教室(特学)	3	227
		体育館	1	1,081
		その他	42	2,745
三日月町	小城市立三日月中学校	普通教室	20	1,268
		普通教室(特学)	4	319
		体育館	2	2,028
		その他	23	2,498
牛津町	小城市立牛津中学校	普通教室	9	567
		普通教室(特学)	4	232
		体育館	1	1,251
		その他	22	2,249
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校 (中学部)	※小中一貫校のため詳細は小学校に記載		

(3) 施設コストの実態

各中学校の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況（単位：千円）

地区	施設名称	平成 26 年度施設費用					総額	生徒数 (人)	生徒 1 人 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	小城市立小城中学校	9,238	11,714	3,400	112,287	1,842	138,481	530	261.3
三日月町	小城市立三日月中学校	4,725	7,634	3,183	25,363	1,966	42,871	444	96.6
牛津町	小城市立牛津中学校	6,513	9,531	2,184	68,666	1,366	88,260	276	319.8
芦刈町	小城市立芦刈観瀾校	4,225	4,400	957	20,859	523	30,964	152	203.7
合 計		24,701	33,279	9,724	227,175	5,697	300,576	1,402	—
平 均		6,175	8,320	2,431	56,794	1,424	75,144	351	214.4

※生徒数は平成 26 年度の人数。

※小城市立芦刈観瀾校の減価償却費は、小学校と中学校で二分しています。

5-3. その他教育施設

(1) 施設概要

①施設一覧

その他教育施設は、全体で2施設あります。小城町に1施設、芦刈町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市学校給食センター	岩藏 1905-1	平成 07 年度(1995 年度)	3,109	1,054	2	単独
芦刈町	小城市芦刈給食センター	三王崎 14	平成 23 年度(2011 年度)	1,158	476	1	単独

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	小城市学校給食センター	小城地区及び三日月地区(小学校を除く)の学校給食の調理業務を一括処理するため
芦刈町	小城市芦刈給食センター	芦刈地区の学校給食の調理業務を一括処理するため

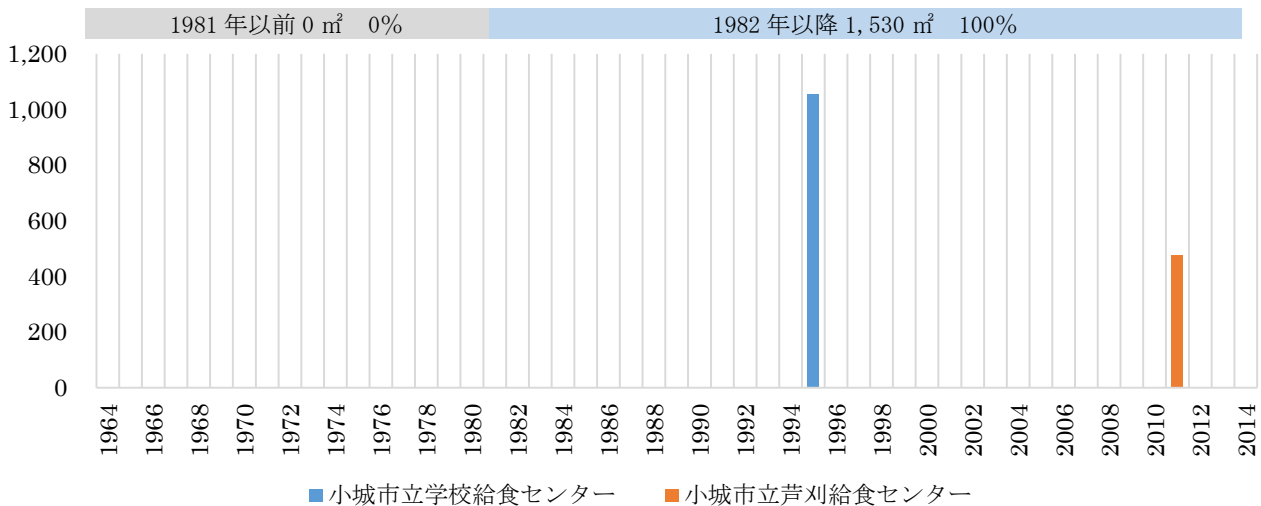
③運営状況

運営形態は2施設とも直営です。

④築年別整備状況

2施設とも昭和57年度(1982年度)以降の建築であり、築後20年未満の比較的新しい施設です。

図表 築年別整備状況(単位:㎡)



【出典】:「平成26年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市学校給食センター	6	6	—	—	—
芦刈町	小城市芦刈給食センター	1	1	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
小城町	小城市学校給食センター	○	—	—	—	—	—	—	—	—
芦刈町	小城市芦刈給食センター	○	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

各施設とも、老朽化比率 60%未満です。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市学校給食センター	平成 07 年度(1995 年度)	522,974,001	41	249,369,936	47.7%
芦刈町	小城市芦刈給食センター	平成 23 年度(2011 年度)	165,591,301	31	23,643,084	14.3%

(2) 利用の実態

各施設の給食提供数は以下のとおりです。

図表 給食提供数 (単位:食/日)

地区	施設名称	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H26 年度/ H22 年度
小城町	小城市学校給食センター	2,680	2,660	2,565	2,563	2,458	0.92
芦刈町	小城市芦刈給食センター	650	600	593	596	569	0.88

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況 (単位:千円)

地区	施設名称	平成 26 年度施設費用					総額	給食 提供数	一食 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	小城市学校給食センター	104,947	20,433	1,789	13,137	3,195	143,501	589,920	0.2
芦刈町	小城市芦刈給食センター	32,342	6,504	370	7,881	148	47,245	136,560	0.3
合計		137,289	26,937	2,159	21,018	3,343	190,746	726,480	—
平均		68,644	13,469	1,079	10,509	1,672	95,373	363,240	0.3

※ 給食提供数は平成 26 年度の食数。

6. 子育て支援施設

子育て支援施設は、「6-1. 保育所」「6-2. 幼稚園」「6-3. 学童保育・児童センター」の3項目について分析を行います。

6-1. 保育所

(1) 施設概要

①施設一覧

保育所は、全体で4施設あります。小城町に3施設、牛津町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市立岩松保育園	岩蔵 1941-4	昭和 58 年度(1983 年度)	5,356	929	1	単独
	小城市立三里保育園	栗原 1240	昭和 54 年度(1979 年度)	2,999	605	1	単独
	小城市立小城保育園	畑田 44	昭和 51 年度(1976 年度)	4,198	744	2	単独
牛津町	小城市立砥川保育園	上砥川 1413-1	平成元年度(1989 年度)	2,944	697	1	単独

※取得年度は、主な園舎の取得年度

②設置目的

各保育所の設置目的は、全園共通して「保育所の児童を心身ともに健やかに育成するため」となっています。

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

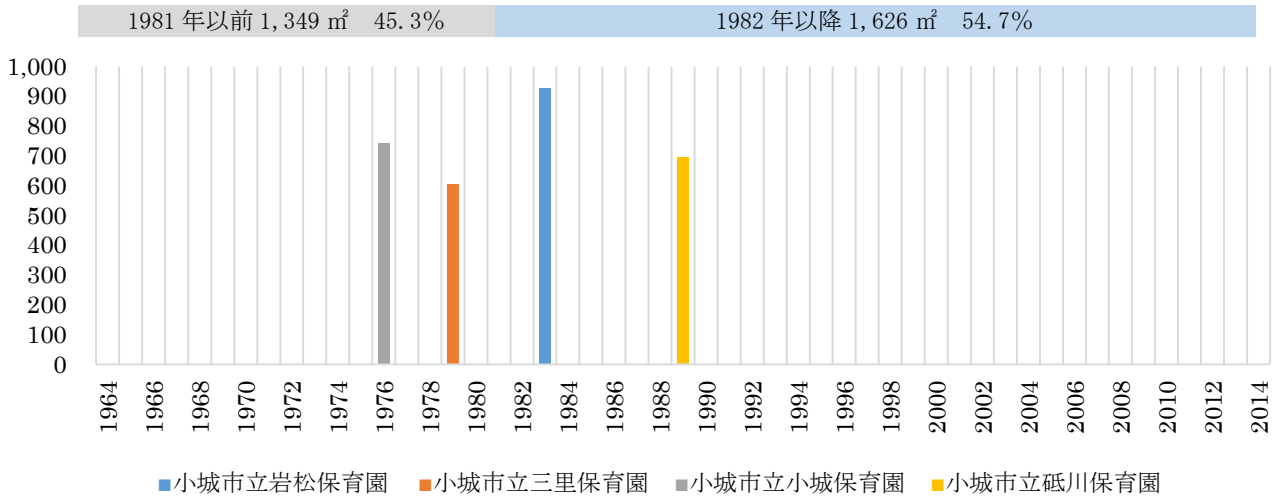
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市立岩松保育園	7:30~19:00	日祝日 12月29日~1月3日	直営	290
	小城市立三里保育園				
	小城市立小城保育園				
牛津町	小城市立砥川保育園				

④築年別整備状況

4 施設中 2 施設が昭和 56 年度（1981 年度）以前に建築されており、「小城市立小城保育園」・「小城市立三里保育園」が該当します。「小城市立岩松保育園」・「小城市立砥川保育園」は、昭和 57 年度（1982 年度）以後の新耐震基準の適合施設です。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城市	小城市立岩松保育園	2	2	—	—	—
	小城市立三里保育園	2	1	1(倉庫)	—	—
	小城市立小城保育園	2	1	1(倉庫)	—	—
牛津町	小城市立砥川保育園	2	2	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
小城市	小城市立岩松保育園	—	—	—	○	—	○	—	—	—
	小城市立三里保育園	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小城市立小城保育園	—	—	—	—	—	—	—	—	—
牛津町	小城市立砥川保育園	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

老朽化の状況は、4施設中、老朽化比率60%以上が2施設、老朽化比率80%以上が2施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市立岩松保育園	昭和58年度(1983年度)	208,427,001	47	143,090,631	68.7%
	小城市立三里保育園	昭和54年度(1979年度)	110,081,100	47	84,608,399	76.9%
	小城市立小城保育園	昭和51年度(1976年度)	164,901,000	47	138,057,479	83.7%
牛津町	小城市立砥川保育園	平成元年度(1989年度)	121,942,007	22	121,942,000	100.0%

※耐用年数は、主な園舎の耐用年数。

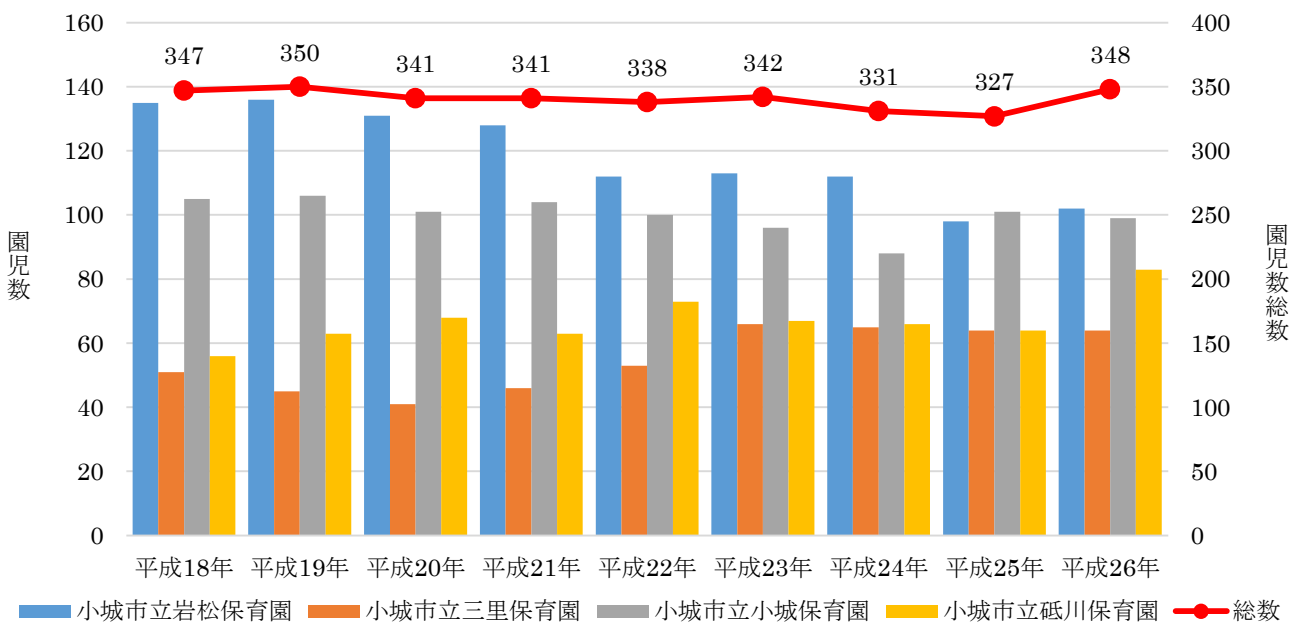
(2) 利用の実態

各施設の園児数は以下のとおりです。

図表 園児数

地区	施設名称	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
小城町	小城市立岩松保育園	135	136	131	128	112	113	112	98	102
	小城市立三里保育園	51	45	41	46	53	66	65	64	64
	小城市立小城保育園	105	106	101	104	100	96	88	101	99
牛津町	小城市立砥川保育園	56	63	68	63	73	67	66	64	83

図表 保育所全体の園児数推移表 (単位:人)



(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況（単位：千円）

地区	施設名称	平成 26 年度施設費用					総額	園児数 (人)	園児 1 人 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	小城市立岩松保育園	29,057	13,540	535	4,639	410	48,181	102	472.4
	小城市立三里保育園	18,983	11,624	464	2,381	575	34,027	64	531.7
	小城市立小城保育園	27,496	15,171	495	3,601	419	47,182	99	476.6
牛津町	小城市立砥川保育園	24,629	12,354	532	0	411	37,926	83	456.9
合 計		100,165	52,689	2,026	10,621	1,815	167,316	348	—
平 均		25,041	13,172	507	2,655	454	41,829	87	480.8

※園児数は平成 26 年度の人数。



6-2. 幼稚園

(1) 施設概要

①施設一覧

幼稚園は、全体で3施設あります。小城町に1施設、三日月町に1施設、芦刈町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大階数	単独複合
小城町	小城市立晴田幼稚園	晴気 793-1	昭和 55 年度 (1980 年度)	5,270	692	1	単独
三日月町	小城市立三日月幼稚園	三ヶ島 88-1	平成 11 年度 (1999 年度)	11,708	1,782	1	単独
芦刈町	小城市立芦刈幼稚園	道免 390-1	昭和 47 年度 (1972 年度)	4,512	995	1	単独

※取得年度は、主な園舎の取得年度

②設置目的

各幼稚園の設置目的は全園共通して「幼児教育の推進を行う」となっています。

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

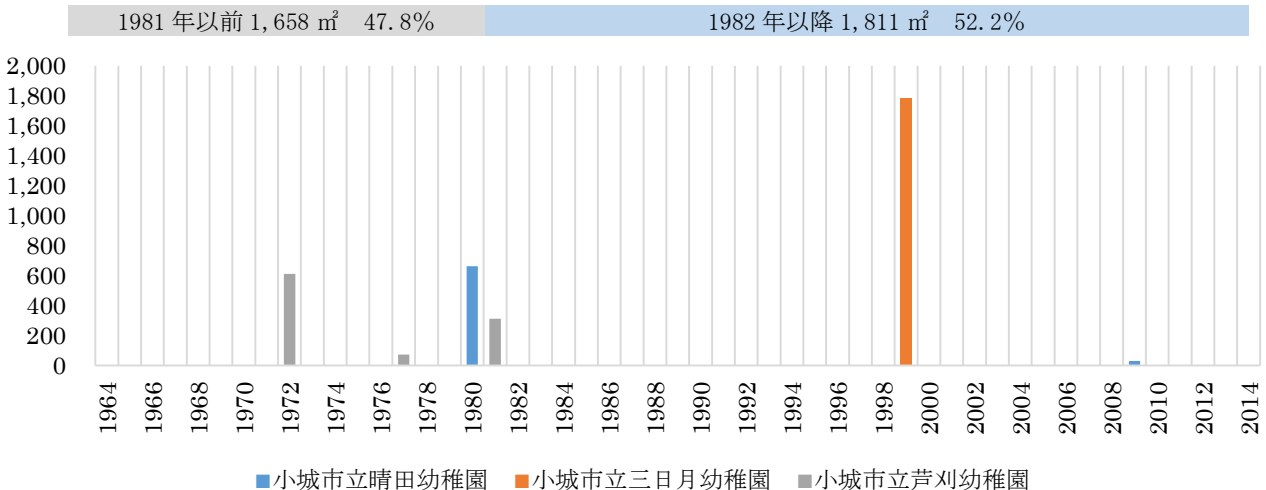
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市立晴田幼稚園	8:30~14:00	土日祝 4月1日~4月5日 7月21日~8月31日 12月25日~1月7日 3月25日~3月31日	直営	200
三日月町	小城市立三日月幼稚園				
芦刈町	小城市立芦刈幼稚園				

④築年別整備状況

昭和 56 年度 (1981 年度) 以前の旧耐震基準の施設が 3 施設中 2 施設、昭和 57 年度 (1982 年度) 以後の新耐震基準の施設が 1 施設となっています。

図表 築年別整備状況 (単位: ㎡)



⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

「小城市立芦刈幼稚園」は、平成 21 年度（2009 年度）に耐震補強を実施しています。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市立晴田幼稚園	4	4	—	—	—
三日月町	小城市立三日月幼稚園	11	11	—	—	—
芦刈町	小城市立芦刈幼稚園	6	6	—	—	H21

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
小城町	小城市立晴田幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三日月町	小城市立三日月幼稚園	○	—	—	○	—	—	○	2	—
芦刈町	小城市立芦刈幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

老朽化の状況は、3 施設中、老朽化比率 60%以上が 2 施設、老朽化比率 80%以上が 1 施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市立晴田幼稚園	昭和 55 年度 (1980 年度)	191,239,050	47	141,379,933	73.9%
三日月町	小城市立三日月幼稚園	平成 11 年度 (1999 年度)	541,181,632	22	369,085,873	68.2%
芦刈町	小城市立芦刈幼稚園	昭和 47 年度 (1972 年度)	229,674,000	47	197,015,852	85.8%

※耐用年数は、主な園舎の耐用年数。

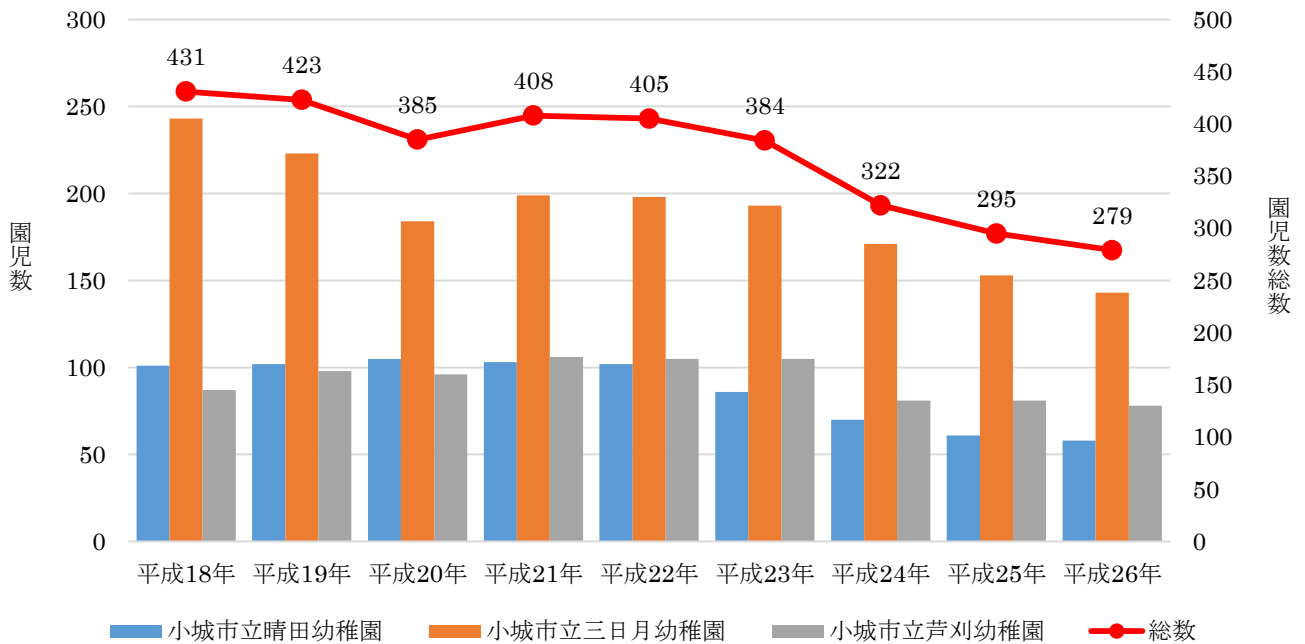
(2) 利用の実態

各施設の園児数は以下のとおりです。
全体的に減少傾向にあります。

図表 園児数

地区	施設名称	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
小城町	小城市立晴田幼稚園	101	102	105	103	102	86	70	61	58
三日月町	小城市立三日月幼稚園	243	223	184	199	198	193	171	153	143
芦刈町	小城市立芦刈幼稚園	87	98	96	106	105	105	81	81	78

図表 幼稚園全体の園児数推移表（単位：人）



(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況（単位：千円）

地区	施設名称	平成26年度施設費用					総額	園児数(人)	園児1人当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	小城市立晴田幼稚園	1,820	1,108	115	4,137	609	7,789	61	127.7
三日月町	小城市立三日月幼稚園	4,478	2,865	332	23,526	1,319	32,520	153	212.6
芦刈町	小城市立芦刈幼稚園	1,929	1,650	161	4,991	236	8,967	81	110.7
合計		8,227	5,623	608	32,654	2,164	49,276	295	—
平均		2,742	1,874	203	10,885	721	16,425	98	167.0

※園児数は平成26年度の人数。

6-3. 学童保育・児童センター

(1) 施設概要

①施設一覧

学童保育・児童センターは、全体で5施設あります。小城町に1施設、三日月町に3施設、牛津町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	桜岡第1、第2放課後児童クラブ	(小城町)166	平成25年度(2013年度)	小学校内	185	1	単独
三日月町	三日月第1放課後児童クラブ	長神田1692-1	平成16年度(2004年度)	324	132	1	単独
	三日月第2放課後児童クラブ	長神田1683	平成26年度(2014年度)	小学校内	129	1	単独
	小城市児童センター(ゆうゆう三日月)	長神田1821-1	平成15年度(2003年度)	3,156	740	1	単独
牛津町	牛津第1、第2放課後児童クラブ	柿樋瀬922	平成25年度(2013年度)	小学校内	177	1	単独

※専用施設がある放課後児童クラブのみ掲載。

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	桜岡第1、第2放課後児童クラブ	小学校に就学している児童の保護者が、就労等により児童を保育できない場合に、授業の終了後及び夏季休業等の学校休業日に、家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るため
三日月町	三日月第1放課後児童クラブ	遊びを通した子どもの健全育成、子育て家庭支援、地域活動促進
	三日月第2放課後児童クラブ	
	小城市児童センター(ゆうゆう三日月)	
牛津町	牛津第1、第2放課後児童クラブ	小学校に就学している児童の保護者が、就労等により児童を保育できない場合に、授業の終了後及び夏季休業等の学校休業日に、家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るため

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
小城町	桜岡第1、第2放課後児童クラブ	8:30~19:00	日祝日 8月13日~8月15日 12月29日~1月3日	委託	291
三日月町	三日月第1放課後児童クラブ				
		三日月第2放課後児童クラブ	10:00~19:00	火・毎月第2木	直営
	小城市児童センター(ゆうゆう三日月)				
牛津町	牛津第1、第2放課後児童クラブ	8:30~19:00	日祝日 8月13日~8月15日 12月29日~1月3日	委託	291

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	桜岡第1、第2放課後児童クラブ	平成25年度(2013年度)	29,781,631	27	1,471,924	4.9%
三日月町	三日月第1放課後児童クラブ	平成16年度(2004年度)	15,855,000	22	7,293,300	46.0%
	三日月第2放課後児童クラブ	平成26年度(2014年度)	21,057,086	22	0	0.0%
	小城市児童センター(ゆうゆう三日月)	平成15年度(2003年度)	311,336,000	34	102,740,880	33.0%
牛津町	牛津第1、第2放課後児童クラブ	平成25年度(2013年度)	29,223,600	34	1,458,869	5.0%

(2) 利用の実態

各施設の利用状況は以下のとおりです。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H26年度／ H22年度	H26開館日 平均(人)
小城町	桜岡第1、第2放課後児童クラブ	—	—	—	—	13,985	—	48.1
三日月町	三日月第1放課後児童クラブ	11,289	12,176	12,215	10,545	11,662	1.03	40.1
	三日月第2放課後児童クラブ	—	—	—	—	—	—	—
	小城市児童センター(ゆうゆう三日月)	23,329	21,431	21,346	21,700	22,301	0.96	76.9
牛津町	牛津第1、第2放課後児童クラブ	—	—	—	—	14,599	—	50.2

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況(単位:千円)

地区	施設名称	平成26年度施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	桜岡第1、第2放課後児童クラブ	13,255	1,387	86	1,472	6,446	22,646	178	127.2
三日月町	三日月第1放課後児童クラブ	9,830	1,029	64	729	4,780	16,432	132	124.5
	三日月第2放課後児童クラブ	9,607	1,005	63	0	4,671	15,346	129	119.0
	小城市児童センター(ゆうゆう三日月)	18,091	4,774	811	9,340	2,117	35,133	740	47.5
牛津町	牛津第1、第2放課後児童クラブ	13,255	1,387	86	1,458	6,446	22,632	177	127.9
合計		64,038	9,582	1,110	12,999	24,460	112,189	1,356	—
平均		12,808	1,916	222	2,600	4,892	22,438	271	82.7

7. 保健福祉施設

7-1. 保健福祉施設

(1) 施設概要

①施設一覧

保健福祉施設は、全体で6施設あります。小城町に2施設、三日月町に2施設、牛津町に1施設、芦刈町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市授産場	畑田 35-1	昭和 43 年度 (1968 年度)	3,297	737	2	単独
	小城市小城保健福祉センター(桜楽館)	畑田 750	平成 14 年度 (2002 年度)	10,541	3,251	1	単独
三日月町	三日月生きがいデイサービスセンター(きらら)	甲柳原 68-1	平成 12 年度 (2000 年度)	9,632	287	1	単独
	小城市三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	長神田 2321-3	平成 16 年度 (2004 年度)	3,453	2,742	2	単独
牛津町	小城市牛津保健福祉センター(アイル)	勝 1221-1	平成 14 年度 (2002 年度)	10,956	4,196	1	単独
芦刈町	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)	三王崎 1522	平成 08 年度 (1996 年度)	7,063	2,851	1	単独

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	小城市授産場	身体上若しくは精神上の理由又は要保護者に対する授産施設
	小城市小城保健福祉センター(桜楽館)	市民の健康保持と市民相互の交流を図るとともに保健福祉の増進に寄与するため
三日月町	三日月生きがいデイサービスセンター(きらら)	要援護高齢者及び一人暮らし高齢者等の介護予防及び健康増進を図り、その自立及び充実した生きがいのある生活を支援するための拠点施設として、デイサービスセンターを設置する
	小城市三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	
牛津町	小城市牛津保健福祉センター(アイル)	市民の健康保持と市民相互の交流を図るとともに保健福祉の増進に寄与するため
芦刈町	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)	

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

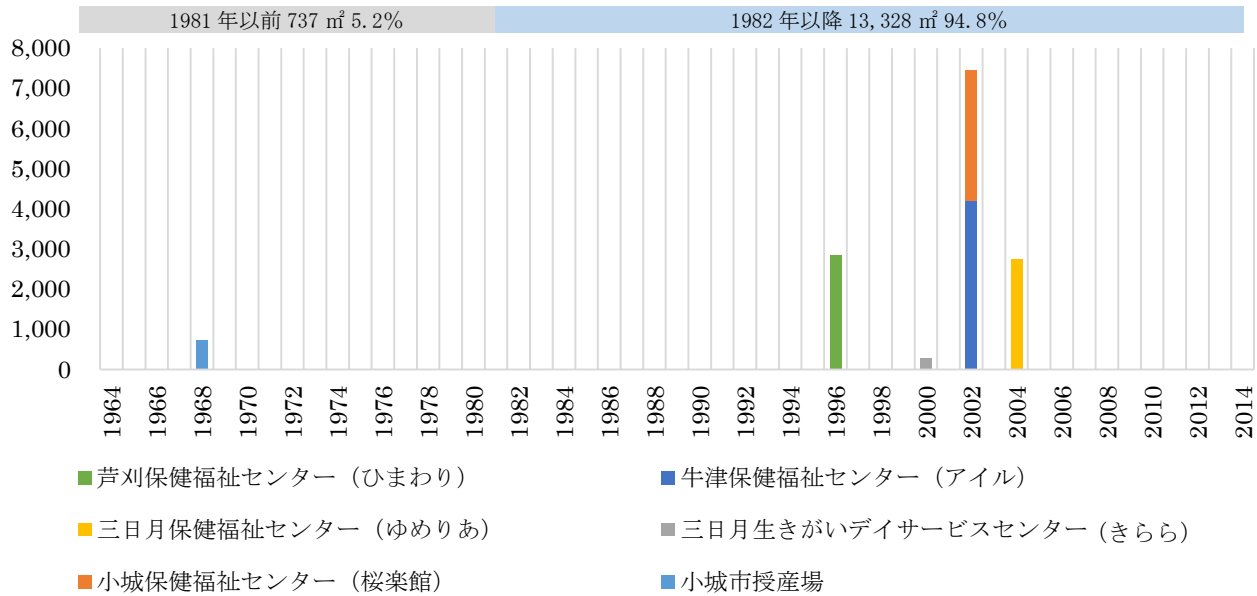
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市授産場	8:30~17:15	土日祝	直営	240
	小城市小城保健福祉センター(桜楽館)	10:00~19:00	毎月第2土・日 12月29日~1月4日	指定管理	334
三日月町	三日月生きがいデイサービスセンター(きらら)	9:00~17:00	土日 8月14日~8月15日 12月29日~1月3日		254
	小城市三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	10:00~21:30	毎月第3月・火 12月29日~1月1日		337
牛津町	小城市牛津保健福祉センター(アイル)	10:00~21:30	毎月第2月・火 12月29日~1月1日		
芦刈町	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)	10:00~19:00	毎月第4土・日 12月29日~1月4日		334

④築年別整備状況

昭和 56 年度（1981 年度）以前の旧耐震基準の施設が 1 施設、昭和 57 年度（1982 年度）以後の新耐震基準の施設が 5 施設となっています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強 実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城市	小城市授産場	2	—	—	2	—
	小城市小島保健福祉センター(桜楽館)	2	2	—	—	—
三日月町	三日月生きがいデイサービスセンター(きらら)	1	1	—	—	—
	小城市三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	1	1	—	—	—
牛津町	小城市牛津保健福祉センター(アイル)	5	5	—	—	—
芦刈町	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)	3	3	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
小城市	小城市授産場	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小城市小島保健福祉センター(桜楽館)	○	○	—	○	○	○	○	4	○
三日月町	三日月生きがいデイサービスセンター(きらら)	○	—	—	○	—	—	—	—	—
	小城市三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	○	○	○	○	○	○	○	5	○
牛津町	小城市牛津保健福祉センター(アイル)	○	○	—	○	○	○	○	9	○
芦刈町	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)	○	○	—	○	○	○	○	2	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

老朽化の状況は、6施設中、老朽化比率60%以上が1施設、老朽化比率80%以上が1施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市授産場	昭和43年度(1968年度)	127,718,000	31	127,717,998	100.0%
	小城市小城保健福祉センター(桜楽館)	平成14年度(2002年度)	893,239,000	47	243,287,160	27.2%
三日月町	三日月生きがいデイサービスセンター(きらら)	平成12年度(2000年度)	71,526,000	34	46,498,200	65.0%
	小城市三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	平成16年度(2004年度)	870,923,655	47	191,603,200	22.0%
牛津町	小城市牛津保健福祉センター(アイル)	平成14年度(2002年度)	1,312,915,000	47	379,124,076	28.9%
芦刈町	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)	平成08年度(1996年度)	1,034,176,000	47	419,535,288	40.6%

(2) 利用の実態

各施設の利用状況は以下のとおりです。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H26年度/H22年度	H26開館日平均(人)
小城町	小城市授産場	—	—	—	—	—	—	—
	小城市小城保健福祉センター(桜楽館)	64,699	69,438	69,711	65,542	69,007	1.07	206.6
三日月町	三日月生きがいデイサービスセンター(きらら)	2,992	2,773	2,406	1,793	1,699	0.57	6.7
	小城市三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	92,174	105,618	90,829	104,613	110,010	1.19	326.4
牛津町	小城市牛津保健福祉センター(アイル)	189,090	174,428	169,865	162,031	162,049	0.86	480.9
芦刈町	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)	21,112	25,998	22,345	19,752	23,226	1.10	69.5

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況(単位:千円)

地区	施設名称	平成26年度施設費用					総額	延床面積(m ²)	1m ² 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	小城市授産場	—	—	—	—	—	—	737	—
	小城市小城保健福祉センター(桜楽館)	1,747	0	39	20,234	2,376	24,396	3,251	7.5
三日月町	三日月生きがいデイサービスセンター(きらら)	1,124	0	81	3,321	7,397	11,923	287	41.5
	小城市三日月保健福祉センター(ゆめりあ)	3,372	363	37	19,160	2,429	25,361	2,742	9.2
牛津町	小城市牛津保健福祉センター(アイル)	3,866	523	45	31,594	9,384	45,412	4,196	10.8
芦刈町	小城市芦刈保健福祉センター(ひまわり)	1,732	0	809	23,308	3,513	29,362	2,581	11.4
合計		11,841	886	1,011	97,617	25,099	136,454	13,794	—
平均		2,368	177	202	19,523	5,020	27,291	2,611	10.5

※小城市授産場は、費用が一般会計と特別会計に跨るため省略し、平均には含めていません。

8. 行政施設

8-1. 庁舎等

(1) 施設概要

①施設一覧

庁舎等は、三日月町に2施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	長神田 2312-2	平成 24 年度(2012 年度)	17,416	6,856	3	単独
	小城市庁舎別館	長神田 2312-6	昭和 58 年度(1983 年度)	1,012	1,417	2	単独

※市庁舎の取得年度は、本庁舎として東館の改修及び西館を建設した年度

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	小城市役所本庁舎として
	小城市庁舎別館	

③運営状況

各施設の運営状況は以下のとおりです。

図表 運営状況

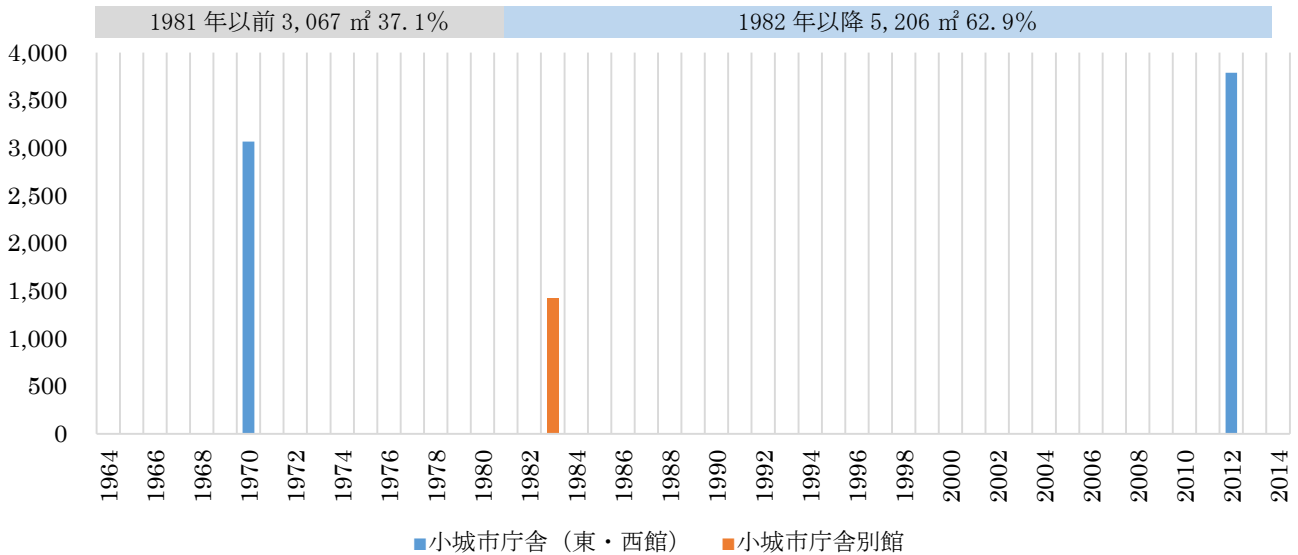
地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	8:30~17:15	土日祝・年末年始	直営	240
	小城市庁舎別館				

④築年別整備状況

各施設の築年別整備状況については以下のとおりです。

「小城市庁舎（東・西館）」は、平成 24 年度（2012 年度）に東館の改修・西館の増築をしています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	8	8	—	—	—
	小城市庁舎別館	1	1	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	○	○	○	○	○	○	○	4	○
	小城市庁舎別館	—	—	—	○	○	○	—	—	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

老朽化の状況は、2 施設中、老朽化比率 60%以上が 1 施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	平成 24 年度(2012 年度)	2,013,981,123	38	463,215,658	23.0%
	小城市庁舎別館	昭和 58 年度(1983 年度)	291,392,000	31	216,138,097	74.2%

※市庁舎の耐用年数は、西館の耐用年数。

(2) 利用の実態

①利用状況

各施設の利用状況は以下のとおりです。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H26 年度／ H22 年度	H26 開館日 平均 (人)
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	—	—	—	38,213	37,189	—	155.0
	小城市庁舎別館	—	—	—	—	13,608	—	56.7

②稼働状況

各施設の稼働状況については以下のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出 可能数	年間 貸出数	稼働率 (%)	年間利用 人数
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	2-1 会議室	30	18	—	—	—	—
		2-2 会議室	27	18	—	—	—	—
		2-3 会議室	20	12	—	—	—	—
		2-4 会議室	30	18	—	—	—	—
		2-5 会議室	42	24	—	—	—	—
		2-6 会議室	54	30	—	—	—	—
		大会議室	274	138	—	—	—	—
		防災対策室	76	14	—	—	—	—
		教育委員会室	35	20	—	—	—	—
		1-1 会議室	22	15	—	—	—	—
		1-2 会議室	18	10	—	—	—	—
		委員会室	86	40	—	—	—	—
		議場	272	80	—	—	—	—
		土地改良区	40	6	365	365	100	—
	佐賀西部土地改良区	16	4	365	365	100	—	
	小城市観光協会	8	7	365	365	100	—	
	小城市職員労働組合	23	1	365	365	100	—	
	小城市庁舎別館	北部地域包括	43	—	365	365	100	—
		社協	41	—	365	365	100	—
		食改	11	—	365	365	100	—
		ボランティア	29	—	365	365	100	—
		老人クラブ	18	—	365	365	100	—
		手をつなぐ育成会	29	—	365	365	100	—
		婦人会	28	—	365	365	100	—
		保護司会	34	—	365	365	100	—
		民生委員	24	—	365	365	100	—
		第1 会議室	36	15	240	101	42	906
第2 会議室		56	30	240	108	46	1,817	
子ども支援センター		34	—	365	365	100	—	
適応指導教室		89	—	365	365	100	—	
倉庫 (ステージ)	42	—	365	365	100	—		
【夜間】多目的ホール	322	50	359	549	153	10,885		

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況 (単位：千円)

地区	施設名称	平成26年度施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
三日月町	小城市庁舎(東・西館)	12,852	18,424	12,160	79,476	1,045	123,957	6,856	18.1
	小城市庁舎別館	2,656	3,808	2,513	3,729	216	12,922	1,417	9.1
	合 計	15,508	22,232	14,673	83,205	1,261	136,879	8,273	—
	平 均	7,754	11,116	7,336	41,603	630	68,439	4,137	16.5



8-2. 防災施設

(1) 施設概要

①施設一覧

消防・水防施設は、全体で51施設あります。小城町に22施設、三日月町に11施設、牛津町に8施設、芦刈町に10施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	消防格納庫小城第1分団第1部	(小城町)494番地1	昭和63年度(1988年度)	53	2	単独
	消防格納庫小城第1分団第2部	(小城町)57番地8	平成01年度(1989年度)	53	2	単独
	消防格納庫小城第1分団第3部	(小城町)116番地	平成01年度(1989年度)	51	2	単独
	消防格納庫小城第1分団第4部	松尾4104番地4	昭和63年度(1988年度)	53	2	単独
	消防格納庫小城第2分団第1部	松尾3596番地1	平成02年度(1990年度)	56	2	単独
	消防格納庫小城第2分団第2部	松尾3923番地2	平成01年度(1989年度)	57	2	単独
	消防格納庫小城第2分団第3部	松尾3404番地1	昭和62年度(1987年度)	57	2	単独
	消防格納庫小城第2分団第4部	岩蔵2348番地7	平成01年度(1989年度)	52	1	単独
	消防格納庫小城第2分団石体班	岩蔵5670番地1	昭和63年度(1988年度)	32	1	単独
	消防格納庫小城第2分団江里山班	岩蔵4768番地	昭和51年度(1976年度)	16	1	単独
	消防格納庫小城第3分団第1部	船田225番地7	昭和63年度(1988年度)	56	2	単独
	消防格納庫小城第3分団第2部	晴気429番地2	平成01年度(1989年度)	47	1	単独
	消防格納庫小城第3分団第3部	晴気2132番地	昭和62年度(1987年度)	45	2	単独
	消防格納庫小城第3分団第4部	晴気2900番地3	昭和62年度(1987年度)	45	1	単独
	消防格納庫小城第3分団川内桑鶴班	晴気4040番地2	平成02年度(1990年度)	26	1	単独
	消防格納庫小城第4分団第1部	池上2921番地5	平成01年度(1989年度)	51	2	単独
	消防格納庫小城第4分団第2部	池上1989番地1	平成12年度(2000年度)	45	2	単独
	消防格納庫小城第4分団第3部	池上3596番地2	平成02年度(1990年度)	36	2	単独
	消防格納庫小城第4分団第4部	畑田1090番地1	昭和62年度(1987年度)	54	1	単独
出分水防倉庫	晴気1275番地2	昭和50年度(1975年度)	22	1	単独	
砂田水防倉庫	畑田674番地2地先	昭和50年度(1975年度)	32	1	単独	
上右原水防倉庫	池上484番地1	昭和50年度(1975年度)	17	1	単独	
三日月町	消防格納庫三日月第1分団第1部	織島1729番地3	昭和52年度(1977年度)	36	1	単独
	消防格納庫三日月第1分団第2部	織島4083番地2	昭和58年度(1983年度)	34	1	単独
	消防格納庫三日月第1分団第3部	道辺1431番地1	昭和56年度(1981年度)	35	1	単独
	消防格納庫三日月第2分団第1部	堀江1479番地5	昭和54年度(1979年度)	26	1	単独
	消防格納庫三日月第2分団第2部	金田1128番地12	昭和53年度(1978年度)	41	1	単独
	消防格納庫三日月第2分団第3部	樋口963番地5	昭和56年度(1981年度)	33	1	単独
	消防格納庫三日月第3分団第1部	長神田2312番地2	昭和58年度(1983年度)	26	1	複合
	消防格納庫三日月第3分団第2部	(小城町)1番地5	昭和52年度(1977年度)	26	1	単独
	消防格納庫三日月第3分団第3部	長神田503番地1	昭和57年度(1982年度)	32	1	単独
消防格納庫三日月第3分団第4部	久米955番地3	昭和54年度(1979年度)	26	1	単独	
芦田水防倉庫	道辺1569番地4	昭和50年度(1975年度)	26	1	単独	
牛津町	消防格納庫牛津第1分団第1部	牛津803番地5	平成02年度(1990年度)	63	1	単独
	消防格納庫牛津第1分団第2部	柿樋瀬1133番地17	平成02年度(1990年度)	53	1	単独
	消防格納庫牛津第1分団第3部	勝743番地5	平成09年度(1997年度)	31	1	単独
	消防格納庫牛津第1分団第4部	柿樋瀬167番地1	平成02年度(1990年度)	40	1	単独
	消防格納庫牛津第2分団第1部	上砥川440番地	平成02年度(1990年度)	43	1	単独
	消防格納庫牛津第2分団第2部	上砥川1402番地7	平成02年度(1990年度)	49	1	単独
	消防格納庫牛津第2分団第3部	下砥川158番地1	平成02年度(1990年度)	41	1	単独
上砥川水防倉庫	上砥川1402番地6	昭和50年度(1975年度)	26	1	単独	
芦刈町	消防格納庫芦刈第1分団第1部	浜枝川493番地2	昭和53年度(1978年度)	31	1	単独
	消防格納庫芦刈第1分団第2部	芦溝643番地2	昭和54年度(1979年度)	56	1	単独
	消防格納庫芦刈第1分団第3部	道免39番地10	昭和54年度(1979年度)	54	1	単独
	消防格納庫芦刈第2分団第1部	三王崎855番地1	詳細不明	52	1	複合
	消防格納庫芦刈第2分団第2部	三王崎318番地6	昭和56年度(1981年度)	50	1	単独
	消防格納庫芦刈第2分団第3部	道免591番地	昭和54年度(1979年度)	52	1	単独
	消防格納庫芦刈第3分団第1部	永田391番地1	平成03年度(1991年度)	51	1	単独
	消防格納庫芦刈第3分団第2部	永田1197番地	昭和60年度(1985年度)	37	2	単独
	消防格納庫芦刈第3分団第3部	永田2585番地16	昭和53年度(1978年度)	29	1	単独
旧三条排水機場(水防倉庫)	三王崎2387番地1	昭和50年度(1975年度)	145	1	単独	

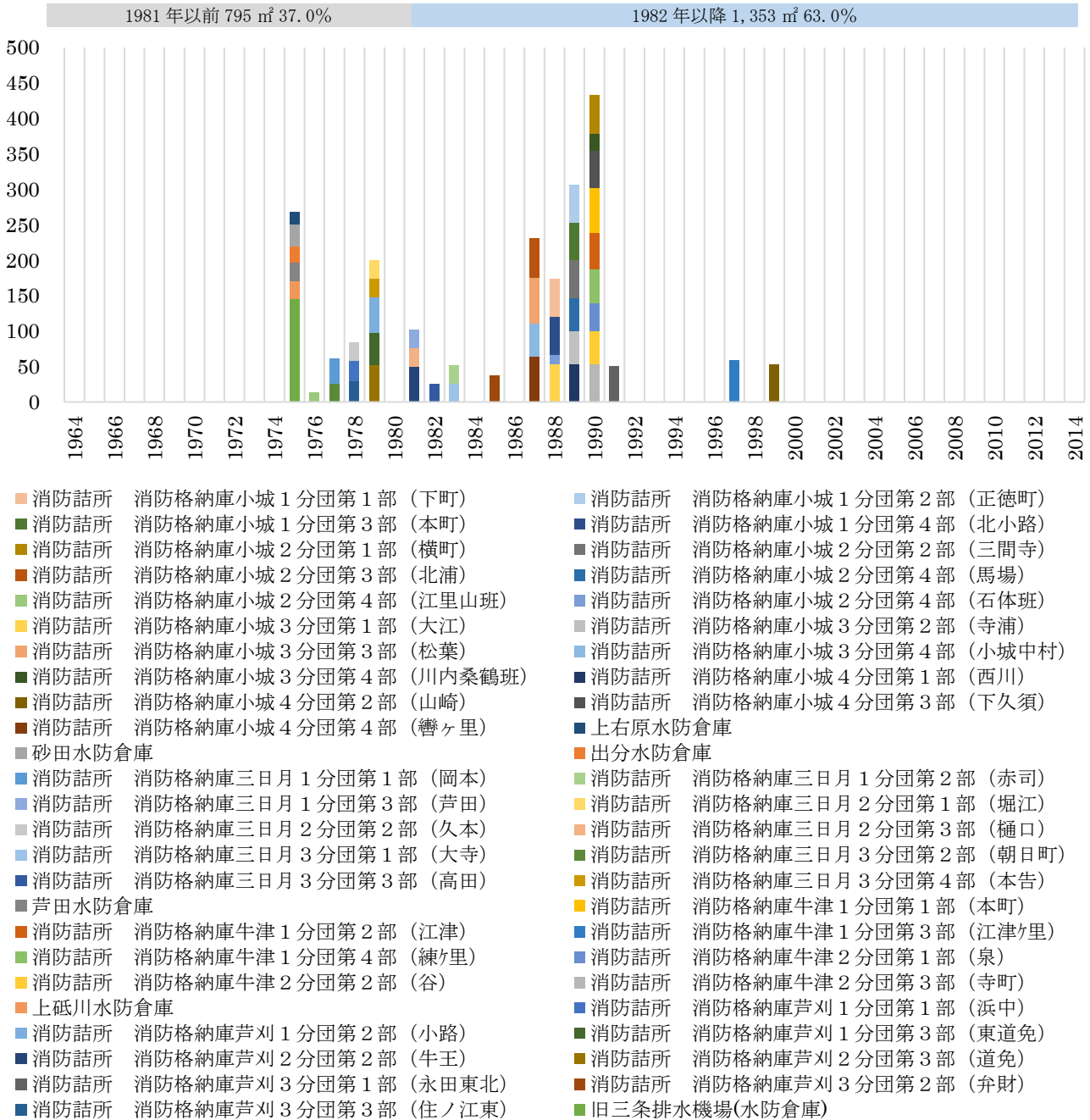
②設置目的

防災施設の設置目的は、「市民の生命、身体、財産を守るため」となっています。

③築年別整備状況

昭和 56 年度（1981 年度）以前の旧耐震基準の施設が 21 施設、昭和 57 年度（1982 年度）以後の新耐震基準の施設が 30 施設となっています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

④建物状況

各施設の耐震診断は以下のとおりです。

図表 建物状況

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	消防格納庫小城第1分団第1部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第1分団第2部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第1分団第3部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第1分団第4部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第2分団第1部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第2分団第2部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第2分団第3部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第2分団第4部	1	—	—	1	—
	消防格納庫小城第2分団石体班	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第2分団江里山班	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第3分団第1部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第3分団第2部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第3分団第3部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第3分団第4部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第3分団川内桑鶴班	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第4分団第1部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第4分団第2部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第4分団第3部	1	1	—	—	—
	消防格納庫小城第4分団第4部	1	1	—	—	—
	出分水防倉庫	1	—	1	—	—
砂田水防倉庫	1	—	1	—	—	
上右原水防倉庫	1	—	1	—	—	
三日月町	消防格納庫三日月第1分団第1部	1	—	—	1	—
	消防格納庫三日月第1分団第2部	1	1	—	—	—
	消防格納庫三日月第1分団第3部	1	—	—	1	—
	消防格納庫三日月第2分団第1部	1	—	—	1	—
	消防格納庫三日月第2分団第2部	1	—	—	1	—
	消防格納庫三日月第2分団第3部	1	—	—	1	—
	消防格納庫三日月第3分団第1部	1	1	—	—	—
	消防格納庫三日月第3分団第2部	1	—	—	1	—
	消防格納庫三日月第3分団第3部	1	1	—	—	—
	消防格納庫三日月第3分団第4部	1	—	—	1	—
芦田水防倉庫	1	—	1	—	—	
牛津町	消防格納庫牛津第1分団第1部	1	—	—	1	—
	消防格納庫牛津第1分団第2部	1	—	—	1	—
	消防格納庫牛津第1分団第3部	1	1	—	—	—
	消防格納庫牛津第1分団第4部	1	—	—	1	—
	消防格納庫牛津第2分団第1部	1	—	—	1	—
	消防格納庫牛津第2分団第2部	1	—	—	1	—
	消防格納庫牛津第2分団第3部	1	—	—	1	—
	上砥川水防倉庫	1	—	1	—	—
芦刈町	消防格納庫芦刈第1分団第1部	1	—	—	1	—
	消防格納庫芦刈第1分団第2部	1	—	—	1	—
	消防格納庫芦刈第1分団第3部	1	—	—	1	—
	消防格納庫芦刈第2分団第1部	詳細不明			—	—
	消防格納庫芦刈第2分団第2部	1	—	—	1	—
	消防格納庫芦刈第2分団第3部	1	—	—	1	—
	消防格納庫芦刈第3分団第1部	1	1	—	—	—
	消防格納庫芦刈第3分団第2部	1	1	—	—	—
	消防格納庫芦刈第3分団第3部	1	—	1	—	—
旧三条排水機場(水防倉庫)	1	—	—	1	—	

⑤老朽化状況

各施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

老朽化の状況は、51 施設中、老朽化比率 60%以上が 31 施設、老朽化比率 80%以上が 18 施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率	
小城市	消防格納庫小城第1分団第1部	昭和63年度(1988年度)	8,480,000	38	5,952,960	70.2%	
	消防格納庫小城第1分団第2部	平成01年度(1989年度)	8,480,000	38	5,724,000	67.5%	
	消防格納庫小城第1分団第3部	平成01年度(1989年度)	8,480,000	38	5,724,000	67.5%	
	消防格納庫小城第1分団第4部	昭和63年度(1988年度)	8,480,000	38	5,952,960	70.2%	
	消防格納庫小城第2分団第1部	平成02年度(1990年度)	8,640,000	38	5,598,720	64.8%	
	消防格納庫小城第2分団第2部	平成01年度(1989年度)	8,480,000	38	5,724,000	67.5%	
	消防格納庫小城第2分団第3部	昭和62年度(1987年度)	8,800,000	38	6,415,200	72.9%	
	消防格納庫小城第2分団第4部	平成01年度(1989年度)	2,240,000	38	2,239,999	100.0%	
	消防格納庫小城第2分団石体班	昭和63年度(1988年度)	2,240,000	38	1,572,480	70.2%	
	消防格納庫小城第2分団江里山班	昭和51年度(1976年度)	7,520,000	38	5,076,000	67.5%	
	消防格納庫小城第3分団第1部	昭和63年度(1988年度)	8,480,000	38	5,952,960	70.2%	
	消防格納庫小城第3分団第2部	平成01年度(1989年度)	7,520,000	38	5,076,000	67.5%	
	消防格納庫小城第3分団第3部	昭和62年度(1987年度)	7,605,000	41	5,133,375	67.5%	
	消防格納庫小城第3分団第4部	昭和62年度(1987年度)	7,520,000	38	5,482,080	72.9%	
	消防格納庫小城第3分団川内桑鶴班	平成02年度(1990年度)	3,840,000	38	2,488,320	64.8%	
	消防格納庫小城第4分団第1部	平成01年度(1989年度)	8,480,000	38	5,724,000	67.5%	
	消防格納庫小城第4分団第2部	平成12年度(2000年度)	8,480,000	38	3,434,400	40.5%	
	消防格納庫小城第4分団第3部	平成02年度(1990年度)	8,480,000	38	5,495,040	64.8%	
	消防格納庫小城第4分団第4部	昭和62年度(1987年度)	10,240,000	38	7,464,960	72.9%	
	出分水防倉庫	昭和50年度(1975年度)	2,576,000	34	2,575,999	100.0%	
砂田水防倉庫	昭和50年度(1975年度)	3,584,000	34	3,583,999	100.0%		
上右原水防倉庫	昭和50年度(1975年度)	1,904,000	34	1,903,999	100.0%		
三日月町	消防格納庫三日月第1分団第1部	昭和52年度(1977年度)	4,289,000	50	3,173,860	74.0%	
	消防格納庫三日月第1分団第2部	昭和58年度(1983年度)	5,418,000	50	3,359,160	62.0%	
	消防格納庫三日月第1分団第3部	昭和56年度(1981年度)	5,418,000	50	3,575,880	66.0%	
	消防格納庫三日月第2分団第1部	昭和54年度(1979年度)	5,418,000	50	3,792,600	70.0%	
	消防格納庫三日月第2分団第2部	昭和53年度(1978年度)	5,418,000	50	3,900,960	72.0%	
	消防格納庫三日月第2分団第3部	昭和56年度(1981年度)	5,418,000	50	3,575,880	66.0%	
	消防格納庫三日月第3分団第1部	昭和58年度(1983年度)	5,418,000	50	3,359,160	62.0%	
	消防格納庫三日月第3分団第2部	昭和52年度(1977年度)	5,418,000	50	4,009,320	74.0%	
	消防格納庫三日月第3分団第3部	昭和57年度(1982年度)	5,418,000	50	3,467,520	64.0%	
	消防格納庫三日月第3分団第4部	昭和54年度(1979年度)	5,418,000	50	3,792,600	70.0%	
	芦田水防倉庫	昭和50年度(1975年度)	2,912,000	34	2,911,999	100.0%	
牛津町	消防格納庫牛津第1分団第1部	平成02年度(1990年度)	7,808,000	24	7,807,999	100.0%	
	消防格納庫牛津第1分団第2部	平成02年度(1990年度)	6,466,000	24	6,465,999	100.0%	
	消防格納庫牛津第1分団第3部	平成09年度(1997年度)	7,198,000	22	5,628,836	78.2%	
	消防格納庫牛津第1分団第4部	平成02年度(1990年度)	7,680,000	24	7,679,999	100.0%	
	消防格納庫牛津第2分団第1部	平成02年度(1990年度)	5,002,000	24	5,001,999	100.0%	
	消防格納庫牛津第2分団第2部	平成02年度(1990年度)	5,856,000	24	5,855,999	100.0%	
	消防格納庫牛津第2分団第3部	平成02年度(1990年度)	6,588,000	24	6,587,999	100.0%	
	上砥川水防倉庫	昭和50年度(1975年度)	3,294,000	15	3,293,999	100.0%	
芦刈町	消防格納庫芦刈第1分団第1部	昭和53年度(1978年度)	3,538,000	24	3,537,999	100.0%	
	消防格納庫芦刈第1分団第2部	昭和54年度(1979年度)	8,000,000	38	7,560,000	94.5%	
	消防格納庫芦刈第1分団第3部	昭和54年度(1979年度)	7,360,000	38	6,955,200	94.5%	
	消防格納庫芦刈第2分団第1部	詳細不明					
	消防格納庫芦刈第2分団第2部	昭和56年度(1981年度)	8,000,000	38	7,128,000	89.1%	
	消防格納庫芦刈第2分団第3部	昭和54年度(1979年度)	8,320,000	38	7,862,400	94.5%	
	消防格納庫芦刈第3分団第1部	平成03年度(1991年度)	8,160,000	38	5,067,360	62.1%	
	消防格納庫芦刈第3分団第2部	昭和60年度(1985年度)	4,329,000	41	3,138,525	72.5%	
	消防格納庫芦刈第3分団第3部	昭和53年度(1978年度)	3,538,000	24	3,537,999	100.0%	
旧三条排水機場(水防倉庫)	昭和50年度(1975年度)	35,097,000	50	27,375,660	78.0%		

(2) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況 (単位: 千円)

地区	施設名称	施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
小城町	消防格納庫小城第1分団第1部	0	104	26	229	127	486
	消防格納庫小城第1分団第2部	0	104	26	229	127	486
	消防格納庫小城第1分団第3部	0	100	25	229	122	476
	消防格納庫小城第1分団第4部	0	104	26	229	127	486
	消防格納庫小城第2分団第1部	0	109	27	233	134	503
	消防格納庫小城第2分団第2部	0	111	28	229	137	505
	消防格納庫小城第2分団第3部	0	111	28	238	137	514
	消防格納庫小城第2分団第4部	0	10	2	2	12	26
	消防格納庫小城第2分団石体班	0	63	16	60	77	216
	消防格納庫小城第2分団江里山班	0	31	8	203	38	280
	消防格納庫小城第3分団第1部	0	109	27	229	134	499
	消防格納庫小城第3分団第2部	0	92	23	203	113	431
	消防格納庫小城第3分団第3部	0	88	22	190	108	408
	消防格納庫小城第3分団第4部	0	88	22	203	108	421
	消防格納庫小城第3分団川内桑鶴班	0	51	13	104	62	230
	消防格納庫小城第4分団第1部	0	100	25	229	122	476
	消防格納庫小城第4分団第2部	0	88	22	229	108	447
	消防格納庫小城第4分団第3部	0	70	18	229	86	403
	消防格納庫小城第4分団第4部	0	106	26	276	130	538
	出分水防倉庫	0	12	0	0	3	15
砂田水防倉庫	0	18	0	0	5	23	
上右原水防倉庫	0	9	0	0	2	11	
三日月町	消防格納庫三日月第1分団第1部	0	70	18	86	86	260
	消防格納庫三日月第1分団第2部	0	66	17	108	82	273
	消防格納庫三日月第1分団第3部	0	68	17	108	84	277
	消防格納庫三日月第2分団第1部	0	51	13	108	62	234
	消防格納庫三日月第2分団第2部	0	80	20	108	98	306
	消防格納庫三日月第2分団第3部	0	65	16	108	79	268
	消防格納庫三日月第3分団第1部	0	51	13	108	62	234
	消防格納庫三日月第3分団第2部	0	51	13	108	62	234
	消防格納庫三日月第3分団第3部	0	63	16	108	77	264
	消防格納庫三日月第3分団第4部	0	51	13	108	62	234
芦田水防倉庫	0	14	0	0	4	18	
牛津町	消防格納庫牛津第1分団第1部	0	123	31	265	151	570
	消防格納庫牛津第1分団第2部	0	104	26	220	127	477
	消防格納庫牛津第1分団第3部	0	61	15	331	74	481
	消防格納庫牛津第1分団第4部	0	78	20	261	96	455
	消防格納庫牛津第2分団第1部	0	84	21	170	103	378
	消防格納庫牛津第2分団第2部	0	96	24	199	118	437
	消防格納庫牛津第2分団第3部	0	80	20	224	98	422
	上砥川水防倉庫	0	14	0	0	4	18
芦刈町	消防格納庫芦刈第1分団第1部	0	61	15	0	74	150
	消防格納庫芦刈第1分団第2部	0	109	27	216	134	486
	消防格納庫芦刈第1分団第3部	0	106	26	199	130	461
	消防格納庫芦刈第2分団第1部※	0	102	25	不明	125	252
	消防格納庫芦刈第2分団第2部	0	98	24	216	120	458
	消防格納庫芦刈第2分団第3部	0	102	25	225	125	477
	消防格納庫芦刈第3分団第1部	0	100	25	220	122	467
	消防格納庫芦刈第3分団第2部	0	72	18	108	89	287
	消防格納庫芦刈第3分団第3部	0	57	14	0	70	141
旧三条排水機場(水防倉庫)	0	80	2	702	20	804	
合計	0	3,835	924	8,387	4,557	17,703	
平均	0	75	18	168	89	349	

※芦刈第2分団第1部は、減価償却費が不明のため、平均には含みません。

9. 公営住宅等

9-1. 公営住宅等

(1) 施設概要

①施設一覧

公営住宅等は、全体で6施設あります。小城町に2施設、牛津町に4施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	戸数	単独 複合
小城町	下畑田団地	畑田 641	昭和 47 年度 (1972 年度)	1,364	398	1	6	単独
	西新町団地	畑田 35-1	平成 07 年度 (1995 年度)	10,962	5,866	3	72	単独
牛津町	柿樋瀬団地	柿樋瀬 960-1	昭和 45 年度 (1970 年度)	1,903	548	1	16	単独
	牛津駅南住宅	柿樋瀬 1127-1	昭和 47 年度 (1972 年度)	1,401	326	1	8	単独
	天満町住宅	牛津字一本柳 67	昭和 42 年度 (1967 年度)	7,200	1,380	1	38	単独
	友田団地	牛津 481-1	昭和 41 年度 (1966 年度)	2,929	560	1	17	単独

②設置目的

各施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	下畑田団地	住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で住宅を供給するため、市営住宅(共同施設を含む)を設置する
	西新町団地	
牛津町	柿樋瀬団地	
	牛津駅南住宅	
	天満町住宅	
	友田団地	

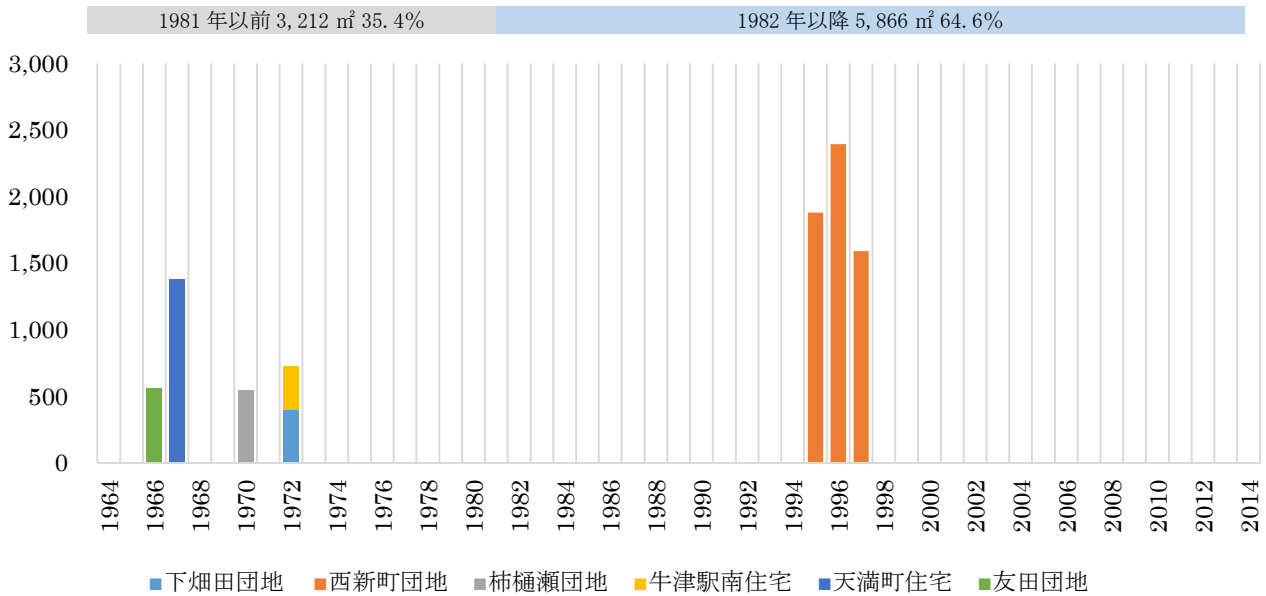
③運営状況

公営住宅の運営は、直営です。

④築年別整備状況

昭和 56 年度（1981 年度）以前の旧耐震基準の施設が 5 施設、昭和 57 年度（1982 年度）以後の新耐震基準の施設が 1 施設となっています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

⑤建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	下畑田団地	6	—	6	—	—
	西新町団地	6	6	—	—	—
牛津町	柿樋瀬団地	4	—	4	—	—
	牛津駅南住宅	4	—	4	—	—
	天満町住宅	17	—	17	—	—
	友田団地	11	—	11	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
小城町	下畑田団地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	西新町団地	○	—	—	—	—	—	—	—	—
牛津町	柿樋瀬団地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	牛津駅南住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	天満町住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	友田団地	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

各施設の老朽化の状況は、6施設中、老朽化比率80%以上が5施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	下畑田団地	昭和47年度(1972年度)	29,332,000	22	29,331,999	100.0%
	西新町団地	平成07年度(1995年度)	1,114,234,952	47	442,964,098	39.8%
牛津町	柿樋瀬団地	昭和45年度(1970年度)	14,250,000	22	14,249,999	100.0%
	牛津駅南住宅	昭和47年度(1972年度)	9,235,000	22	9,234,999	100.0%
	天満町住宅	昭和42年度(1967年度)	27,809,864	22	27,809,862	100.0%
	友田団地	昭和41年度(1966年度)	8,232,200	22	8,232,198	100.0%

(2) 利用の実態

各施設の入居状況は以下のとおりです。

図表 入居状況

地区	施設名称	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H26年度/ H22年度
小城町	下畑田団地	6	6	6	6	5	0.83
	西新町団地	72	72	72	72	72	1.00
牛津町	柿樋瀬団地	15	14	14	13	11	0.73
	牛津駅南住宅	7	7	7	7	7	1.00
	天満町住宅	34	31	30	27	27	0.79
	友田団地	15	15	14	14	14	0.93

(3) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況(単位:千円)

地区	施設名称	施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	下畑田団地	0	6	318	0	50	374	398	0.9
	西新町団地	0	87	4,612	24,513	720	29,932	5,866	5.1
牛津町	柿樋瀬団地	0	8	424	0	66	498	548	0.9
	牛津駅南住宅	0	5	260	0	41	306	326	0.9
	天満町住宅	0	21	1,102	0	172	1,295	1,380	0.9
	友田団地	0	8	447	0	70	525	560	0.9
合計		0	135	7,163	24,513	1,119	32,930	9,078	—
平均		0	23	1,194	4,086	186	5,488	1,513	3.6

10. 市民病院

10-1. 市民病院

(1) 施設概要

①施設一覧

市民病院は、小城町に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	小城市民病院	松尾 4100	昭和 57 年度 (1982 年度)	9,577	5,759	4	単独

②設置目的

施設の設置目的は以下のとおりです。

図表 設置目的

地区	施設名称	設置目的
小城町	小城市民病院	市民の健康維持に必要な医療を提供するため

③運営状況

施設の運営状況は以下のとおりです。

図表 運営状況

地区	施設名称	診療時間	休診日	運営形態	年間開館日数
小城町	小城市民病院	午前 8 : 30 ~ 午後 14 : 00 ~	土・日・祝祭日 12 月 29 日 ~ 1 月 3 日	直営	240

④建物状況

施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	小城市民病院	5	5	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差 なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
小城町	小城市民病院	○	—	○	○	○	○	○	6	—

⑥老朽化状況

施設の老朽化の状況は以下のとおりです。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	小城市民病院	昭和 58 年度 (1983 年度)	2,412,540,369	50	1,779,173,512	73.7%

(2) 利用の実態

患者数（外来患者・入院患者）は以下のとおりです。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H26 年度／ H22 年度	H26 開館日 平均（人）
小城町	小城市民病院	69,228	70,118	68,961	70,623	72,088	1.04	300

(3) 施設コストの実態

施設の年間コスト状況は以下のとおりです。

図表 施設コスト状況（単位：千円）

地区	施設名称	平成 26 年度施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
小城町	小城市民病院	806,256	234,136	88,976	81,261	10,125	1,220,754

11. その他

11-1. その他施設

(1) 施設概要

①施設一覧

その他施設は、全体で23施設あります。小城町に6施設、三日月町に3施設、牛津町に8施設、芦刈町に6施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	取得年度	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	最大 階数	単独 複合
小城町	旧小城庁舎北別館	松尾 4032-5	平成 10 年度 (1998 年度)	885	393	2	単独
	旧小城庁舎西車庫	(小城町)253-1	昭和 47 年度 (1972 年度)	—	106	1	単独
	旧小城土木事務所跡地倉庫	畑田 2626-5	平成 15 年度 (2003 年度)	1,566	366	1	単独
	勤労者福祉会館	松尾 4032-3	昭和 52 年度 (1977 年度)	—	194	2	単独
	ほたるの郷	岩藏 81-24	平成 06 年度 (1994 年度)	—	78	1	単独
	清水倉庫	松尾 2291	平成 25 年度 (2013 年度)	—	103	1	単独
三日月町	小城駅	久米 2083	平成 26 年度 (2014 年度)	3,081	231	1	単独
	織島倉庫	織島 2769-2	平成 16 年度 (2004 年度)	1,581	456	2	単独
	プレハブ倉庫	長神田 1845	平成 05 年度 (1993 年度)	—	60	2	単独
牛津町	小城市廃棄物中継センター	柿樋瀬 1174-16	平成 22 年度 (2010 年度)	7,777	730	2	単独
	旧牛津庁舎周辺倉庫	柿樋瀬 1100-1	昭和 48 年度 (1973 年度)	—	194	2	単独
	旧牛津庁舎周辺車庫	柿樋瀬 1100-1	昭和 48 年度 (1973 年度)	—	97	1	単独
	旧牛津庁舎周辺体育館北車庫	柿樋瀬 1100-2	平成 09 年度 (1997 年度)	—	97	1	単独
	体育館北プレハブ倉庫	柿樋瀬 1100-2	平成 07 年度 (1995 年度)	—	34	1	単独
	文化財倉庫①(名称は仮公民館で登録)	柿樋瀬 1100-2	平成 04 年度 (1992 年度)	—	59	1	単独
	文化財倉庫②	柿樋瀬 1100-2	平成 02 年度 (1990 年度)	—	20	1	単独
文化財倉庫③(名称は倉庫で登録)	柿樋瀬 1100-2	平成 02 年度 (1990 年度)	—	50	1	単独	
芦刈町	旧芦刈庁舎	三王崎 346-2	昭和 53 年度 (1978 年度)	—	2,096	2	単独
	旧芦刈庁舎倉庫	三王崎 346-2	昭和 56 年度 (1981 年度)	—	414	2	単独
	旧芦刈庁舎車庫	三王崎 346-2	平成 05 年度 (1993 年度)	—	115	1	単独
	旧芦刈庁舎自転車置場	三王崎 346-2	昭和 53 年度 (1978 年度)	—	51	1	単独
	旧三条排水施設管理舎	三王崎 1983-1	平成 14 年度 (2002 年度)	633	90	1	単独
	旧芦刈公民館	三王崎 318-1	昭和 43 年度 (1968 年度)	1,181	610	2	単独

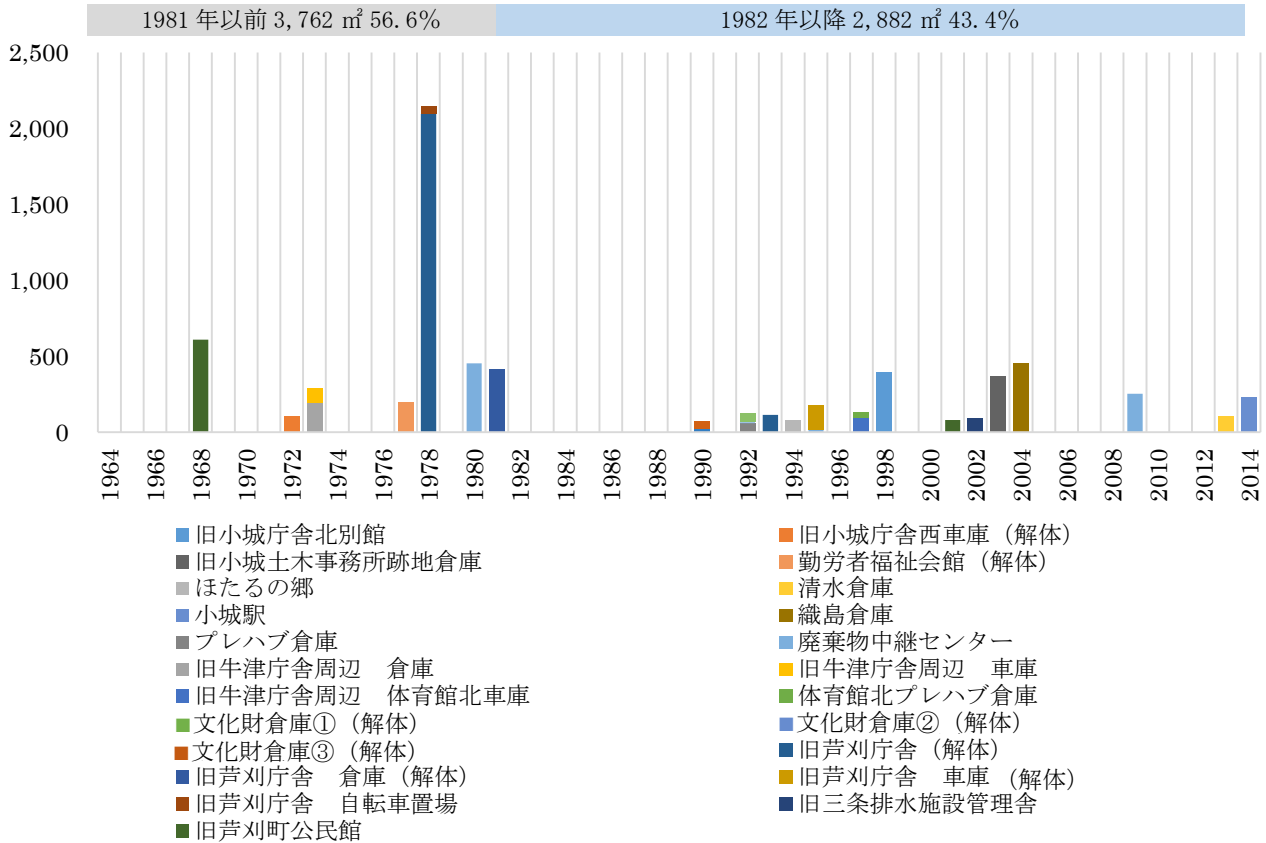
※旧小城庁舎北別館、旧小城土木事務所跡地倉庫、清水倉庫、小城駅舎、織島倉庫、旧三条排水施設管理舎は、売買又は寄付による取得のため、取得年度を記載しています。

※旧小城庁舎西車庫、勤労者福祉会館、文化財倉庫①(名称は仮公民館で登録)、文化財倉庫②、文化財倉庫③(名称は倉庫で登録)、旧芦刈庁舎、旧芦刈庁舎倉庫、旧芦刈庁舎車庫は、平成 27 年度解体済。

②築年別整備状況

昭和 56 年度（1981 年度）以前の旧耐震基準の施設が 9 施設、昭和 57 年度（1982 年度）以後の新耐震基準の施設が 14 施設となっています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



【出典】：「平成 26 年度固定資産台帳」

③建物状況

各施設の耐震診断・バリアフリーについては以下のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
小城町	旧小城庁舎北別館	1	—	1	—	—
	旧小城土木事務所跡地倉庫	1	—	—	1	—
	ほたるの郷	2	2	—	—	—
	清水倉庫	1	1	—	—	—
三日月町	小城駅	2	1 (公衆トイレ)	—	1	—
	織島倉庫	1	—	—	1	—
	プレハブ倉庫	1	1	—	—	—
牛津町	小城市廃棄物中継センター	5	3	2	—	—
	旧牛津庁舎周辺倉庫	1	—	—	1	—
	旧牛津庁舎周辺車庫	1	—	—	1	—
	旧牛津庁舎周辺体育館北車庫	1	1	—	—	—
芦刈町	体育館北プレハブ倉庫	1	1	—	—	—
	旧芦刈庁舎自転車置場	1	—	—	1	—
	旧三条排水施設管理舎	1	—	—	1	—
	旧芦刈公民館	1	—	1	—	—

※平成 27 年度解体済の建物は、省略しています。

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
小城町	旧小城庁舎北別館	○	—	—	○	○	—	—	—	—
	旧小城土木事務所跡地倉庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ほたるの郷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	清水倉庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三日月町	小城駅	○	—	—	○	—	○	○	2	—
	織島倉庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	プレハブ倉庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—
牛津町	小城市廃棄物中継センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旧牛津庁舎周辺倉庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旧牛津庁舎周辺車庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旧牛津庁舎周辺体育館北車庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	体育館北プレハブ倉庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芦刈町	旧芦刈庁舎自転車置場	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旧三条排水施設管理舎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旧芦刈公民館	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※平成 27 年度解体済の建物は、省略しています。

④老朽化状況

各施設の老朽化の状況は、15 施設中、老朽化比率 80%以上が 7 施設あります。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	減価償却累計額	老朽化比率
小城町	旧小城庁舎北別館	平成 10 年度 (1998 年度)	36,983,179	38	15,037,258	40.7%
	旧小城土木事務所跡地倉庫	平成 15 年度 (2003 年度)	34,770,000	31	12,621,510	36.3%
	ほたるの郷	平成 06 年度 (1994 年度)	16,802,100	24	16,170,079	96.2%
	清水倉庫	平成 25 年度 (2013 年度)	1,901,119	15	127,374	6.7%
三日月町	小城駅	平成 26 年度 (2014 年度)	126,623,339	24	0	0.0%
	織島倉庫	平成 16 年度 (2004 年度)	44,475,000	31	14,371,830	32.3%
	プレハブ倉庫	平成 05 年度 (1992 年度)	6,422,050	24	6,020,802	93.8%
牛津町	小城市廃棄物中継センター	平成 22 年度 (2010 年度)	232,124,565	31	110,453,812	47.6%
	旧牛津庁舎周辺倉庫	昭和 48 年度 (1973 年度)	32,980,000	38	32,979,999	100.0%
	旧牛津庁舎周辺車庫	昭和 48 年度 (1973 年度)	9,312,000	31	9,311,999	100.0%
	旧牛津庁舎周辺体育館北車庫	平成 09 年度 (1997 年度)	9,312,000	31	5,224,032	56.1%
	体育館北プレハブ倉庫	平成 07 年度 (1995 年度)	3,094,000	15	3,093,999	100.0%
芦刈町	旧芦刈庁舎自転車置場	昭和 53 年度 (1978 年度)	3,045,000	24	3,044,999	100.0%
	旧三条排水施設管理舎	平成 14 年度 (2002 年度)	13,795,000	22	7,614,840	55.2%
	旧芦刈公民館	昭和 43 年度 (1968 年度)	40,158,760	50	37,468,123	93.3%

※平成 27 年度解体済の建物は、省略しています。

※旧小城庁舎北別館、旧小城土木事務所跡地倉庫、清水倉庫、小城駅舎、織島倉庫、旧三条排水施設管理舎の減価償却累計額は、取得年度から計算しています。

(2) 施設コストの実態

各施設の年間コストは以下のとおりです。

図表 施設コスト状況 (単位: 千円)

地区	施設名称	平成 26 年度施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1 ㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
小城町	旧小城庁舎北別館	2,062	1,177	736	999	1,293	6,267	393	15.9
	旧小城土木事務所跡地倉庫	1,558	889	556	1,147	977	5,127	366	14.0
	ほたるの郷	6,442	1,824	972	166	787	10,191	78	130.6
	清水倉庫	438	250	156	127	275	1,246	103	12.1
三日月町	小城駅	1,594	188	407	0	0	2,189	231	9.5
	織島倉庫	1,941	1,108	693	1,468	1,217	6,427	456	14.1
	プレハブ倉庫	0	0	5	222	0	227	60	3.8
牛津町	小城市廃棄物中継センター	139,713	23,009	1,053	8,731	11,396	183,902	730	251.9
	旧牛津庁舎周辺倉庫	826	471	295	0	518	2,110	194	10.9
	旧牛津庁舎周辺車庫	413	236	147	0	259	1,055	97	10.9
	旧牛津庁舎周辺体育館北車庫	413	236	147	307	259	1,362	97	14.0
	体育館北プレハブ倉庫	145	83	52	0	91	371	34	10.9
芦刈町	旧芦刈庁舎自転車置場	21	1,056	110	0	107	1,294	51	25.4
	旧三条排水施設管理舎	472	270	168	634	296	1,840	90	20.4
	旧芦刈公民館	3,200	1,827	1,142	524	2,007	8,700	610	28.1
合 計		159,238	32,624	6,639	14,325	97,077	309,903	3,590	—
平 均		10,616	2,175	443	955	6,471	20,660	239	94.3

※平成 27 年度解体済の建物は、省略しています。

※旧小城庁舎北別館、旧小城土木事務所跡地倉庫、清水倉庫、小城駅舎、織島倉庫、旧三条排水施設管理舎の減価償却額は、取得年度から計算しています。



VI. 将来の施設更新投資等の試算（財政シミュレーション）

1. 更新投資試算の方法

各施設について、更新した場合の投資額を試算します。更新の時期は原則として、固定資産台帳を基に取得年度（整備した年度）から法定耐用年数が経過した時点とし、再調達価格にて再整備するものと仮定して試算します。（実際の更新時期と異なる場合があります。）また、上水道についても同様に固定資産台帳に基づいて算出します。

道路（市道・農道・林道）については、再整備ではなく維持補修をしていくものと考え、過去5年間にかけた維持補修費の平均を毎年の更新金額として算出しています。

なお、固定資産台帳における再調達価格は、整備した当時の価格であり、その後の物価変動等については加味していません。

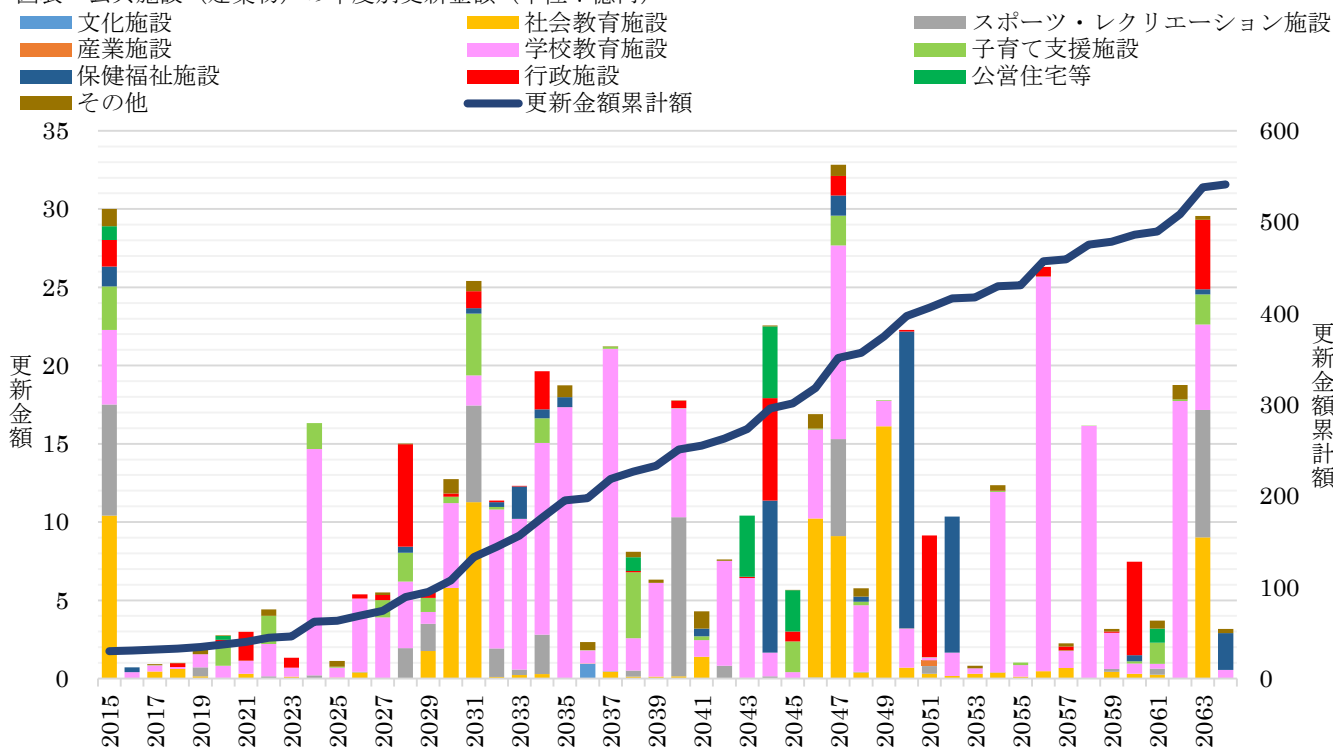
2. 公共施設（建築物）に係る更新投資の試算

建築物の50年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じて施設の建替を想定すると50年間で約541億円の更新投資が必要になります。

50年間の平均年間必要更新投資額は、年間約10.8億円必要です。

10年間の平均で年間約6.2億円、20年間の平均で年間約8.8億円必要になります。30年間の平均で年間約9.6億円必要、40年間の平均で年間約10.7億円必要となります。これから40年間、更新投資が膨らむ時期となり、年々増加する見込みです。

図表 公共施設（建築物）の年度別更新金額（単位：億円）



【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

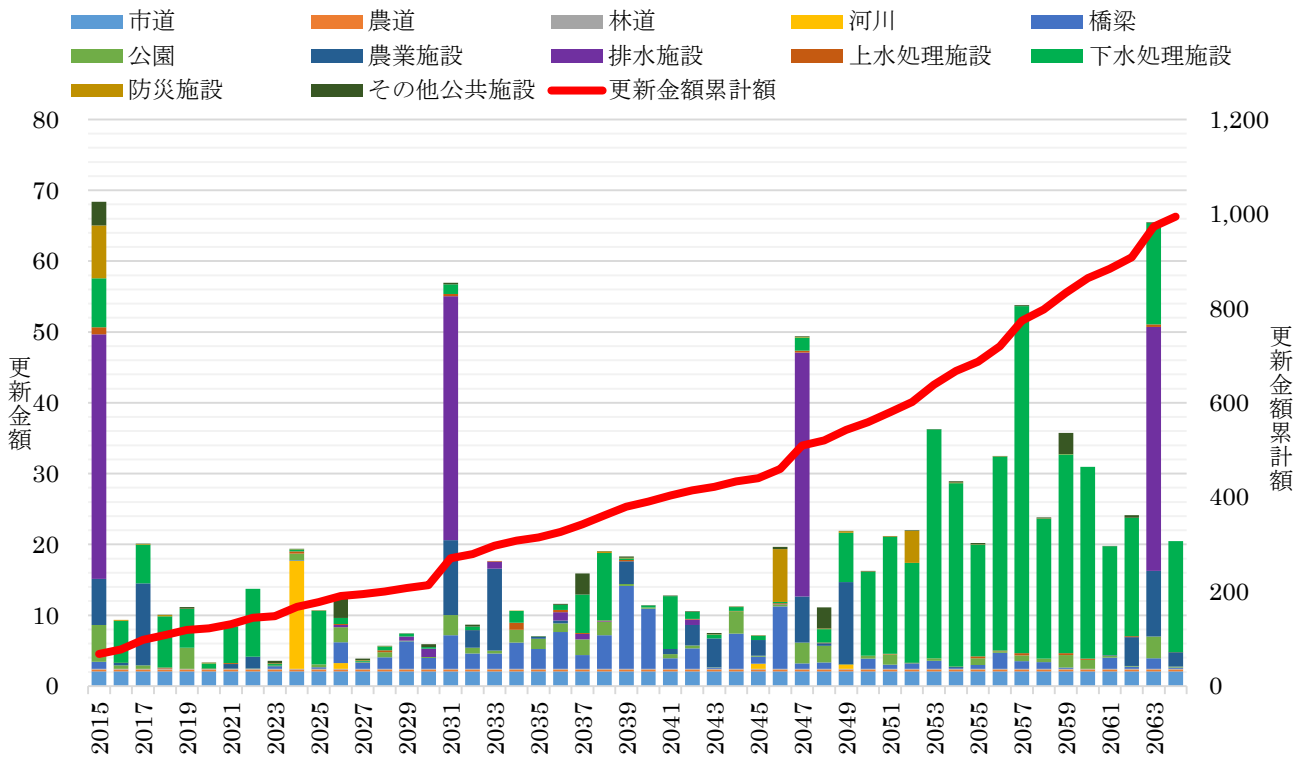
3. 公共施設（インフラ）に係る更新投資の試算

インフラの50年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じて施設の再整備を想定すると50年間で約994億円の更新投資が必要になります。

50年間の平均年間必要更新投資額は、年間約19.9億円必要です。

10年間の平均で年間約17億円、20年間の平均で年間約15億円必要になります。30年間の平均で年間約14億円必要、40年間の平均で年間約17億円必要となります。40～50年の間が、更新投資が膨らむ時期となり、年々増加する見込みです。

図表 インフラ資産の年度別更新金額（単位：億円）



【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算

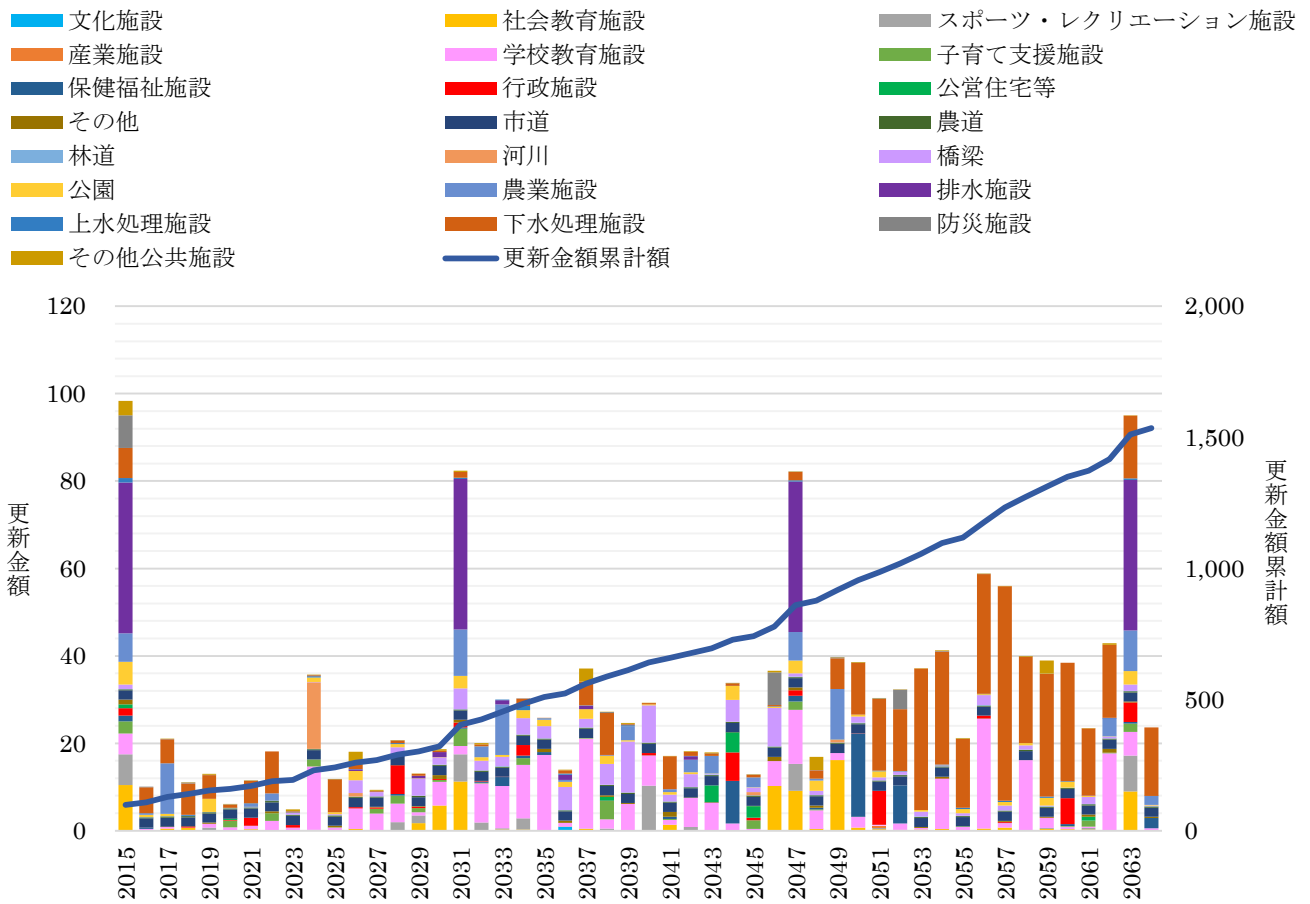
建築物、インフラを含めた公共施設全体の50年間の更新投資を試算すると下図のようになります。50年間で約1,535億円の更新投資が必要になります。

50年間の平均年間必要更新投資額は、年間約30.7億円必要です。

10年間の平均で年間約23.2億円、20年間の平均で年間約23.8億円必要になります。30年間の平均で年間約23.6億円必要、40年間の平均で年間約27.7億円必要となります。40～50年の間が、更新投資が膨らむ時期となり、年々増加する見込みです。

平成26年度（2014年度）の普通会計と下水道会計の普通建設事業費相当は、年間約44億円であり、過去5年間の平均は約50億円となっています。この中には土地代や機器の購入費用も含まれます。

図表 建築物とインフラの年度別更新金額（単位：億円）



【出典】：「平成26年度固定資産台帳」

5. 今後の新規投資予定

既存（平成 27 年 3 月 31 日時点）の公共施設（建築物、インフラ）の他に、すでに着手している事業や引き続き整備予定の事業分として 310 億円程度が見込まれます。また、小城市総合計画（第 2 次：平成 29 年度～平成 37 年度）における個別計画等により市民生活の充実を図るための施設等の整備を進めていきます。



VII. 課題の整理と基本的な方向性

1. 市勢概要等からみた課題

(1) 市の特徴を踏まえた公共施設のあり方

① 現状

小城市は、佐賀県のほぼ中央にあり、佐賀平野の西端に位置しています。佐賀市、多久市、江北町、白石町と接しており、佐賀市の中心部まで約 10 k m、福岡市へ約 70 k m、長崎市へ約 100 k m の距離にあります。

小城市の地形は、北部に標高 1,046m の秀峰「天山」を中心とする天山山系がそびえ、南に日本一の干拓「有明海」、中部には肥沃な大地「佐賀平野」と豊かな自然環境の中にあります。主な河川には天山山系を源にした祇園川、晴気川、牛津川があり、これらの河川は扇状地を形成し、小城の平野部を潤して嘉瀬川及び六角川に合流して有明海へと注いでいます。

夏は高温多湿でやや蒸し暑く、冬は乾燥した北西の季節風が強いのが特徴です。総面積は 95.85 k m² で、佐賀県 20 市町のうち第 10 位となっています。

② 課題

○各地域の特性や住民の利便性、安全性、観光資源的見地などを総合的に考慮し、公共施設の集約や統廃合を検討する必要があります。

(2) 少子高齢化と将来的な人口減少を踏まえた公共施設のあり方

① 現状

平成 18 年度（2006 年度）から平成 27 年度（2015 年度）の過去 10 年間の人口及び世帯数を振り返ってみると、人口は、10 年間で 46,954 人から 45,816 人と約 1,100 人減少し、毎年徐々に人口が減ってきている状況ですが、世帯数は、10 年間で 14,397 世帯から 15,719 世帯と約 1,300 世帯増加しています。このことから 1 世帯あたりの人員は減少傾向にあることが分かり、一人暮らしや核家族が増加傾向にあると考えられます。

② 課題

○人口減による既存公共施設の遊休化や人口密度低下による住民サービスのコスト上昇が懸念されるため、公共施設の集約や統廃合を検討する必要があります。

(3) 財政状況を踏まえた公共施設のあり方

① 現状

市の予算は、歳出総額に必要な歳入総額を計上して執行します。各年度の決算額は、事業の年次計画や費用の多少、国や県を含めた事業主体や補助金の流れの変更、その他制度改正に伴う事業費増減等の影響を受けますが、普通会計と下水道会計の決算における平成 22 年度(2010 年度)から平成 26 年度(2014 年度)までの歳入歳出の状況は、約 220 億円で推移しています。その中で土地代を含む施設整備や改修、機器の購入費に相当する「普通建設事業費相当」が約 50 億円で推移しています。

また、地方債(市の借金)と積立金(市の貯蓄)があり、地方債残高は増加傾向、積立金残高は微増傾向になっています。

② 課題

○合併に伴う交付税措置の終了など、今後大幅な歳入の増加は見込めない状況です。また、現在の歳入内訳は、自主財源と比較して依存財源の占める割合が高くなっています。自主財源の確保は、多くの市町村の財政状況からみても取り組むべき課題です。小城市においても例外ではなく、市民のニーズに対応するためにも、自主財源の確保をさらに推し進める必要があります。

2. 公共施設全体の状況からみた課題

(1) 建築物

① 現状

建築物（いわゆるハコモノ施設）の総面積は約 16.4 万㎡であり、市民 1 人あたり約 3.6 ㎡となっています。これは、全国の市町村平均 3.6 ㎡（総務省）と同じ値となっています。

過去の整備量については、築後 20 年から 29 年が 24.4%、築後 30 年から 39 年が 24.1%、築後 40 年以上が 5.8%と全体の半数以上の建物が築後 20 年以上経過している状況です。

平均老朽化比率では、レクリエーション施設・保育所が 80%以上、公民館等・スポーツ施設・幼稚園・防災施設・市民病院が 60%以上と高い状況にあります。

全体の約 72%にあたる 92 施設が更新検討施設（老朽化比率：60%以上）となっており、老朽化が進んでいる状況です。

② 課題

○老朽化による更新検討施設は全体の 70%超であり、全てを更新すると莫大な費用を要します。施設毎の利用状況を踏まえ、利用目的の転換、又は機能の複合化を図る必要があります。更に廃止（除却）、移譲を含め、将来の人口構造に合った効率的な施設整備の必要があります。

(2) インフラ

i. 道路

① 現状

市道の総延長は、705 路線で約 35.1 万 m、農道の総延長は、705 路線で約 24.5 万 m、林道の総延長は、9 路線で約 1.8 万 mになります。

② 課題

○道路は、市民生活を支える基盤であるため、事後保全型の維持管理ではなく、利用需要に応じた路線別の優先順位を検討し、予防保全型の維持管理を行う必要があります。

ii. 橋梁

① 現状

市の橋梁は 322 本あります。

② 課題

○一般的に橋梁の更新時期は架設から 50～60 年程度と言われており、本市の橋梁の多くが戦後の経済発展とともに建設されたことから、20 年～30 年後には多くの橋梁が更新時期を迎え、財政的な課題が生じてくることとなります。

iii. 河川

① 現状

市が管理している河川は 32 本あります。

② 課題

○基幹産業である農業・水産業・観光、そして安全で潤いのある生活環境の創出には、良質で豊富な水量が不可欠です。周辺自治体や関係機関・団体との連携が重要な課題です。危険度または緊急度の高い箇所から整備を行っていく必要があります。

iv. 公園（屋外施設含む）

① 現状

公園の総整備面積は約 14.6 万㎡となっています。

② 課題

○耐用年数を経過している施設・設備を持つ公園の中には遊具が含まれている公園もあり、事故防止のためにも劣化に対応する必要があります。

v. 農業施設

① 現状

農業施設は 8 施設あります。

② 課題

○農業に従事している方の高齢化や農家の減少に対応する必要があります。

vi. 排水施設

① 現状

市の排水機場は 8 施設あります。

② 課題

○維持管理の費用が高く、財政的な課題が生じてくることとなります。

vii. 簡易水道施設・上水道施設

① 現状

簡易水道施設は、4 施設あります。

市の上水道施設は、平成 4 年度（1992 年度）からの約 10 年間で配水施設の整備が集中しています。

② 課題

○上水道は、市民の生活に大きく関わる重要な基盤です。老朽化が進行する前の適切な維持管理を行う必要があります。

viii. 下水処理施設

① 現状

下水処理施設は、平成 8 年度（1996 年度）から整備が始まり、浄化センター 7 施設、中継ポンプ場 1 施設、120 基の市営浄化槽があります。現在も継続的に整備しています。

② 課題

○地方公営企業法の適用を目指した取組みを推進し、独立した事業経営が可能な体制を構築する必要があります。

○災害時の被害最小化や機能保持といった、安全で安心な暮らしを実現する必要があります。

ix. 防災施設（建築物以外）

① 現状

市の防災施設は、防火水槽・消火栓・防災無線があります。

② 課題

○災害時等重要な役割を持つため、老朽化対策を行う必要があります。事後保全型の維持管理ではなく、予防保全型の維持管理を行う必要があります。

x. その他公共施設

① 現状

その他公共施設は、小城町と芦刈町の光ファイバーケーブルやモニタリングカメラなどがあります。

② 課題

○市民生活の充実を図るために必要な施設の整備については、今後も慎重な計画を立案する必要があります。

3. 建築物の施設用途別にみた課題

(1) 文化施設

① 現状

2施設とも昭和57年（1982年）以後の新耐震基準の施設となっています。

「小城市小城文化センター」は新耐震基準以降に建設されていますが、築26年が経過しています。また、平成26年度（2014年）の利用者数は、9,317人で、1日平均30人が利用しています。増減を繰り返しながらも利用者は減少傾向にあります。

② 課題

○「小城市小城文化センター」は、築26年が経過しており、今後建物の老朽化が課題となってくると考えられます。利用状況を考慮した施設のあり方を検討する必要があります。

(2) 社会教育施設（公民館等・図書館・その他社会教育施設）

① 現状

公民館等は、昭和56年（1981年）以前の旧耐震基準の施設が5施設、昭和57年（1982年）以後の新耐震基準の施設が4施設となっています。築後20年を経過している施設は、全体の約71%にのびります。9施設中、老朽化比率60%以上が4施設、老朽化比率80%以上が4施設あります。

その他社会教育施設の「小城市立歴史資料館」は、昭和57年（1982年）以降の建築であり、新耐震基準に適合しています。築後20年未満のため、比較的新しい施設となります。平成26年度（2014年度）の利用者数は43,502人となっています。平成26年度（2014年度）と平成22年度（2010年度）の利用者数を比較すると約2割の減少です。

「小城市教育集会所」は、昭和51年度（1976年度）の建築で築後38年を経過しています。

② 課題

○各公民館支館の老朽化が進んでいることから、利用状況や近隣の類似施設の整備状況を考慮した施設のあり方を検討する必要があります。

○図書館やその他社会施設についても、住民の利便性や利用状況を考慮した施設のあり方を検討する必要があります。

(3) スポーツ・レクリエーション施設

① 現状

スポーツ施設は、昭和 56 年（1981 年）以前の旧耐震基準の施設が 1 施設、昭和 57 年（1982 年）以後の新耐震基準の施設が 4 施設となっています。全ての施設が築後 20 年を経過しています。

全施設で平成 26 年度（2014 年度）の利用者が前年度より減少しています。

レクリエーション施設は、昭和 56 年（1981 年）以前の旧耐震基準の施設が 1 施設、昭和 57 年（1982 年）以後の新耐震基準の施設が 2 施設となっています。全ての施設が築後 20 年を経過しているとともに、全ての施設で老朽化比率 80%以上になっています。

② 課題

○全体的に老朽化が進んでいることから、機能や必要性、利用状況を考慮した施設のあり方を検討する必要があります。

(4) 産業施設

① 現状

産業施設は、昭和 57 年（1982 年）以後の新耐震基準の施設が 1 施設となっています。

② 課題

○比較的新しい施設であり、早急な対応の必要はないですが、今後の活用や必要性を考慮した施設のあり方を検討する必要があります。

(5) 学校教育施設

① 現状

小学校の主な校舎については、全て昭和 57 年（1982 年）以後に建設されていますが、施設全体として築後 20 年を経過しているものが全体の約 7 割に上ります。

中学校は、昭和 57 年（1982 年）以後の新耐震基準の施設が 3 施設中 2 施設となっています。「小城市立三日月中学校」は、昭和 56 年（1981 年）以前に建設されていますが、平成 19・21 年度（2007・2009 年度）に既存校舎改修・耐震補強・大規模改造を行っています。

② 課題

○更新等については、少子化に伴う児童、生徒数の減少を考慮した適正規模の施設整備を行うとともに、近隣の社会教育施設との連携を視野に入れた施設のあり方を検討する必要があります。

(6) 子育て支援施設

① 現状

保育所は、昭和56年(1981年)以前の旧耐震基準の施設が2施設、昭和57年(1982年)以後の新耐震基準の施設が2施設となっています。4施設中、老朽化比率60%以上が2施設、老朽化比率80%以上が2施設あります。

幼稚園は、昭和56年(1981年)以前の旧耐震基準の施設が2施設、昭和57年(1982年)以後の新耐震基準の施設が1施設となっています。3施設中、老朽化比率60%以上が2施設、老朽化比率80%以上が1施設あります。

学童保育・児童センターは、全ての施設が昭和57年(1982年)以降の建築であり、新耐震基準に適合しています。

② 課題

- 保育所及び幼稚園については、「小城市公立保育園・幼稚園の再編計画」及び「小城市立保育園・幼稚園の民営化ガイドライン」に基づいた施設のあり方を検討する必要があります。
- 学童保育及び児童センターについては、学校教育施設の更新等と合わせた施設のあり方を検討する必要があります。

(7) 保健福祉施設

① 現状

昭和56年(1981年)以前の旧耐震基準の施設が1施設、昭和57年(1982年)以後の新耐震基準の施設が5施設となっています。6施設中、老朽化比率60%以上が1施設、80%以上が1施設あります。

② 課題

- 授産場については、老朽化が進んでいることから、必要性や利用状況を考慮した施設のあり方を検討する必要があります。
- 保健福祉センターやデイサービスセンターについては、住民の利便性や必要性、利用状況を考慮した施設のあり方を検討する必要があります。

(8) 行政施設

① 現状

市庁舎は平成 24 年度（2012 年度）に東館の改修・西館の増築をしています。

市庁舎別館は、老朽化比率 60%以上となっています。

防災施設は、昭和 56 年（1981 年）以前の旧耐震基準の施設が 21 施設、昭和 57 年（1982 年）以後の新耐震基準の施設が 30 施設となっています。51 施設中、老朽化比率 60%以上が 31 施設、80%以上が 18 施設あります。

② 課題

○市庁舎については、早急な対応の必要はないですが、今後の施設更新等に当たっては、職員数や住民サービスの維持向上を考慮した施設規模を検討する必要があります。

○防災施設については、災害時等に重要な役割を持つため、今後の施設更新等に当たっては、現在の機能を維持しつつ、適正規模の施設整備を行う必要があります。

(9) 公営住宅等

① 現状

昭和 56 年（1981 年）以前の旧耐震基準の施設が 5 施設、昭和 57 年（1982 年）以後の新耐震基準の施設が 1 施設となっています。6 施設中、老朽化比率 80%以上が 5 施設あります。

② 課題

○新たな市営住宅の整備に併せて、老朽化した施設の廃止を行う必要があります。

(10) 市民病院

① 現状

1 施設 5 棟すべてが昭和 57 年（1982 年）以後の新耐震基準の施設となっています。老朽化比率が 60%以上となっています。

② 課題

○独立採算の施設であり、更新等についても本計画とは別に検討します。

(11) その他

① 現状

昭和 56 年（1981 年）以前の旧耐震基準の施設が 9 施設、昭和 57 年（1982 年）以後の新耐震基準の施設が 14 施設なっています。解体済みの 8 施設を除く 15 施設中、老朽化比率 80%以上が 7 施設あります。

② 課題

- 小城市廃棄物中継センターについては、利用状況等により、更新や廃止等の方向性を早期に検討する必要があります。
- その他の施設については、施設更新や大規模改修等を行わず、可能な限り使用する方向で検討する必要があります。

4. 将来の施設更新投資等の試算（財政シミュレーション）からみた課題

（1）更新投資

① 現状

50年間の更新投資を試算すると、建築物は約541億円、インフラは約994億円の更新投資が必要になります。さらに近年着手している事業や今後引き続き整備予定の下水道事業などの新規投資に310億円程度が見込まれ、これらを含めた総計は、1,845億円程度となります。このことから建物、インフラを含めた公共施設全体の50年間の平均必要投資額は、単純平均で年間約36.9億円必要になります。

② 更新投資の再試算

建築物について、物価スライド※¹と使用期間※²（木造は耐用年数の1.5倍、その他は耐用年数の1.2倍の期間は使用することを想定）を考慮して試算すると、今後50年間の更新投資額は約631億円となり、インフラを含めた公共施設全体の今後50年間の平均必要投資額は、年間約38.7億円必要になります。

※¹「整備した当時の価格」に物価変動率を加味する考え方

※²「法定耐用年数」よりも長く使用する考え方

③ 課題

○平成22年度（2010年度）から平成26年度（2014年度）までの過去5年平均の建築物への投資額は、約13億円、インフラへの投資額は約17億円、合計約30億円となっています。しかし、今後はこれまで新市のまちづくりに活用してきた合併特例措置がなくなります。

○今後50年間の公共施設にかかる平均必要投資額が試算上、年間平均約38.7億円になりますが、過去5年の平均投資額約30億円を上回ることで財政的に非常に厳しい状況となります。

（2）財政シミュレーション

① 現状

平成26年度（2014年度）の普通会計と下水道会計の決算における歳入と歳出の状況では、歳入が223億円と、歳出が219億円となっており、平成22年度（2010年度）以降は平均して歳入：約224億円、歳出：約217億円で推移している状況です。

② 課題

○普通会計の歳入の約70%を占める依存財源の中でも36.2%にものぼる地方交付税は今後、縮減、見直しが進むものと予測されるため、自主財源の確保をさらに推し進める必要があります。

しかしながら、本市においても少子高齢化は否めないため、生産年齢人口減少は自主財源の柱である市税収入の減少へつながります。

VIII. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

将来の施設整備費について、地方公会計（固定資産台帳）から推計した財政シミュレーション（「VI. 将来の施設更新投資等の試算」参照）に物価スライドと建築物の使用期間（木造は耐用年数の1.5倍、その他は耐用年数の1.2倍の期間は使用することを想定）を反映させた数値を基に、施設を保有している担当課へヒアリングを行った結果、建築物は今後50年間で床面積を約3.2万㎡（全体保有量の約19%）、更新等費用を約140億円縮減することが可能と試算されました。

これを実現しながら適切な公共施設サービスを提供し続けていくためには、公共施設等の管理に関する基本方針を定め、それに基づく公共施設の安全性の確保や適正配置の検討による公共施設等のマネジメントを行い、施設の長寿命化及び施設機能の統廃合や集約化、PPP/PFIなどの民間活力の活用、近隣市町村との公共施設の相互利用等についても検討したうえで、住民ニーズに対応した効率的、効果的な管理の実現を目指します。

1. 計画期間

公共施設等の総合的なマネジメントを推進していくには、公共施設等の性質上、中・長期的な視点が不可欠です。

そこで本計画では、平成78年度（2066年度）までの50年間の将来予測推計に基づき、今後25年間の方向性を策定するものとします。ただし、計画期間内であっても公共施設等の実態の定期的な把握及び、不断の見直し（定期的かつ必要に応じた適宜の見直し）により、本計画の更なる充実を図っていきます。

今後 25 年間の計画を定める

2. 数値目標

本市には平成27年3月31日（平成26年度末）現在、141施設（延床面積163,689㎡）の建築物が存在します。現状の人口構成や減少傾向にある将来人口推計及び施設を保有している担当課へのヒアリング結果を鑑み、建築物の保有量（延床面積）の削減目標は、全体保有量の5%とすることとします。

更新等費用についてもヒアリング結果等を踏まえ、施設の複合化や民間活力の導入等を実現することにより計画期間内で約25億円の縮減を図ります。

一方で、インフラについては、住民生活を支えるライフラインであり、下水道を含め、さらに整備を進めるべきものもあるため、整備量の削減を図るといった性質ではないと判断し、削減目標は設定しないこととしますが、更新等費用については、計画的な点検・診断等により長寿命化を実現することで縮減を図ります。併せて、新規整備を行う際には、その必要性及び費用対効果を十分に踏まえた整備を行うことを徹底します。

維持管理費については、建築物・インフラともに徹底したコスト管理を行うことにより縮減を図ります。

建築物	要素	25年間の削減（縮減）目標値
	全体保有量（延床面積）	全体保有量から5%削減
	更新等費用	更新等費用 25億円縮減

3. 診断等の実施方針

法定点検だけでなく劣化状況や利用状況等を把握しながら、必要に応じて専門業者による劣化診断等を実施して詳細な状況把握を行います。また、定期的な安全点検等により状況を随時確認し、関係者で情報共有を図りながら適正な管理を行います。

4. 安全確保の実施方針

建築物に求められている最低限の機能は安全性の確保です。そのために、施設管理者の定期的な巡回点検や建築基準法の定期報告など各種法令に基づく点検などを適正に実施します。また、指定管理者制度を採用している施設では適正な施設管理の徹底を指定管理者と協働で実施します。

5. 長寿命化の実施方針

点検の強化及び早期の修繕等により更新コストの削減を目指すため、長寿命化計画の策定及びこれに基づく予防管理、長寿命化に資する改善を推進します。

6. 民間活用（PFI/PPP等）の考え方

施設の維持管理・運営コストを抑制しつつサービスの質を向上するため、指定管理者制度などを活用していきます。また、施設の整備や更新時には、PFI/PPPなどの民間活用の導入の可能性について、調査検討を行います。

7. 維持管理・修繕・更新等の実施方針

建築物

不具合が発生するたびに対応する事後修繕ではなく、維持管理・更新等に関する計画を含めたアクションプランなどを策定し、長期的な視点から計画的に行います。なお、更新する場合は、複合化を前提とし、施設総量の削減を進めます。

インフラ

劣化状況等を把握しながら効率的な維持管理・修繕・更新等を計画的に行います。

8. 耐震化の実施方針

昭和 56 年に建築基準法が改正され、現在の新耐震基準が施行されました。新耐震基準は昭和 56 年 6 月 1 日以降に建築確認を受けた建物に適用されていることから、改正前の旧耐震基準により設計・建築された建物は耐震性のない建物となります。このため、旧耐震基準の施設の耐震化については、経過年数や危険度等を勘案しながら検討します。

9. 統合や廃止の推進方針

施設ごとに利用状況、維持管理費、老朽化の状況などの施設情報を整理し、定量的な視点で評価するとともに、施設の配置状況、設置の経緯、類似・代替施設の状況等を考慮しながら統合や廃止等を検討します。

10. 建築物の施設用途別・インフラの管理方針

方針	
文化施設、社会教育施設	
文化施設 (2 施設) 公民館等 (9 施設) 図書館 (4 施設) その他社会教育 施設 (2 施設)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用状況や老朽化を踏まえて、公共施設として今後維持することが困難な施設については、他施設との統合や用途廃止などを行う。 今後維持していくこととなる施設については、定期的な点検を行いながら計画的な修繕、改修を行うことで長寿命化を図る。 施設更新の際は原則、現施設から総量を縮減することとし、規模の適正化を図るとともに他施設との複合化を図る。 特に公民館や支館については、学校施設との相互利用を考慮して検討する。 埋蔵文化財収納施設については、原則、今後発生する用途廃止施設を活用する。
スポーツ・レクリエーション施設	
スポーツ施設 (5 施設) レクリエーション施設 (3 施設)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用状況や老朽化を踏まえて、公共施設として今後維持することが困難な施設については、他施設との統合や用途廃止などを行う。 今後維持していくこととなる施設については、定期的な点検を行いながら計画的な修繕、改修を行うことで長寿命化を図る。 施設更新の際は原則、現施設から総量を縮減することとし、施設利用の効率化や市民ニーズを考慮した適正な規模及び配置について検討する。 特にスポーツ施設は、学校施設との相互利用を考慮して検討する。

産業施設	
産業施設 (1 施設)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用状況などを踏まえ、管理運営方法については、指定管理者制度の導入や民間移管など民間活力の導入を検討する。
学校教育施設	
小学校 (8 施設) 中学校 (4 施設) その他の教育施設 (2 施設)	<ul style="list-style-type: none"> 現施設については、定期的な点検を行いながら計画的な修繕、改修を行うことで長寿命化を図る。 施設更新の際は、児童数、生徒数の減少に応じた施設規模とする。また、屋内運動場や特別教室などについては、他施設との相互利用を考慮して検討する。 余剰教室などが出来た場合は、他施設を受け入れるなど複合的機能を持ち合わせた施設として公共施設全体の総量縮減に寄与できるよう検討を行う。 給食施設については、施設運営の効率化や経費削減などを目的とした、市内施設の一本化を検討する。
子育て支援施設	
保育所 (4 施設) 幼稚園 (3 施設) 学童保育・児童センター (5 施設)	<ul style="list-style-type: none"> 市立保育園・幼稚園については、「小城市立保育園・幼稚園の再編計画」及び「小城市立保育園・幼稚園の民営化ガイドライン」に基づき、民間移譲を進める。 市立保育園・幼稚園として存続する施設については、定期的な点検を行いながら計画的な修繕、改修を行うことで長寿命化を図る。 施設更新の際は、認定こども園として整備するなど、現施設からの総量縮減を原則として検討を行う。 学童保育は、学校施設内に機能を持たせることで、公共施設全体の総量縮減を図る。
保健福祉施設	
保健福祉施設 (6 施設)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用状況や老朽化を踏まえて、公共施設として今後維持することが困難な施設については、他施設との統合や用途廃止などを行う。 機能が重複している施設については、一本化して総量縮減を図る。 施設の利用状況を踏まえた管理運営方法を検討する。また、指定管理者制度の導入や民間移管など民間活力の導入が可能な施設については、積極的に検討する。

行政施設	
庁舎等 (2 施設) 防災施設 (51 施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・現施設については、定期的な点検を行いながら計画的な修繕、改修を行うことで長寿命化を図る。 ・市庁舎別館は、利用状況や老朽化を踏まえて、今後維持することが困難な場合については、他施設との統合や用途廃止などを行う。 ・防災施設については、総量縮減を念頭におき、更新時には規模縮小を検討する。
公営住宅等	
公営住宅等 (6 施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・点在する老朽化した既存施設を廃止し、集約して施設整備を行う。 ・既存施設の民間への払下げについて、積極的に検討する。
市民病院	
市民病院 (1 施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・独立採算の施設であり、更新等については本計画とは別に検討する。
その他の施設	
その他の施設 (15 施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況や老朽化を踏まえて、公共施設として今後維持することが困難な施設については、他施設との統合や廃止などを行う。 ・小城市廃棄物中継センターは、新ゴミ処理施設の整備による総量縮減を図る。 ・小城駅舎は、国登録文化財であることから、現状保存を行う。
インフラ施設	
全種類共通	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ各種においては、関係省庁などからの通達による長寿命化計画等に沿っての管理運営を行う。 ・長寿命化を考慮した構造物の安全性や健全性のほか、利用者視点の快適性や供用性についても検証する。 ・更新及び維持コストの平準化のために、計画的且つ予防的な更新・修繕対策等を実施する。 ・定期点検等を行うことで、安全確保と有事の際の対応に備える。

IX. 計画の推進にあたって

1. 全庁的な取組体制の構築方針

公共施設等の総合的なマネジメントを推進していくにあたり、全庁横断的な連携・調整機能を発揮できる庁内推進体制を構築します。

庁内推進体制として「経営戦略会議」を活用し、各事案について効率的に推進していきます。また、公共施設等の情報を管理・集約する部署を財政課と定めて的確に運用していきます。

さらに、地方公会計（固定資産台帳）と連動した公共施設等マネジメントを実施していくため、毎年度の決算等と連携可能な管理手法を構築します。

（1）庁内推進体制

経営戦略会議 構成員

主宰	市長					
構成員	副市長	教育長	総務部長	市民部長	福祉部長	産業部長
	建設部長	教育部長	総務課長	財政課長	企画政策課長	

（2）市職員の啓発・意識付け

公共施設の総合的な管理を推進していくためには、公共施設に係るコスト、将来を含めた小城市の財政状況、公共施設の適正管理のあり方などを各職員が十分理解し、意識を持つ必要があります。

そのため、研修や勉強会等を実施し、公共施設の総合的な管理に対する市職員の理解の促進、意識の醸成を図ります。

2. フォローアップの実施方針

(1) 個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定

本計画に示す公共施設の総合的な管理に対する基本的な考え方や取組の方向性に基づき、今後は個別施設又は施設用途別ごとに、更新計画や長寿命化計画、維持管理計画、施設再配置計画などの具体的な取り組みを実践していくための推進計画やアクションプランなどの策定を進めていきます。

なお、推進計画・アクションプランなどの策定にあたっては、「経営戦略会議」を中心とした全庁横断的な連携・調整機能を発揮し、的確な計画策定に留意します。

(2) 計画の進行管理

本計画については、「経営戦略会議」を中心にPDC Aサイクルにより進捗状況や達成度評価等について検討・協議し、定期的・継続的な見直しを行うことで、更なる内容の充実を図ります。

本計画の定期的な見直しの頻度については、以下のとおりとします。

要素	内容	時期（頻度）
現状分析	財政状況等	1年に1回
現状分析	人口動態等	5年に1回
現状分析	公共施設等	随時

そのほか、社会経済情勢やまちづくりの動向等に大きな変化が生じた場合、必要に応じて適宜の見直しを実施することとします。

3. 情報管理及び共有方策

(1) 公共施設等に関する情報の一元管理

計画的、効率的に公共施設等の管理を進めていくためには、情報の一元管理と共有化が不可欠です。その実現に向けて、地方公会計（固定資産台帳）と連動した公共施設等マネジメントの実現を図ります。毎年度の決算等と連携可能な管理手法を構築し、継続的な運用と情報の一元管理及び共有化を図ります。

(2) 市民等との情報共有・相互理解の醸成

本市における公共施設等の最適な規模や配置等についての検討は、まちづくりのあり方に関わるものであり、本計画の推進にあたっては、住民や利用者との相互理解と合意形成を醸成することが重要となります。

そのため、本市の公共施設等の総合的な管理に対する考え方や目指す姿、施設の有効利用や効率的な管理運営に向けた取り組みの方向性などの情報を広く発信し、周知・啓発を図っていきます。特に、市民生活と密接な関わりを持つ公共施設については、市民の意見や意向を把握し、本計画及び個別施設又は施設用途別ごとの推進計画やアクションプランなどに反映せる仕組みや、市民協働による公共施設等の管理の方法についても今後検討していきます。

